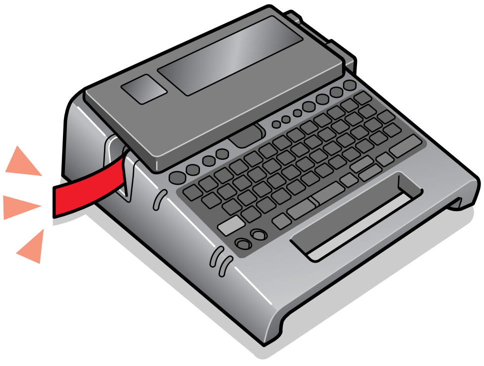
TEPRA PRO

SR920
取扱説明書

TAPE



KING JIM

はじめに

このたびは、ラベルライター「テプラ」PRO SR920をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テプラ」PRO SR920の使いかたを、「準備編」「使いかた編1・2」「機能編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テプラ」PRO SR920を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。
なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

!! 注意 !!

- 本機で保存する文章や外字などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テプラ」で得られるラベルについて
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。
  なお、これらによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、KING JIM、「テプラ」、「テプラ」PRO 、Pテープマークはいずれも株式会社キングジムの商標です。
「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。

⚠危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
⚠警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

⚠	⚠表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	⊘表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	❗表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠危険

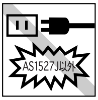
電池の取り扱いについて

❗ 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。

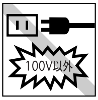
⚠警告

ACアダプタについて

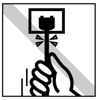
⊘ 同梱の専用ACアダプタ（AS1527J）以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



⊘ ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



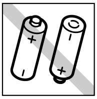
⊘ ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。



⚠警告

電池の取り扱いについて

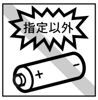
電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



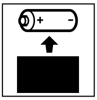
電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。

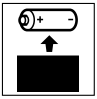
新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



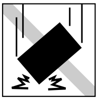
長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



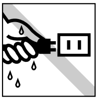
電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。

その他

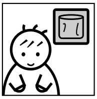
本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。

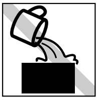


本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。

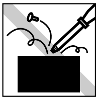


⚠警告

本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。



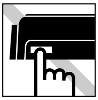
⚠注意

電池の取り扱いについて

電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。

オートトリマーのお手入れについて

「カド丸トレー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「カド丸トレー」をはずしたまま作動させると、刃で指を切ったりするなど大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。

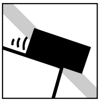


ハーフカット機能付きオートカッターについて

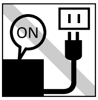
印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。

その他

本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。



電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

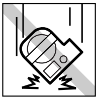


「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

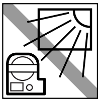
テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

■ テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。



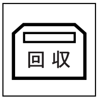
■ テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。

■ テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。



テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。使用済みの「テプラ」テープカートリッジはお近くの「テプラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。なお、「エコマーク商品」（ラベルにエコマークが表示されているテープカートリッジ）については、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、お近くの「テプラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。

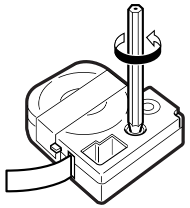


テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

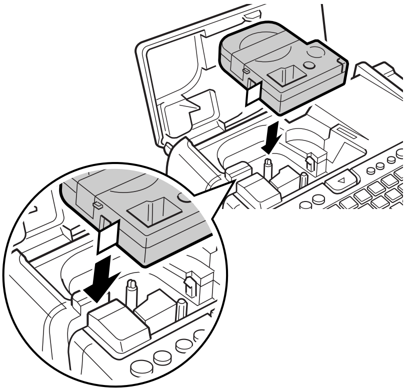
■ セット前に、必ずインクリボンのたるみをとる

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。
インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破けたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■ 正しく本機にセットする

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。
正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます(36mm幅テープカートリッジは固定されません)。
新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。
テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■セットした直後は必ず「テープ送り」をする

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。
「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照☞P.31「5.テープ送りをする」

その他のご注意

■ **本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。**

■ ACアダプタは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。

■ 直射日光の当たる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。

■ 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。

■ ACアダプタ差込み口,テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。

■ 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。

■ テープカートリッジは、必ずPテープマークのついた専用のテープカートリッジをご使用ください。

■ 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに 印刷 を押したりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。

■ テープ送りは、必ず シフト ＋ 印刷 （＝テープ送り）でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。

■ テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。

■ キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。

■ ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。

■ 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。

■ テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。

■ オートトリマーにはPテープマーク以外のラベルを差し込まないでください。

■ ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げてオートトリマーに差し込んでください。

■ オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。

■ 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。

■ 長時間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。

■ 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。

■ 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。

■ 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。

■ 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

本書の使いかた

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

使いかた編

使いかた編には1・2があります。「使いかた編1」では、文字の入力からラベルの貼り付けまでの基本操作を説明しています。
「使いかた編2」では、段落の追加などテキスト画面での操作と、ハーフカッター・オートトリマーなどについて説明しています。初めて「テプラ」PRO シリーズをお使いになる方は、「使いかた編1」から順を追って読まれることをお奨めします。

機能編

ラベルの見栄えをよくする編集機能や、ファイル、あて名といった各種登録機能など、「テプラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。「使いかた編」の内容を充分に理解されたうえでお読みくださるようお願いします。

本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
❶、❷	操作の手順を示しています。
も M、ら O	文字ボタンを示しています。
編集	機能ボタンを示しています。
← ↑ ↓ →	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照 ☞	関連する事項の参照ページを案内します。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!! 注 意 !!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について：本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

目次

はじめに

● 安全上のご注意…必ずお守りください！ 1
　テープカートリッジ取り扱いについてのご注意 4
　テープカートリッジをセットするときのご注意 5
　その他のご注意 6
● 本書の使いかた 7
　本書の構成 7
　本書の見かた 7
● 目次 8
● 同梱品の確認 10
● 別売品のご案内 11
●「テプラ」PRO SR920の特長 12
● まず、使ってみよう…すぐ使いたい人のために 13
　1. 準備 13
　2. 電源を入れる 13
　3. 文字を入力する(例:伊藤) 13
　4. 文字の大きさ(文字サイズ)を変えてみよう 14
　5. たて書きにしてみよう 15
　6. 印刷する 15
　7. ラベルを貼る 16
　8. 電源を切る 16

準備編

● 各部の名前とはたらき 18
　本機各部の名前(表) 18
　本機各部の名前(内部) 18
　本機各部の名前(裏) 19
　本機各部の名前(背面) 19
　操作パネルの名前とはたらき 20
● ディスプレイの見かたとはたらき 22
　ディスプレイ(画面)の見かた 22
　表示の切り換え(みえ^2) 24
　ディスプレイの濃度を調整する 25
● 使う前の準備 26
　1. ACアダプタを接続する 26
　2. 電池(別売)を入れて使用するときは ... 26
　3. テープカートリッジをセットする 28
　4. 電源を入れる 30
　5. テープ送りをする 31

使いかた編 1

● 手順どおりに作ってみよう（文字入力～ラベルの完成まで） 34
　文字入力をはじめる前に 34
　1. 文字を入力する 35
　　長い文章を変換する 38
　　変換する「読み」の長さを変える 38
　2. 英数字を入力する 39
　3. スペースを入力する 41
　4. 記号を入力する 42
　5. 印刷イメージを確認する(プレビュー) 44
　6. 印刷する 45
　7. ラベルを貼る 46
●使い終わったら〈電源を切る〉................. 47

使いかた編 2

●文章を作る 50
　カーソルボタンの使いかた 50
　文章を入力する 50
　文字を削除/挿入する 51
　削除した文字をもとに戻す(復活) 51
　文字をコピーする 52
　文字を貼り付ける 52
　すべての文章を消去する 52
● 行を増やす(改行) 53
　新しい行を作る 53
　文字を次行に移動する 54
　改行を取り消す 54
● 段落を増やす(改段落) 55
　新しい段落を作る 56
　段落を分割する 56
　特定の段落を消去する 57
● 印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する 58
　自動カットとハーフカットを無効にする 58
　自動カットを有効､ハーフカットを無効にする 58
● 印刷濃度を調整する 60
● 印刷設定をリセットする 60
● カドを丸く仕上げる 61
　オートトリマーのお手入れ 62

機能編

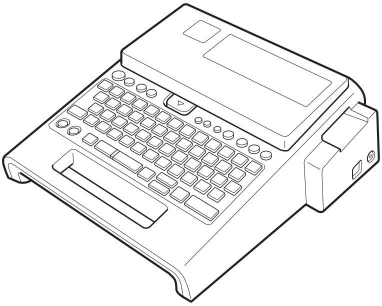
● ラベルの向きを変える(縦・横) 64
　[縦･横]ボタンを使う 64
● ラベルの長さを整える(らく²) 66
● ラベルの見栄えをよくする(編集) 67
　編集を指定する 68
● 編集メニュー一覧 70
　機能の説明(文字モード) 75
　機能の説明(段落スタイル) 78
　機能の説明(文章書式) 84
● デザインされたラベルを呼び出す
(フォーム) 90
　ラベルの作りかた 90
　フォーム･特殊フォームメニュー一覧 92
　フォーム見本 93
● 文章を呼び出す・登録する 101
　[ファイル]ボタンを使う 101
　ファイルとは 102
　ファイルを登録する 103
　ファイルを呼び出す 104
　ファイルを消去する 105
　ファイルを複写する 106
　グループの名前を変える 107
　ファイルをまとめて印刷する 108
● 最近印刷した文章を呼び出す 109
　印刷履歴を呼び出す 109
　印刷履歴を消去する 109
● 名前や語句を登録する
(あて名 / 名前 / 辞書) 111
　あて名ラベルを作る 111
　あて名を登録する 112
　あて名を修正する 113
　あて名を複写する 113
　あて名を消去する 114
　あて名ラベルを印刷する 115
　あて名のグループ名修正 116
　カスタマバーコードについて 117
　名前を登録する 119
　名前を修正する 120
　名前を消去する 120
　名前のグループ名修正 120
　名前ラベルを印刷する 120
　変換できない語句を登録する
　(辞書の登録) 122
　登録した語句を呼び出す 123
　登録した辞書を修正する 123
　登録した辞書を消去する 124
● 外字を使う 125
　外字を作成し、登録する 127
　外字を修正する 128
　外字を呼び出す 128
　外字を複写する 129
　外字を消去する 129
　外字を参照作成し、登録する 130
● 連番やバーコードを印刷する 131
　連番･バーコードメニュー一覧 131
　連番を印刷する 132
　バーコードを印刷する 134
● 特殊な印刷（ぞく²、でか²） 136
　特殊印刷メニュー一覧 136
　同じラベルを連続して印刷する
　（ぞく²） 137
　テープ幅より大きなラベルを作る
　（でか²） 138
　鏡文字を印刷する 140
● 読みのわからない漢字を入力する
（コード入力） 141
● 編集機能の保存値を設定する 142
　保存値を変更する 143
　保存値を初期設定値に戻す 143
　編集設定メニュー一覧 144
● 本機を初期化する 145
　初期化する 146
● デモ印刷をする 147

付録

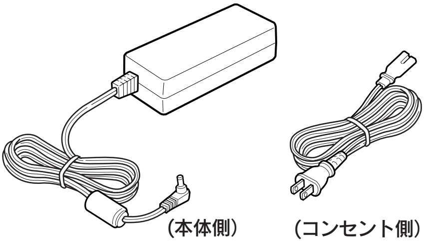
● メニュー一覧 150
　印刷設定メニュー一覧 150
　記号メニュー一覧 151
　テープ送りメニュー一覧 152
　消去メニュー一覧 152
● テープカートリッジを使いわける 153
● こんな表示が出たときは 154
　エラーメッセージが表示されたときは .. 154
● 故障かな？と思ったら 157
● お手入れについて 160
　ヘッド･クリーニングテープを使う 161
● 入力文字一覧表 162
　文字ボタン配列 162
　入力文字表 162
● 漢字変換表 163
　JIS第1水準 163
　JIS第2水準 167
　その他 170
● 記号一覧表 171
● ローマ字変換表 174
● おもな仕様 175
● 索引 178
● アフターサービスについて 184

同梱品の確認

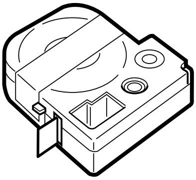
同梱品がすべてそろっているか、確認してください。



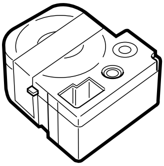
「テプラ」PRO SR920本体



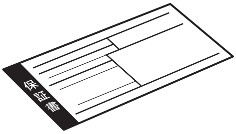
ACアダプタ（AS1527J）



試用PROテープカートリッジ
（18mm幅）



ヘッド・クリーニングテープ
（SR36C）



保証書

SR920取扱説明書（本書）

PCラベルソフト取扱説明書

PCラベルソフト（SPC9C）

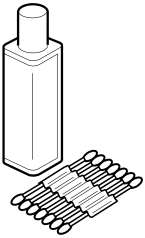
MEMO

本機にはパソコン接続用のUSBケーブルは同梱されていません。パソコン接続には市販のUSBケーブルをご使用ください。

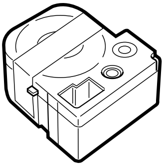
ケーブルはA－Bタイプです。

◉別売品のご案内

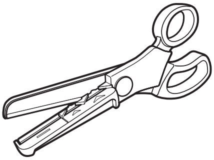
本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



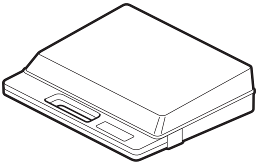
ヘッド・クリーニングキット(RC15)
印刷ヘッド専用クリーニング液です。



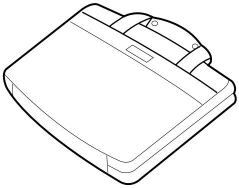
ヘッド・クリーニングテープ(SR36C)
テプラ本体のヘッドクリーニング用のテープです。



トリマー(RT36W)
ラベルのカドを丸くカットし、ラベルをはがれにくく、見た目にも美しく仕上げるハサミ型トリマーです。4〜36mm幅のラベルの「カド丸」加工が可能です。ラベルの前後余白調整にも便利です。



システムトランク(SR9BTN)
耐衝撃性に優れたトランクです。「テプラ」PRO 本体をはじめ、テープカートリッジ、同梱品、別売品などを一括して持ち運び、また保管することができます。



システムバッグ(SR8B)
「テプラ」PRO 本体とテープカートリッジ、取扱説明書などが収納可能です。ウレタン·ボンディング·ナイロンを使用しており、クッション性に優れています。

MEMO
詳細については、当社ホームページ(アドレス http://www.kingjim.co.jp/)をご覧いただくか、または お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。
参照 ☞P.184「アフターサービスについて」

「テプラ」PRO SR920の特長

■高精細360dpi・384dotの大型ヘッドで文字が美しい！

360dpi・384dot＝27.1mmという最上級機にふさわしい高密度大型ヘッドにより、さらに大きな文字も美しく、また最大13行もの多行印刷を実現しました。

■好評のPROテープ4～36mm幅に対応！

大きなラベルも手軽に印刷！
好評の36mm幅テープに対応。店舗のディスプレイや公共表示などに大きな威力を発揮します。

■日本語入力システムATOKを採用

日本語入力に定評のあるATOKを採用。文節区切りを的確に判断するので長い文章も正確に変換できます。

■ハーフカットで裏紙はがしのイライラ解消

「ハーフカット」で、ラベルの印刷面だけを自動的にカット。裏紙はがしがとても簡単になりました。
※一部対応できないテープがあります。

■オートカッターで手間いらず！

印刷後、自動的にラベルをカットするオートカッターを装備。多量に印刷するときにも便利です。
※一部対応できないテープがあります。

■豊富に選べる漢字10書体＋かな14書体＋英数18書体

「明朝体・ゴシック体・丸ゴシック体・行書体」の基本書体には、「太型」の変形書体も充実！さらに「ペン行書体・波ゴ体」も選べます。かな書体には「えれん・ハッピ」を加えた14書体、英数書体は18書体装備。用途に合わせ、表現力がグンと広がります。

■繰り返す文字にコピーが有効！

入力してある文字をコピーすれば何度も貼り付けることができます。繰り返す文字を効率よく入力できます。

■4階調で見やすいディスプレイ

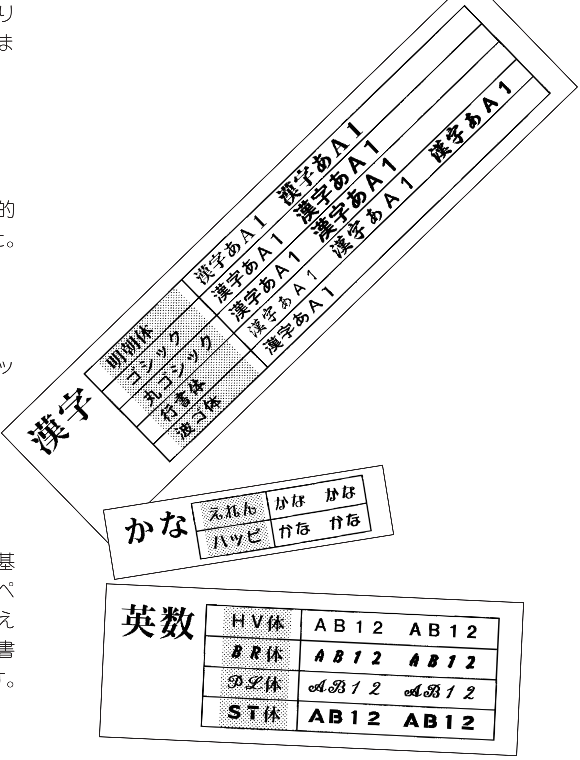
4階調表示の液晶ディスプレイを搭載。記号や装飾の細部が確認しやすくなりました。

■オートトリマーでカド丸仕上げ

ラベル（9～36mm幅）のカドを自動的に丸く仕上げる、オートトリマーを装備。ハガレに強く美しい仕上がりです。
※一部対応できないテープがあります。

■パソコンからもラベル作成

同梱のPCラベルソフトを利用すれば、パソコンでより豊かな表現のラベルを作成し、「テプラ」で印刷できます。



まず、使ってみよう…すぐ使いたい人のために

1. 準備

❶ ACアダプタを本機に接続する
参照☞P.26 「1.ACアダプタを接続する」

❷ テープカートリッジをセットする
参照☞P.28 「3.テープカートリッジをセットする」

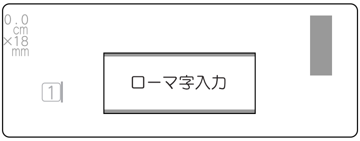
2. 電源を入れる

❶ ON/OFF（ON/OFF）を押す
タイトルが表示され、設定されている入力状態が表示されたあと、行頭マーク1とカーソルが表示されます。

MEMO
より詳しい説明については、P.30「4.電源を入れる」を参照してください。

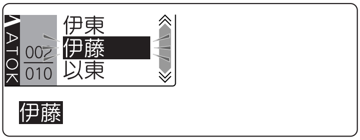
3. 文字を入力する（例：伊藤）

❶ 入力切換を押して、「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ



❷ 文字ボタンを次のように押す
「ローマ字入力」の場合　：　I、T、O、U
「かな入力」の場合　　　：　E、S、4
「いとう」と表示されます。入力後のひらがなには下線が表示されています。

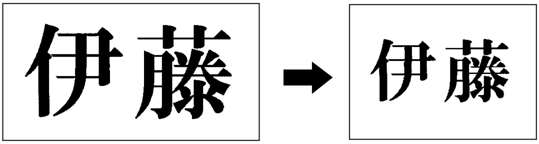
❸ 「伊藤」が表示されるまで 変換 スペース を押す



❹ 選択 を押す
「伊藤」が確定し、行頭マークが 1 に変わります。同時に、ラベルの長さと印刷イメージが表示されます。

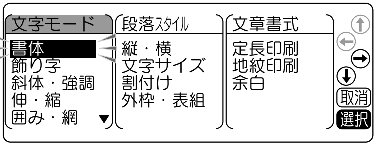
MEMO
より詳しい説明については、P.34「手順どおりに作ってみよう」を参照してください。

4. 文字の大きさ(文字サイズ)を変えてみよう

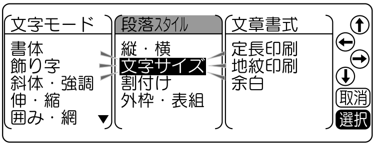


❶ (編集)を押す

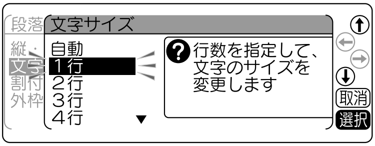
編集メニューが表示されます。



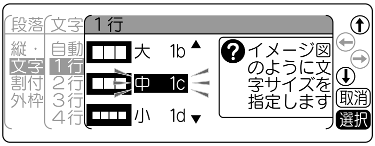
❷ [←][↑][↓][→]で「文字サイズ」を選び[選択]を押す



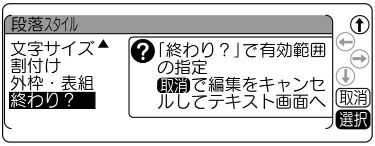
❸ [↑][↓]で「1行」を選び[選択]を押す



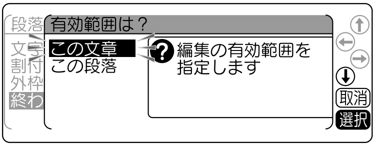
❹ [↑][↓]で「▬▬▬ 中1c」を選び[選択]を押す



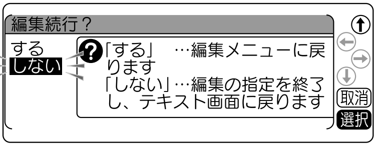
❺ 「終わり」が選ばれていることを確認し、[選択]を押す



❻ [↑][↓]で「この文章」を選び[選択]を押す



❼ [↑][↓]で「しない」を選び[選択]を押す

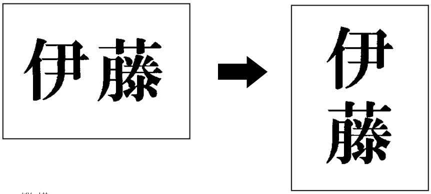


文字の大きさが変更されます。

MEMO

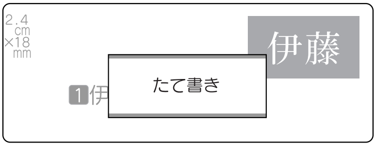
より詳しい説明については、P.67「ラベルの見栄えをよくする(編集)」を参照してください。

5. たて書きにしてみよう



❶ 縦・横(縦・横)を押す

「たて書き」と表示され、文字がたて書きのラベルになります。



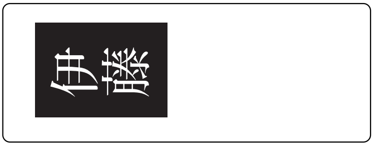
MEMO

より詳しい説明については、P.64「ラベルの向きを変える(縦・横)」を参照してください。

6. 印刷する

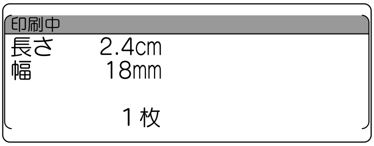
❶ シフトを押しながらみえ²(=プレビュー)を押す

印刷のイメージが流れるように表示されます(プレビュー)。



❷ 印刷を押す

画面に、印刷されるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷がはじまります。印刷が終了すると、テープが自動カットされて出てきます。
テープは絶対に手で引っ張らないでください。

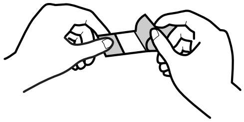


MEMO

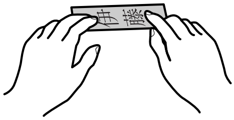
より詳しい説明については、P.45「6.印刷する」を参照してください。

7. ラベルを貼る

❶ **裏紙をはがす**



❷ **しっかりとこすって貼り付ける**



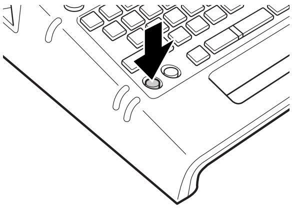
MEMO

より詳しい説明については、P.46「7.ラベルを貼る」を参照してください。

8. 電源を切る

❶ **ON/OFF (ON/OFF)を押す**

❷ **ACアダプタ(AS1527J)をはずす**



!! 注 意 !!

電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。

MEMO

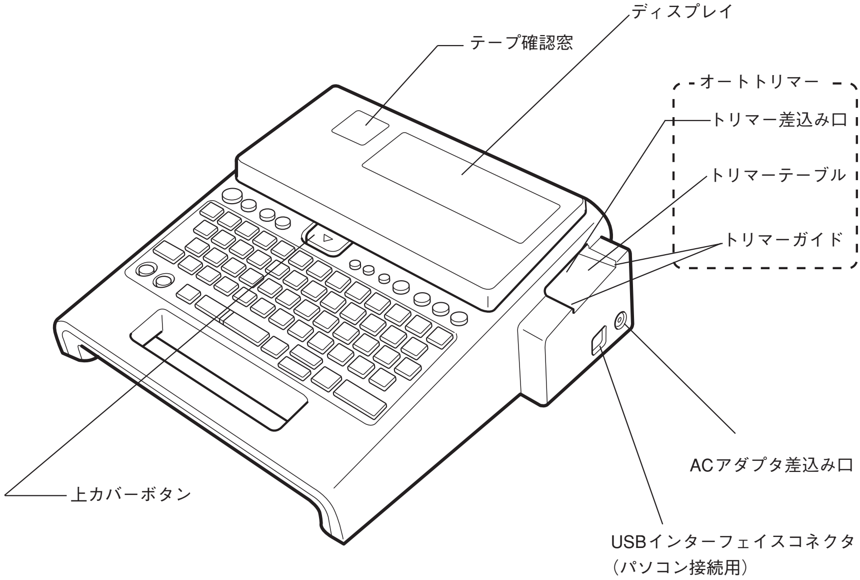
より詳しい説明については、P.47「使い終わったら〈電源を切る〉」を参照してください。

準 備 編

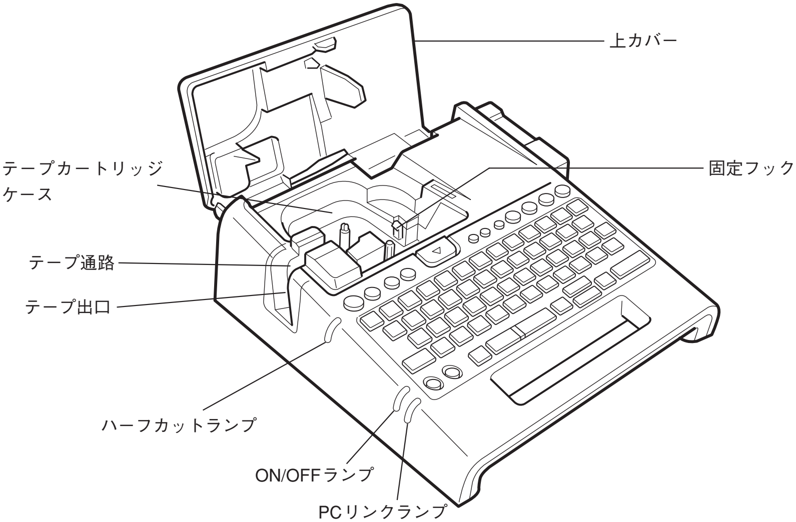
本機にACアダプタを接続し、電源を入れます。
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

各部の名前とはたらき

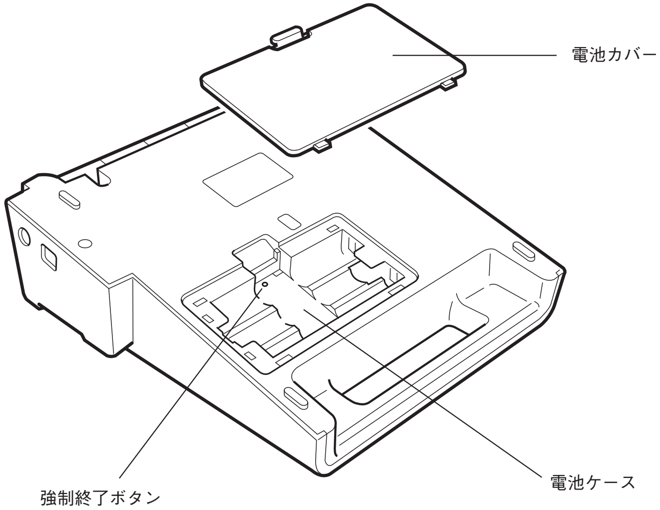
本機各部の名前（表）



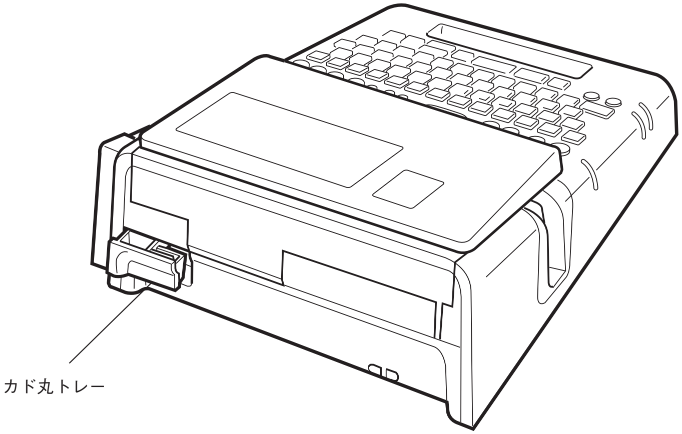
本機各部の名前（内部）



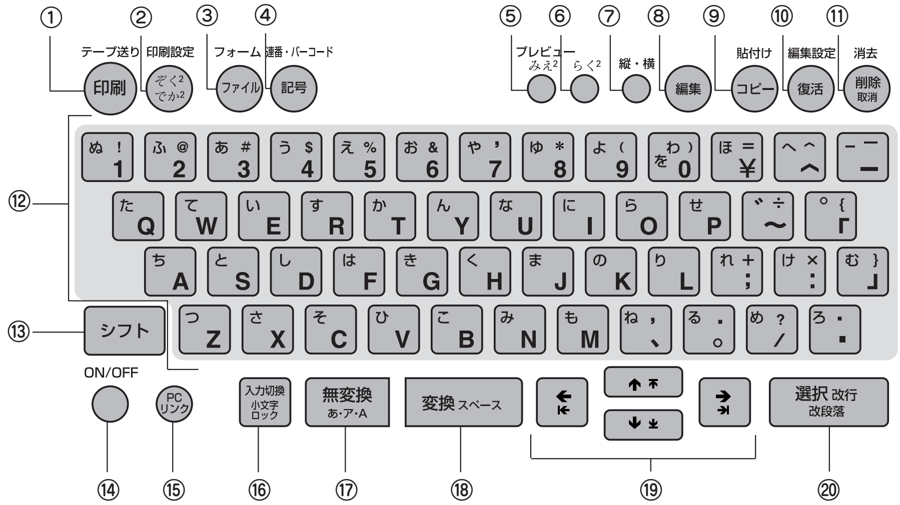
本機各部の名前（裏）



本機各部の名前（背面）



操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。シフト＋［ ］となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① 印刷（印刷）

入力した文章をテープに印刷し、テープを自動的にカット（オートカット）します。

参照 ☞P.45

シフト＋印刷（＝テープ送り）

テープを約20mm空送りしたり、カットします。

参照 ☞P.31

② ぞく² でか²（特殊印刷）

連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷をします。

参照 ☞P.136

シフト＋ぞく² でか²（＝印刷設定）

印刷後の自動カットの有無と印刷濃度を設定します。参照 ☞P.58、60

③ ファイル（ファイル）

作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録します。また、印刷履歴の呼び出しをおこないます。参照 ☞P.101

シフト＋ファイル（＝フォーム・特殊フォーム）

デザインフォームや特殊フォームの呼び出しをおこないます。参照 ☞P.90

④ 記号（記号）

記号の入力や外字の呼び出しなどをおこないます。参照 ☞P.42

シフト＋記号（＝連番・バーコード）

連続番号やバーコードの入力をおこないます。

参照 ☞P.131

⑤ みえ²（みえ²）

テキスト画面の表示を切り換えます。参照 ☞P.24

シフト＋みえ²（＝プレビュー）

印刷イメージ全体を流れるように表示して確認することができます。

参照 ☞P.44

⑥ らく²（らく²）

文字サイズを自動に設定しているとき、カーソルのある段落の文字サイズを「らく²」または「均等」に切り換えます。参照 ☞P.66

⑦ 縦・横（縦・横）

たて書き/よこ書きを切り換えます。

参照 ☞P.64

⑧ 編集（編集）

文字の装飾や文字サイズ、ラベルのレイアウト、ラベルの長さなどを指定します。
参照☞P.67

⑨ コピー（コピー）

入力済みの文字をコピーします。参照☞P.52

シフト＋コピー（＝貼付け）
コピーした文字を貼り付けます。参照☞P.52

⑩ 復活（復活）

削除した文字や文章をもとに戻します。
参照☞P.51

シフト＋復活（＝編集設定）
画面の表示濃度や編集機能の保存値を変更します。参照☞P.142

⑪ 削除取消（削除、取消）

カーソル位置（カーソルの左側）の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。参照☞P.51

シフト＋削除取消（＝消去）
段落や文章を消去します。参照☞P.52

⑫ 文字ボタン（かT いE せP すR ちA など）
文字を入力します。参照☞P.35

⑬ シフト（シフト）

機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能が働きます。文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力できます。

⑭ ON/OFF（ON/OFF）

電源をON/OFFします。参照☞P.30

⑮ PCリンク（PCリンク）

PCラベルソフト（SPC9）およびファイル転送ソフト（SDM9）使用時に、本機をパソコンと接続する状態に切り換えます。

⑯ 入力切換（入力切換）

入力状態を「ローマ字→かな→ABC」の順で切り換えます。参照☞P.35
「ABC入力」時のみ

シフト＋入力切換（＝小文字ロック）
小文字入力状態に切り換えます。参照☞P.40

⑰ 無変換（無変換）

仮確定のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
参照☞P.35

シフト＋無変換（＝文字変換/コード変換）
仮確定のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。
参照☞P.35
仮確定文字がないときは、コード入力の画面になり、区点コードを入力すれば漢字に変換できます。参照☞P.141

⑱ 変換 スペース（漢字変換、スペース入力）

仮確定のひらがな文字を漢字に変換します。仮確定文字がないときは、スペースを入力します。ATOK変換画面では、次の変換候補を表示します。
参照☞P.35、41

⑲ ← ↑ ↓ →（カーソルボタン、文節変更）
カーソルや選択候補を上下左右に移動します。
参照☞P.50

ATOK変換画面では←→で変換対象の文節長さを変更し、↓で確定します。参照☞P.34

シフト＋← ↑ ↓ →（＝カーソルジャンプ、文節切り換え）
カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。参照☞P.50

ATOK変換画面ではシフト＋←→で変換対象の文節を切り換えます。参照☞P.34

⑳ 選択 改行（選択、改行）

機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。仮確定文字がないときは、新しい行を作ります（改行）。参照☞P.34、53

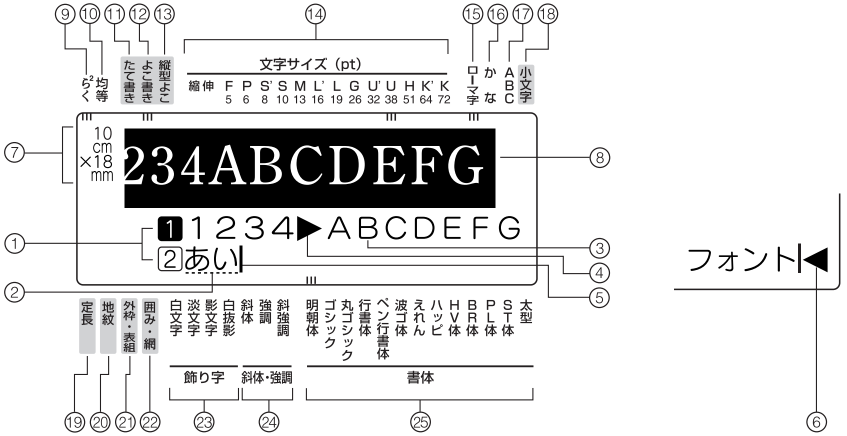
シフト＋選択 改行（＝改段落）

新しい段落を作ります。参照☞P.55

ディスプレイの見かたとはたらき

ディスプレイ（画面）の見かた

〈テキスト画面〉



① **行頭マーク（❶ ❷…☒、① ②…☒）**
行頭に表示され､その行が何行目かを表示します。❶､❷はその行に印刷できる文字が入力されていることを表し､①､②はその行に文字がまだ入力されていない（確定していない）ことを表しています。☒、☒は印刷できない行を表しています。☒が表示されているときは、印刷することはできません。**参照** P.53

② **仮確定文字（例：あい）**
仮確定の文字で、文字の下に点線が表示されます。変換 スペースボタンで漢字、カタカナ、英数字などに変換できます。仮確定文字は印刷されません。

③ **確定文字（例：1234ABCDEFG）**
入力が確定した文字で､印刷することができます。

④ **文字モード指定マーク（▶）**
文字､行､段落単位で､書体､飾り字などの文字モードを変更すると表示されます。**参照** P.69

⑤ **カーソル（ | ）**
操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除することができます。**参照** P.50

⑥ **フルメモリーマーク（◀）**
入力可能文字数（約500文字）をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。

⑦ **印刷情報**
セットされているテープ幅と、印刷したときの目安の長さを表示します。「みえ²」の設定によっては表示されないこともあります。
参照 P.24

⑧ **印刷イメージ**
印刷したときのイメージを表示します。「みえ²」の設定によっては表示されないこともあります。**参照** P.24

⑨ **自動/らく²インジケーター**
文字サイズが「自動-らく²」に指定されているときに点灯します。

⑩ **自動/均等インジケーター**
文字サイズが「自動-均等」に指定されているときに点灯します。

⑪ **たて書きインジケーター**
「たて書き」が指定されているときに点灯します。

⑫ **よこ書きインジケーター**
「よこ書き」が指定されているときに点灯します。

⑬ **縦型よこ書きインジケーター**
「縦型よこ書き」が指定されているときに点灯します。

⑭ **文字サイズインジケーター**
カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケーターが点灯します。
数字はポイント数を表しています。
*1ptは約1/72インチ(約0.35mm)です。

⑮ **ローマ字入力インジケーター**
「ローマ字入力」状態のときに点灯します。

⑯ **かな入力インジケーター**
「かな入力」状態のときに点灯します。

⑰ **ABC入力インジケーター**
「ABC入力」状態のときに点灯します。

⑱ **小文字入力インジケーター**
[シフト]ボタンを押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。参照☞P.40

⑲ **定長インジケーター**
定長印刷が指定されているときに点灯します。

⑳ **地紋インジケーター**
地紋印刷が指定されているときに点灯します。

㉑ **外枠・表組インジケーター**
外枠や表組みが指定されているときに点灯します。

㉒ **囲み・網インジケーター**
囲みや網が指定されているときに点灯します。

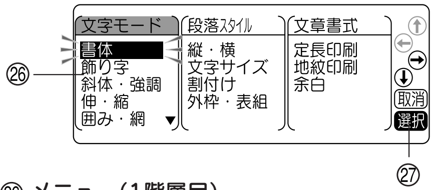
㉓ **飾り字インジケーター**
カーソル位置の文字に飾り字が指定されているときに対応した飾り字が点灯します。

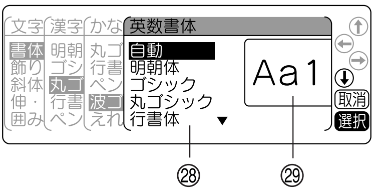
㉔ **斜体・強調インジケーター**
カーソルの位置の文字に、斜体や強調が指定されているときに対応した機能が点灯します。

㉕ **書体インジケーター**
カーソル位置の文字に対応した書体が点灯します。

〈メニュー画面〉

機能を指定する画面は、テキスト画面と表示が異なります。このような機能や設定値を選択する画面をメニュー画面と呼びます。ここでは、編集メニューの画面を例に説明しています。





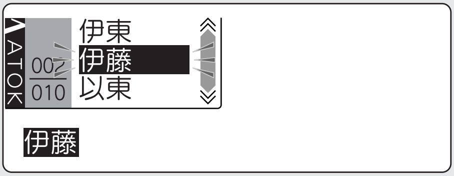
㉖ **メニュー(1階層目)**
[編集]ボタンや[ファイル]ボタンを押したときに最初に表示されるメニュー一覧です。
[←][↑][↓][→]ボタンで機能を選びます。

㉗ **ボタンナビ**
使用できるボタンを案内します。グレー(薄い色)になっているボタンは操作できません。

㉘ **メニュー階層**
メニューの階層状態を表示します。例の画面では、4階層目の選択候補一覧を表示しています。選択候補は[↑][↓]ボタンで選びます

㉙ **イメージ表示、ガイド表示**
選択候補の指定結果をイメージで表示したり、操作ガイドを表示します。

MEMO
文字の変換中は以下の画面(ATOK変換画面)になります。
詳しい説明についてはP.34「文字入力をはじめる前に」を参照してください。



表示の切り換え（みえ^{2}）

本機では、入力した文章や印刷イメージ、できあがるラベルの長さや幅を確認しながら入力することができます。

（みえ^{2}）を押すと、次のようにディスプレイの表示が切り換わります。

<みえ^{3}>（初期設定値）

初期設定値では、入力した文章が2行まで表示されます。印刷イメージのほか、ラベルの長さや幅なども表示されます。

↓ （みえ^{2}）

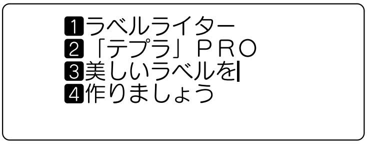
<拡大表示>

入力した文章のみ拡大して3行表示します。

↓ （みえ^{2}）

<みえ^{0}>

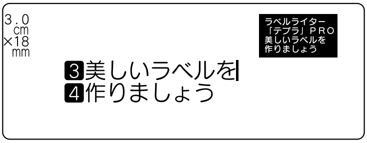
入力した文章のみ5行表示します。多行入力時などに便利です。



↓ （みえ^{2}）

<みえ^{2}>

入力した文章が3行まで表示されます。おおまかな印刷イメージのほか、ラベルの長さや幅なども表示されます。



!! 注意 !!

- （みえ^{2}）ボタンでディスプレイが切り換わるのは、テキスト画面のときだけです。メニュー画面やATOK変換画面で（みえ^{2}）を押しても、ディスプレイは切り換わりません。
  参照 P.22「ディスプレイ(画面)の見かた」
- 広い幅のテープや入力した内容によっては、「みえ^{2}」表示の反応が遅くなることがあります。

MEMO

- シフト を押しながら（＝プレビュー）を押すと、ディスプレイ全体に印刷イメージを流れるように表示します。
  参照 P.44「5.印刷イメージを確認する(プレビュー)」
- ディスプレイが見づらいときは、表示濃度を調整することができます。
  参照 P.25「ディスプレイの濃度を調整する」

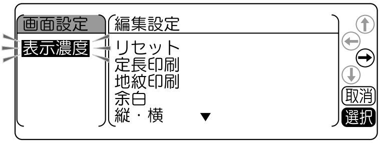
ディスプレイの濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

❶ ［シフト］を押しながら（復活）（＝編集設定）を押す

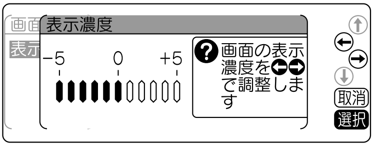
「画面設定」メニューが表示されます。

❷「表示濃度」を選び、［選択］を押す



❸ ［←］［→］で濃度を調整し、［選択］を押す

初期設定値は「0」に設定されています。



表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 設定を途中でやめるときは（削除/取消）または（復活）を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 表示濃度は、電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定し直すか、本機の初期化をおこなってください。参照 P.145「本機を初期化する」

使う前の準備

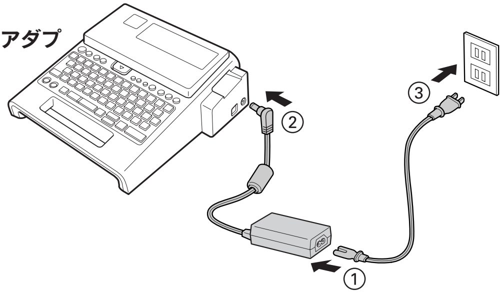
1. ACアダプタを接続する

同梱のACアダプタ（AS1527J）で、家庭用コンセント（AC100V）から電源を取ります。

❶ **ACアダプタのケーブルを接続する**

❷ **ACアダプタのプラグを本機右側面のACアダプタ差込み口にしっかりと差し込む**

❸ **ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む**



!! 注 意 !!

- 使い終わったらすぐにACアダプタを本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- AC アダプタは保証対象外です。

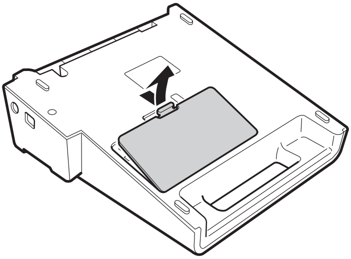
2. 電池（別売）を入れて使用するときは

本機に単3アルカリ乾電池6本をセットします。外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷することもできます。

❶ **電池カバーをはずす**
レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げます。

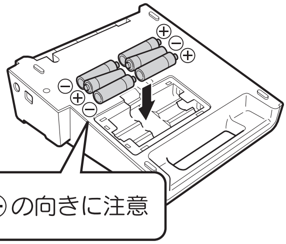
!! 注 意 !!

必ず、電源を切ってからおこなってください。



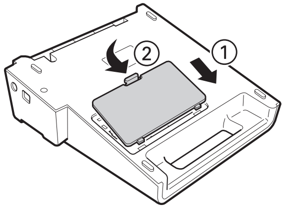
❷ 電池を入れる

電池の向きに注意して、単3アルカリ乾電池6本を入れます。



❸ 電池カバーをはめる

電池カバーの手前の突起を本機のミゾに合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりカバーをはめます。



!! 注意 !!

- 本機には単3アルカリ乾電池をお使いください。その他の乾電池を使用したときは、乾電池の寿命が短い、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。
- 電池でも印刷できる電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
- ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ(AS1527J)をお使いください。

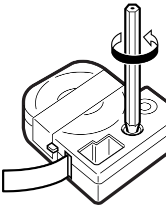
MEMO

- 電池での印刷の場合、ACアダプタ使用時より印刷スピードが遅くなります。
- 広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電池が消耗しました。新しい電池を正しくセットして下さい！」と表示されることがありますが、故障ではありません。
- 電池が消耗すると、印刷スピードが遅くなります。さらに使い続けるとディスプレイに「電池が消耗しました。新しい電池を正しくセットして下さい！」と表示されます。直ちにすべての電池を新しい単3 アルカリ乾電池(6 本)に交換してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
- 新品の単3 アルカリ乾電池(6 本)では、常温で18mm幅のテープカートリッジ(8m)を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、幅広テープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。できるだけAC アダプタをお使いください。ACアダプタを使用する際は、必ず専用のACアダプタ(AS1527J)をお使いください。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。

3. テープカートリッジをセットする

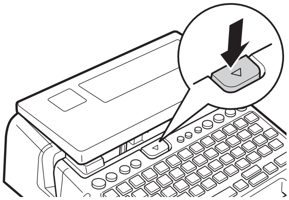
❶ インクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、たるみをとってください。



❷ 上カバーボタンを押す

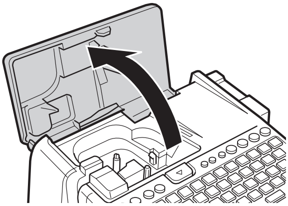
上カバーボタンを押すと、上カバーが少し開きます。



!! 注意 !!

必ず、電源を切ってからおこなってください。

❸ 上カバーを開ける

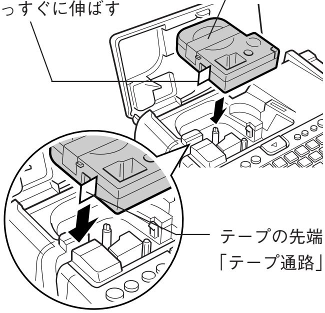


!! 注意 !!

- 上カバーはストッパーで止まります。無理に開けないでください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。

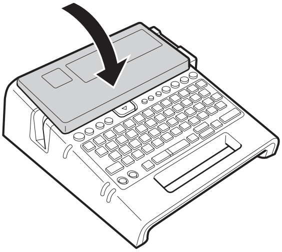
❹ テープカートリッジをセットする

セットするテープカートリッジを、ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます(36mm幅テープカートリッジは固定されません)。
テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。



❺ 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押して閉じます。



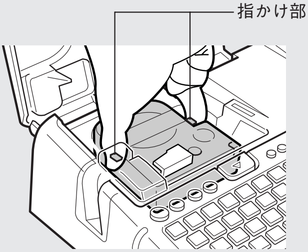
!! 注意 !!

テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。

MEMO

テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本機にしっかりと保持されていますが、上カバーを開けると同時にテープカートリッジの保持が解除され、取り出しやすい状態になります。取り出すときは、カートリッジ側面の「指かけ」部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



!! 注意 !!

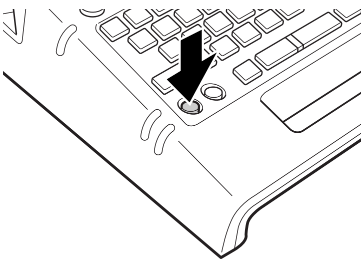
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mm、36mm の7種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。
  参照 ☞P.53「テープ幅と印刷できる行数」
- テープカートリッジは、直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。

4. 電源を入れる

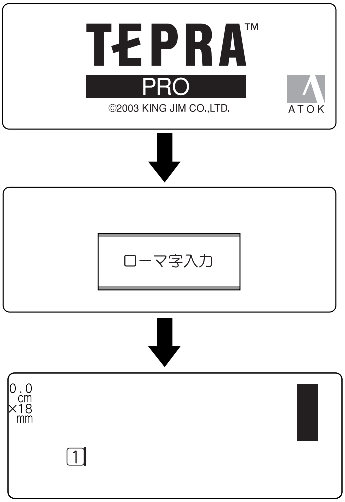
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- **ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか?**
- **電池は正しくセットされていますか?(電池で使用する場合)**

❶ ON/OFF (ON/OFF)を押す



電源が入るとタイトル画面が表示されます。



※設定されている入力状態が約0.5秒間表示されます。

※行頭マーク(1)とカーソル(|)が表示されます。

すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示され、指定されている機能のインジケーターが点灯します。

参照☞P.22「ディスプレイ(画面)の見かた」

MEMO

オート・パワーオフ

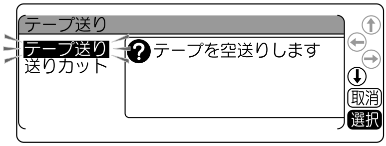
電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます(電源が切れても入力した文章はなくなりません)。ON/OFF (ON/OFF)をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

外字データや創作地紋データの作成・修正をしているとき、またはACアダプタを使ったPCリンクの状態では、オート・パワーオフ機能は働きません。

電源を切ると、オート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。使わないときはこまめに電源を切るようにしましょう。

5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。



❶ [シフト]を押しながら(印刷)(＝テープ送り)を押す

「テープ送り」メニューが表示されます。

❷ [↑][↓]で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ

❸ [選択]を押す

「テープ送り」の場合はテープが約20mm空送りされます。
「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

!! 注意 !!

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンのたるみが取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

つづいて

ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。

参照 ☞P.34「手順どおりに作ってみよう」

使いかた編 1

～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単なラベルを作ってみましょう。
文字入力、印刷など「テプラ」の基本操作を確認してください。

手順どおりに作ってみよう（文字入力〜ラベルの完成まで）

右のサンプルラベルを手順どおりに作ると、文字入力からラベルの印刷までの基本的な操作がカンタンに覚えられます。

文字入力をはじめる前に

本機は、日本語入力システム「ATOK」を採用しており、以下の画面とボタンで操作します。

ATOK変換画面の見かた

① **仮確定文字**
テキスト画面などで［変換 スペース］を押した時の仮確定文字が、変換候補で表示されます。

② **変換対象**
仮確定文字中、ネガ表示されている部分が現在の変換対象です。［↓］を押すと確定します。

③ **変換候補一覧**
変換対象の変換候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

④ **変換候補番号**
現在選択されている変換候補の順番です。

⑤ **変換候補数**
変換対象の変換候補数です。

文字の変換中に使用するボタン

ボタン	機能
変換 スペース	変換候補一覧の表示、および次の変換候補の選択
↑	前の変換候補の選択
シフト＋↑	変換候補番号001の候補の選択
↓	変換対象を確定し、次の文節を変換対象とする
←	変換対象の文節長さを短くする
→	変換対象の文節長さを長くする
シフト＋←	左の文節を変換対象とする（確定されていない場合のみ）
シフト＋→	右の文節を変換対象とする
無変換 シフト＋無変換	ひらがな、カタカナ、アルファベット（「ローマ字入力」の場合のみ）への変換
選択	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面へ戻る
削除 取消	確定されていない文節を「読み」にし、テキスト画面へ戻る
復活	直前に確定した文節を「読み」に戻す
文字ボタン	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面に文字を入力する

［シフト］＋［　］となっている表記は、［シフト］を押しながらそのボタンを押す操作です

1. 文字を入力する

文字は、「読み」を入力してから変換します。「読み」はひらがなで入力されます。

例：

ここを入力します

お得なセット！
初回限定版Box

❶ [入力切換]を数回押して「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ

[ローマ字入力]　[かな入力]

❷ 「おとくなせっと」を入力する

ローマ字入力：[O]、[T]、[O]、[K]、[U]、[N]、[A]、[S]、[E]、[T]、[T]、[O]

かな入力　：[お]、[と]、[く]、[な]、[せ]、[シフト]＋[っ]、[と]

1おとくなせっと

入力した文字が下線付きで表示されます。

❸ [変換 スペース]を押す

ATOK変換画面に、仮確定文字が変換候補で表示されます。

ATOK
お得なセット

さらに[変換 スペース]を押すと、変換対象が次の候補に変わり、変換候補一覧が表示されます。

❹ 「お得な」になっている状態で[↓]を押す

ATOK
otokuna
001 お得な
006 おとくな
お得なセット

「お得な」が確定し、次に「セット」が変換対象になります。

❺ 「セット」になっている状態で[↓]を押す

ATOK
お得なセット

「セット」が確定し、テキスト画面に戻ります。

1お得なセット

行頭マークが1から1に変わります。

MEMO

- [選択 改行]ボタンで確定した直後なら、(復活)ボタンで変換前の状態に戻すことができます。
- 文字を間違えたときは、(削除 取消)ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 一度選択した語句は、次回から優先して最初に表示されるようになります(学習機能)。
- 「読み」を入力した直後に[選択 改行]を押すと、ひらがなのまま確定します。
- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後に[無変換]を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かな入力」の場合は、「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。また、[シフト]を押しながら[無変換]を押すと、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かな入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。変換後は、[選択 改行]を押して確定します。
- 2文節目以降の語句を変換し直す詳しい説明については、P.38「長い文章を変換する」を参照してください。
- 変換対象となる文節(読み)の長さを変える場合は、P.38「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。
- ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考にしてください。
参照 ☞ P.174「ローマ字変換表」

次へ進みます →

参考

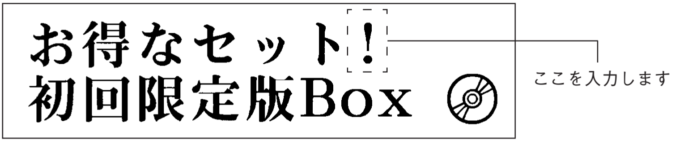
濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

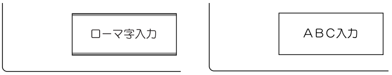
	濁音(「ざ」「ば」など) 半濁音(「ぱ」など)	拗音(「ゃ」「ぁ」など) 促音(「っ」)
ローマ字入力	濁音·半濁音用のスペルで入力します。 参照 ☞P.174「ローマ字変換表」	次のいずれかの方法で入力します。 • 「きゃ」([K]、[Y]、[A])などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照 ☞P.174「ローマ字変換表」 • 促音「っ」は、直後の文字の子音を2 つ重ねる。 例：[S]、[A]、[K]、[K]、[A] …「さっか」 • [L]を押してから通常の文字ボタンを押す。 例：[L]、[T]、[U] …「っ」 [L]、[A] …「ぁ」
かな入力	仮確定の清音の後に、[゛]や[゜]を入力します。	[シフト]を押しながら文字ボタンを押します。

文字ボタンに表記された表記号「!」「＊」「.」などは、[シフト]を押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。

例：



❻ [入力切換]を数回押して「ローマ字入力」または「ABC入力」を選ぶ



❼ 「!」を入力する

[シフト]を押しながら[!]を押します。

「!」が確定された状態で入力されます。

MEMO

文字ボタンに表記された数字や英記号「￥」「～」「／」は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。「かな入力」の状態では入力できない文字があるので、その場合は「ローマ字入力」または「ABC入力」に切り換えてください。

2行目を入力するには、まず、改行をします。

例 ：

❽ 1行目の文末にカーソルを合わせて［選択 改行］を押す

改行され、行頭マークの❷が表示されます。

❾「しょかいげんていばん」を入力する

ローマ字入力：［S］、［H］、［O］、［K］、［A］、［I］、［G］、［E］、［N］、［N］、［T］、［E］、［I］、［B］、［A］、［N］、［N］

かな入力　：［し］、［シフト］＋［よ］、［か］、［い］、［け］、［゛］、［ん］、［て］、［い］、［は］、［゛］、［ん］

❿［変換 スペース］を押す

ATOK変換画面になります。

⓫「初回限定版」にする

ATOK変換画面で［選択］を押すと、仮確定文字は、表示されている状態で確定します。

表示されている状態が正しく変換されていない場合は、P.35の手順 ❸と同様に［変換 スペース］を押し、変換候補一覧から正しい変換候補を選びます。

MEMO

- 2文節目以降の語句を変換し直す詳しい説明については、P.38「長い文章を変換する」を参照してください。
- 変換対象となる文節(読み)の長さを変える場合は、P.38「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。

参考

長い文章を変換する

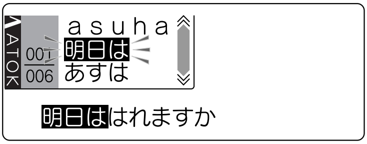
入力した文章が長く、ATOK変換画面で表示されている仮確定文字の状態では正しくない場合は、[↓]ボタンを押して文節ごとに変換をします。

例：「あすははれますか」を「明日は晴れますか」に変換する

❶ 「あすははれますか」を入力して[変換 スペース]を押す

ATOK変換画面になります。

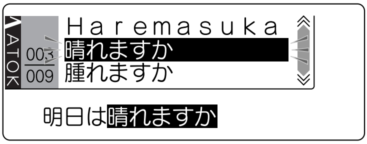
❷ 1文節目が正しく変換されている状態で[↓]を押す



1文節目が確定し、次に2文節目が変換対象になります。

❸ [変換 スペース]を押す

2文節目の変換候補一覧が表示されます。



❹ 正しく変換されている状態で[↓]を押す

2文節目が確定します。
さらに長い文章の場合も、同様の操作を繰り返すことにより、文節ごとに変換することができます。

変換する「読み」の長さを変える

変換する「読み」の長さが違い、目的の漢字に変換できない場合は、[←][→]ボタンを押して変換対象となる「読み」の長さを変えます。

例：「きのうえをかった」を「昨日絵を買った」に変換する

❶ 「きのうえをかった」を入力して[変換 スペース]を押す

ATOK変換画面になります。

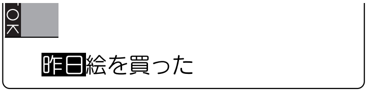
❷ 変換する文節の長さが適当でないときは[←][→]を押す

変換対象(ネガ表示部分)は[←]で短く、[→]で長くなります。

[←][→]を押して「きのう」を文節にする

❸ [変換 スペース]を押す

長さを変えた1文節目の変換候補が表示されます。



正しく変換されたら[↓]で確定し、2文節目以降を変換します。

MEMO

- ATOK変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
- 一度に入力できる「読み」は30文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾14文字だけとなります。また、長い「読み」を入力するとうまく変換できないことがあります。
- [↓]で文節を確定した直後であれば、(復活)ボタンで確定前の状態に戻すことができます。

2. 英数字を入力する

英数字は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。小文字の入力には シフト を使います。

例 ：

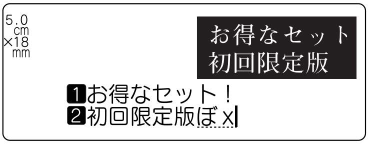
ここを入力します

ローマ字入力の場合

綴りを入力してから変換します。

1 「Box」を入力する

ローマ字入力：こB、シフト＋らO、シフト＋さX



「ぼｘ」と表示されます。

2 変換 スペース を押す

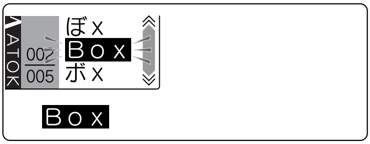
ATOK変換画面になります。

3 変換する文節の長さが適当でないときは → を押す

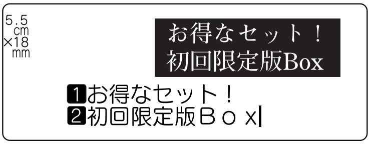
「ぼｘ」が変換対象（ネガ表示）になります。

4 「Box」が選択されるまで 変換 スペース を押す

5 「Box」が選択されている状態で ↓ を押す



「Box」が確定します。



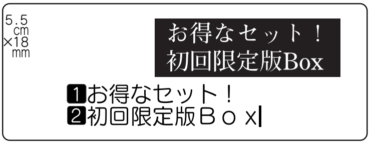
MEMO

- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後に 無変換 を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、シフト を押しながら 無変換 を押すと、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- 文字を間違えたときは、削除取消 ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 変換対象の長さを変える詳しい説明についてはP.38「変換する「読み」の長さを変える」を参照してください。
- 「かな入力」の状態では、入力できません。「ローマ字入力」または「ABC入力」に切り換えてください。

ABC入力の場合

英数字を入力するときに「ABC入力」にすると、文字ボタンを押して直接、英数字を入力できます。

❶ **[入力切換]を数回押して「ABC入力」を選ぶ**



❷ **「Box」を入力する**

ABC入力：[こB]、[シフト]+[らO]、[シフト]+[さX]
（小文字ロックをしている場合
ABC入力：[シフト]+[こB]、[らO]、[さX]）
「Ｂｏｘ」がテキスト画面に直接入力されます。

MEMO

小文字ロック

「ABC入力」時に、[シフト]を押しながら[入力切換]を押すと、小文字入力状態に切り換わり、[シフト]を押していないときに小文字入力インジケーターが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度[シフト]を押しながら[入力切換]を押します。

3. スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「␣」（半角スペース）が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

例 ：

ここにスペースを入力します

❶ 仮確定文字がないことを確認する

!! 注意 !!

仮確定文字があるときに［変換 スペース］を押すと、ATOK変換画面になります。

❷ ［変換 スペース］を押す

半角スペースが入力されます。

❶お得なセット！
❷初回限定版Ｂｏｘ␣|

テキスト画面には「␣」が表示されますが、印刷時にはスペース（空白）として扱われ、印刷されません。

MEMO

「ローマ字入力」「かな入力」「ABC入力」のいずれでも半角スペースが入力できます。

参考

全角スペース

スペースには半角スペース（␣）のほかに、全角スペース（␣␣）があります。全角スペースは、印刷すると約1文字分の空白となります。全角スペースを入力するには、［記号］を押して表示される記号メニューから「編集」を選び、その中の「␣␣」を選択します。

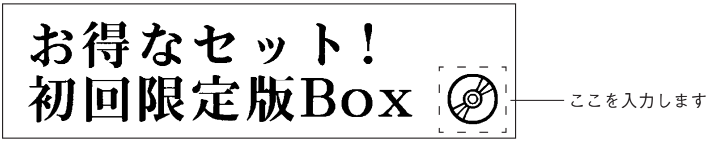
ただし、「文字間」で「ピッチ」が「ピッチ固定」に指定されているときは、半角スペースでも約1文字分の空白として印刷されます。

参照 ☞P.77「文字間」

	テキスト画面	ピッチ自動で印刷	ピッチ固定で印刷
半角スペース	❶ 田中␣慶介	田中 慶介	田中　慶介
全角スペース	❷ 田中␣␣慶介	田中　慶介	田中　慶介

4. 記号を入力する

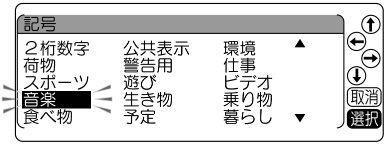
例 ：



❶ [記号]を押す

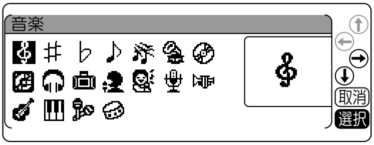
「記号」メニューが表示されます。

❷ [←][↑][↓][→]で「音楽」を選ぶ

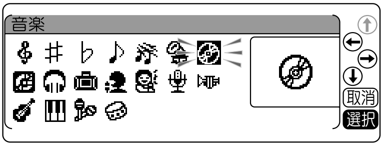


❸ [選択]を押す

「音楽」の記号が表示されます。

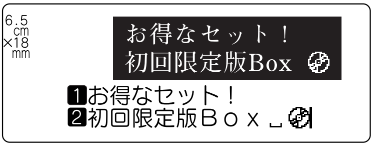


❹ [←][↑][↓][→]で「💿」を選ぶ



❺ [選択]を押す

「💿」が入力されます。



MEMO

- 仮確定文字があるときは、[記号]ボタンで記号を入力することはできません。
- 記号の一覧は記号一覧表を参照してください。
  参照☞P.171「記号一覧表」
- 操作を途中でやめるときは[削除取消]または[記号]を押してください。
- 一度選択した記号のメニューや記号は、次回から優先して一番最初に表示されるようになります（学習機能）。
- 記号メニューの「外字呼出」は、登録した外字を呼び出します。
  参照☞P.128「外字を呼び出す」
- 記号メニューの「2桁数字」は、2桁で1文字となる数字を入力します。
  参照☞P.65「たて書きで2桁の数字を印刷する」
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下の働きをします。
  - [罫]：罫入力記号
    縦罫線を入力します。
    参照☞P.82「外枠・表組み」
  - ␣：全角スペース
    全角のスペースを入力します。
    参照☞P.41「全角スペース」
- 記号メニューの「合成」内の記号は、文字やその他の記号と合成することができます。
  参照☞P.43「丸つき文字などを入力する（合成）」

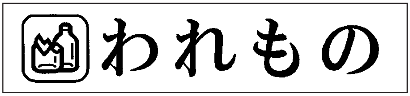
使いかた編1

参考

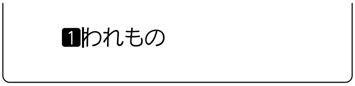
丸つき文字などを入力する(合成)

文字や記号を、○や□などの「合成記号」と合成してオリジナルの文字を作ることができます。「合成記号」には⃠○✕□▢ があります。文字や記号のほか、2桁数字、外字なども合成することができます。

例 :



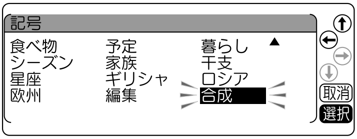
❶ 合成文字を入力する位置にカーソルを合わせる



❷ (記号)を押す

「記号」メニューが表示されます。

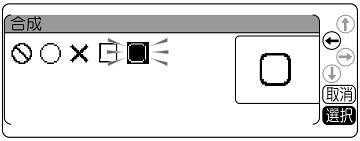
❸ 「合成」を選び、[選択]を押す



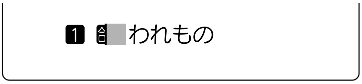
「合成記号」が表示されます。

❹ 記号を選び、[選択]を押す

例の場合は、「▢」を選び、[選択]を押します。

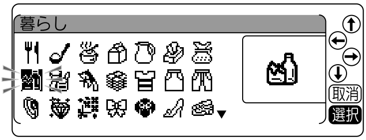


合成マーク合と入力エリアが表示されます。

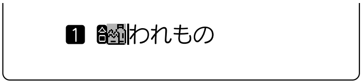


❺ カーソルが合成マーク合の右にあることを確認し、合成する文字や記号を入力する

例の場合は、(記号)を押して「暮らし」メニューから「[絵記号]」を選び、[選択]を押します。



入力エリアに合成する文字や記号が表示されます。



MEMO

- 操作を途中でやめるときは(削除/取消)または(記号)を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があるときは、(記号)ボタンで合成文字を入力することはできません。
- 文字によっては、「合成記号」から文字や記号などがはみ出すことがあります。
- 文字サイズによっては、「合成記号」⃠○✕□▢ の一部が欠けることがあります。
- 合成文字を2文字以上続けて入力することはできません。続けて「合成記号」を入力すると、最初の合成文字の内容が置き換わってしまいます。続けて入力せずに、間にスペースなどを入れて入力し、その後にスペースを削除してください。
- 連番、バーコードは合成できません。
- 記号メニューの「数字」内には、1〜20の丸つき数字があります。

5. 印刷イメージを確認する（プレビュー）

文字の入力が終わったら印刷します。印刷前に、印刷するイメージをディスプレイに表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

❶ テープカートリッジを正しくセットしているか確認する

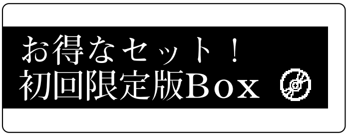
実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

❷ シフト を押しながら みえ² （＝プレビュー）を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

イメージの表示中に 無変換 変換 スペース ← ↑ ↓ → のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。

プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。



MEMO

プレビューを途中でやめるときは 削除取消 または 選択 を押してください。

!! 注意 !!

- プレビューが表示されるのは、テキスト画面・特殊フォーム入力時です。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープがありません！」と表示されプレビューは表示されません。
- 本機では、16m以上のラベルは印刷できません。印刷結果が16mを超える文章を入力した場合、プレビューは表示されず、ディスプレイに「入力した文章が長すぎます」のメッセージが表示されます。この場合は、いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻ってから、文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」が表示され、プレビューは表示されません。
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

6. 印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、ACアダプタ(AS1527J)を正しく接続しているかを確認してください。

❶ **(印刷)を押す**

「準備中」と表示された後、できあがるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。

印刷中	
長さ	6.5cm
幅	18mm
	1 枚

印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。印刷を途中でやめるときは(削除取消)を押してください。

MEMO

- 印刷中に(ON/OFF)ボタンを押すと印刷を中止し、テープをカットした後に電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと、ディスプレイに印刷枚数が表示されます。
- 印刷枚数表示は、印刷内容(文字や書式など)を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。また、印刷枚数99枚の次は「100枚」その次は「1枚」と表示されます。
- 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約20mmカットされます。
  - ・余白が「極少」、「少なめ」の場合(全テープ幅)
  - ・余白が「自動少なめ」の場合(36mm幅テープ以外)
  - ・余白が「自動多め」の場合(4mm、6mm幅テープ)
- ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- 特殊印刷(連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷)をおこなう場合は、(ぞく²でか²)ボタンで印刷します。
  参照☞P.136「特殊な印刷(ぞく²、でか²)」

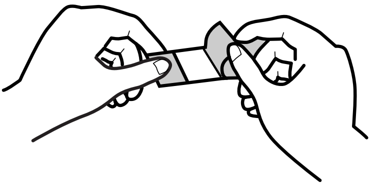
!! 注意 !!

- 反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルは「自動カット」を無効で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
  参照☞P.58「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」
  参照☞P.153「テープカートリッジを使いわける」
- 反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・ロングテープ・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・転写テープ・ケーブル表示ラベルを使う場合は、ハーフカットを無効にしてください。
  参照☞P.58「印刷時の自動カット/ハーフカットを設定する」
  参照☞P.153「テープカートリッジを使いわける」
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷を開始するまでの処理時間が長いことがあります。
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- 仮確定文字は印刷されません。
- 印刷中に上カバーを開けると、印刷が中断します。印刷中には上カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープがありません!」が表示されます。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー!」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。
- 16mを超える印刷はできません。

7. ラベルを貼る

印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

❶ 裏紙をはがす



ハーフカットを有効にしておけば、ラベル部分のみをカットするので、裏紙をはがしやすくなります。

参照 ☞P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

❷ しっかりとこすって貼り付ける

MEMO

印刷したラベルのカドを丸くすることができます。

参照 ☞P.61「カドを丸く仕上げる」

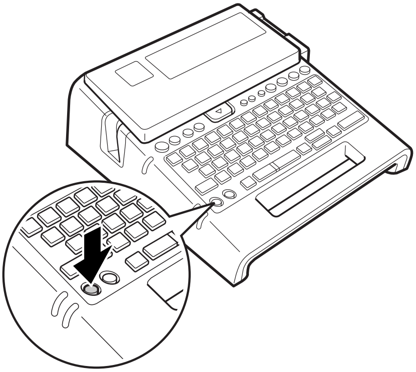
!! 注意 !!

- ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなったりすることがあります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨や日光にさらされるところや、屋外に貼ることは避けてください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにむやみにラベルを貼るのはやめましょう。
- **「テプラ」で得られるラベルについて**
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

使い終わったら〈電源を切る〉

❶ ON/OFF ◯（ON/OFF）を押す

電源が入っている状態で ON/OFF ◯（ON/OFF）を押すと、終了のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力した文章が表示されます。



❷ ACアダプタ（AS1527J）をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

!! 注意 !!

- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、電池、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。電池を取りはずしても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。

つづいて

以上で基本的な操作は終了です。続いて「使いかた編２」で複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。

使いかた編 2

〜目的にあったラベルを作ろう〜

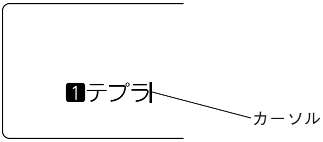
複数行のラベルにしたり、文章を段落に分けるなど、文章を仕上げる機能を確認しましょう。
また、印刷機能を設定したり、「カド丸仕上げ」にするなど用途に合わせたラベルを作りましょう。

◉文章を作る

入力した文章に文字を挿入したり、入力した文章を消去するなどの変更ができます。

カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入・削除する位置を表します。

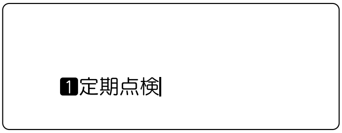


カーソルの移動にはカーソルボタン[←][↑][↓][→]を使います。
本機のディスプレイには最大15文字×5行まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
[→]	右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
[←]	左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
[↑]	前(上)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
[↓]	次(下)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
[シフト]+[←]	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
[シフト]+[→]	行末へ移動します。 繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
[シフト]+[↑]	段落の先頭へ移動します。 繰り返すと、前の段落の先頭、さらに前の段落の先頭……と移動します。
[シフト]+[↓]	段落の終わりへ移動します。 繰り返すと、次の段落の終わり、さらに次の段落の終わり……と移動します。

[シフト]+[ ]となっている表記は、[シフト]を押しながらそのボタンを押す操作です。

文章を入力する



文字はキーボードの文字ボタンで入力し、[変換 スペース]を押して漢字などに変換します。
参照 ☞P.34「手順どおりに作ってみよう」

文字を削除/挿入する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせ[削除取消]を押すと文字が削除されます。
文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

例：「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

1 **[←][→]で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる**

1定期|点検実施中

2 **[削除取消]を押して「定期」を削除する**

1定期|点検実施中

[削除取消] x2回

1|点検実施中

カーソル位置は行頭になります。

3 **「特別」を入力する**

1特別|点検実施中

!! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数（約500文字）をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク（◀）が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

MEMO

間違って文字を削除した場合は、削除した直後なら[復活]ボタンで復活できます。

削除した文字をもとに戻す（復活）

削除した文字や文章は、削除した直後なら[復活]ボタンで復活できます。

例：「定期点検実施中」の「定期」を削除してから復活する

1 **「定期点検実施中」を入力する**

1定期点検実施中|

2 **[←][→]で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる**

3 **[削除取消]を2回押して「定期」を消す**

1定期|点検実施中

[削除取消] x2回

1|点検実施中

4 **[復活]を押す**

削除した文字が復活します。

1定期|点検実施中

MEMO

- 仮確定の状態で削除した文字は、復活できません。
- 削除直後に[←][↑][↓][→][シフト][入力切換][みえ²]（みえ²）以外のボタンを押した場合は、次に[復活]を押しても復活できません。
- [削除取消]ボタンで削除した文字を30文字まで記憶できます。
- 全文消去、段落消去も復活できます。
- 文字の貼り付けをやめることもできます。

使いかた編2

文字をコピーする

すでに入力した文字をコピーすることができます。

例 :「定期点検実施中、特別点検実施中」で2回目の「点検実施中」をコピーで挿入する

1 **1行目に「定期点検実施中」、2行目に「特別」を入力する**

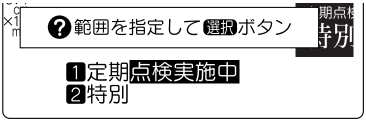
2 **[←][↑][↓][→] で「点」の前(左側)にカーソルを合わせる**

1定期点検実施中
2特別

3 **(コピー)を押す**

コピー範囲を指定する画面になります。

4 **[←][→]で範囲を指定し、[選択]を押す**



指定した範囲がネガ表示になり、[選択]を押すと一時的に記憶されます。このあとの貼り付け操作で文字を貼り付けます。

MEMO

- 一度にコピーできる文字は30文字までです。
- バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタマバーコード入力時には、コピーや貼り付けはできません。

文字を貼り付ける

コピーした文字は、あらたにコピーするまで何度でも貼り付けることができます。

1 **[←][↑][↓][→] で貼り付け先にカーソルを合わせる**

2特別

2 **[シフト]を押しながら(コピー)(=貼付け)を押す**

コピーされた文字が挿入されます。

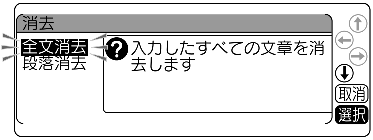
2特別点検実施中

すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

1 **[シフト]を押しながら(削除/取消)(=消去)を押す**

「消去」メニューが表示されます。



2 **「全文消去」を選び、[選択]を押す**

ディスプレイが一瞬消灯し、全文消去されます。消去後は、テキスト画面に戻ります。

1

カーソルのある段落のみを消去したいときは「段落消去」を選びます。

参照 P.57「特定の段落を消去する」

!! 注意 !!

入力した文章には、編集機能の指定内容が一緒に含まれています。全文消去をおこなうと、これらの内容もすべて消去されます。消去してもよいかを充分に確認してから全文消去をおこなってください。

MEMO

- 削除した直後なら(復活)ボタンで復活できます。
- 全文消去では、以下の内容は消去されません。
  ファイル・あて名・名前・辞書・外字データ、文字地紋データ、創作地紋データ、編集の保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態、「みえ²」の状態
- すべてを購入時の設定に戻したいときは、本機の初期化をおこなってください。
  参照 P.145「本機を初期化する」

行を増やす(改行)

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます(選択 改行を押します)。

テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから36mmまでの幅のテープを使うことができます。
セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24＊mm	36mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	5行まで	7行まで	10行まで	13行まで

MEMO

- 24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「＊」のついた24＊mm幅テープは10行まで印刷できます。品番末尾に「＊」のつかない24mm幅テープは7行まで印刷できます。
- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク1 2……☒、1 2……☒と、実質行頭マーク❶ ❷……☒、❶ ❷……☒の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- ☒☒はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。☒の表示がある時に(印刷)を押しても「行数オーバー！」が表示されます。☒のある行を削除してから印刷をおこなってください。
  参照☞P.154「こんな表示が出たときは - 行数オーバー！」

新しい行を作る

行の終わりで選択 改行を押すと、新しい行に入力することができます(改行)。

例 ：3 行の文章を入力する

営業1課
営業2課
営業3課

❶ 「営業１課」を入力し、選択 改行を押す

❶営業１課

↓ 選択 改行

2行目に行頭マークが表示されます。

❶営業１課
2

❷ 「営業２課」を入力し、選択 改行を押す

❶営業１課
❷営業２課

↓ 選択 改行

3行目に行頭マークが表示されます。3行目を入力します。

❷営業２課
3

MEMO

仮確定文字があるときは、選択 改行を押しても改行できず、文字が確定します。

文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ(右側)の文字は次の行に移ります。

例 :「営業１課田中慶介」を２行にする

営業1課田中慶介

↓ 途中で改行すると

営業1課
田中慶介

❶ [←][→] で「課」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

1営業１課田中慶介

❷ [選択 改行]を押す

2行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は2行目に移動します。

1営業１課
2田中慶介

MEMO

仮確定文字があるときは、[選択 改行]を押しても改行はできず、文字が確定します。

改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて(削除取消)を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例 :２行目での改行を取り消す

株式会社 ○×商事
営業部
営業1課
田中慶介

↓ 途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事
営業部営業1課
田中慶介

❶ 3行目の行頭マーク3の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

1株式会社␣○×商事
2営業部
3営業１課
4田中慶介

❷ (削除取消)を押す

3行目の「営業1課」が2行目に連結されます。4行目の「田中慶介」が3行目になります。

1株式会社␣○×商事
2営業部営業１課
3田中慶介

MEMO

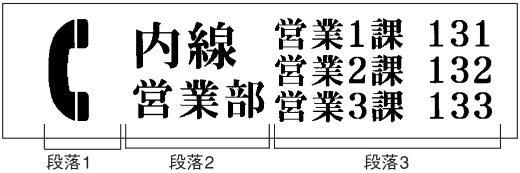
- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、(削除取消)を押すと4行目の文章が3行目に連結され、4行目は自動的に削除されます。
- 第1段落の1行目の行頭マーク1 [1]は削除できません。

使いかた編2

段落を増やす(改段落)

下のラベルは3つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼んでいます。段落とはテープ幅に積み重ねて印刷される「行の集まり(または1行)」のことです。1つのラベルの中にいくつかの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えたりすることができます。
段落は1つのラベル(文章)の中に最大32段落まで作ることができます。

段落が3つのラベル



印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では下記のように各段落が縦にならんだ形になります。

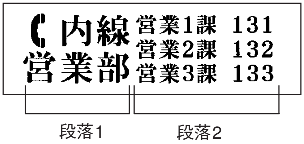
【画面上では】

段落1	1
段落2	1 内線
	2 営業部
段落3	1 営業1課 131
	2 営業2課 132
	3 営業3課 133

新しい段落を作る

段落の終わりで［シフト］を押しながら［選択 改行］(=改段落)を押すと、新しい段落ができます。

例：２段落の文章を入力する



❶ 段落1を入力する

1行目に「内線」、2行目「営業部」と入力します。

```
1 内線
2 営業部
```

❷ 文末にカーソルを合わせ、［シフト］を押しながら［選択 改行］(=改段落)を押す

新しい段落が発生し、その1行目の行頭マーク［1］が表示されます。

```
2 営業部
1
```

❸ 段落2を入力する

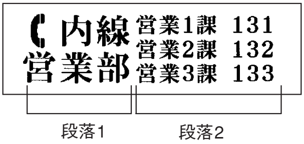
1行目「営業1課 131」
2行目「営業2課 132」
3行目「営業3課 133」
と入力します。
改行のときは、行の終わりで［選択 改行］を押してください。

```
2 営業２課␣１３２
3 営業３課␣１３３
```

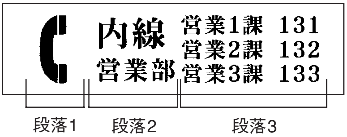
段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ(右側)の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす



段落1の「」の後ろ(右側)で改段落すると



❶ 段落1の1行目「」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

```
1 |内線
2 営業部
```

❷ ［シフト］を押しながら［選択 改行］(=改段落)を押す

改段落され、カーソルより後ろ(右側)の文字は新しくできた段落に移ります。
カーソルは新しい段落の1行目にあります。
段落2はそのまま段落3に移ります。

```
1
1 |内線
```

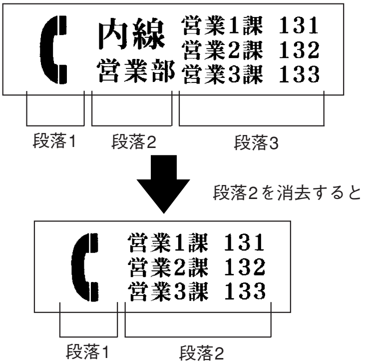
MEMO

- 仮確定文字があるときは、［シフト］を押しながら［選択 改行］を押しても改段落はできず、文字が確定します。
- 段落分割によって新しくできた段落の段落スタイルの内容は、もとの段落と同じです。
  参照 P.78「機能の説明(段落スタイル)」
- もとの段落スタイルの文字サイズに行数が指定されていると、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。
  参照 P.79「文字サイズ」

特定の段落を消去する

不要な段落を消去します。段落を消去すると、文字だけではなくその段落に指定された段落スタイル指定、文字モードの指定内容もすべて消去されます。

例：段落２を消去する

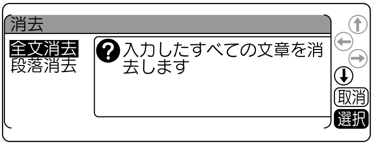


1 消去する段落2にカーソルを合わせる

カーソル位置は消したい段落内ならどこでもかまいません。

2 シフト を押しながら 削除/取消 (=消去)を押す

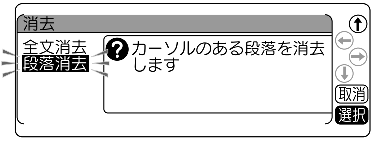
「消去」メニューが表示されます。



!! 注意 !!

「全文消去」で 選択 を押すと、入力したすべての文章が消去されます。ご注意ください。

3 ↑ ↓ で「段落消去」を選ぶ



4 選択 を押す

ディスプレイが一瞬消灯し、段落が消去されます。消去が終わるとテキスト画面に戻ります。

MEMO

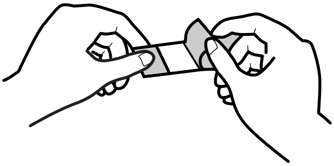
- 段落消去をおこなうと、カーソル位置の段落内容がすべて消去されます。段落消去は充分に確認してからおこなってください。
- 間違って消去した全文･段落は、消去した直後なら 復活 ボタンで復活させることができます。
  ただし､段落消去後に ← ↑ ↓ → シフト 入力切換 みえ² (みえ²)以外のボタンを押すと、消去された全文・段落を復活させることはできません。
- 段落消去を途中でやめるときは、削除/取消 を押してください。

使いかた編2

印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する

本機には、印刷時に、ラベルを自動的にカットする「自動カット」と、ラベル部分にスリットを入れ、はがしやすくする「ハーフカット」機能があります。

ハーフカットを有効にして印刷すると、ラベル部分にスリットが入るので、はがしやすくなります。ハーフカットが有効になっているときは、ハーフカットランプが点灯します。



!! 注意 !!

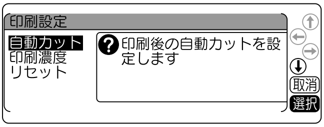
- 本機のカッターでカットできない反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルを使う場合は、自動カットを無効にして印刷してください。
  参照 P.153「テープカートリッジを使いわける」
- ハーフカットのできない反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・ロングテープ・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・転写テープ・ケーブル表示ラベルを使う場合は、ハーフカットを無効にして印刷してください。
  参照 P.153「テープカートリッジを使いわける」

自動カットとハーフカットを無効にする

❶ [シフト]を押しながら[ぞくせい/でか]（＝印刷設定）を押す

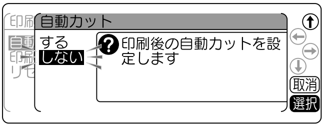
「印刷設定」メニューが表示されます。

❷「自動カット」を選び、[選択]を押す



「自動カット」が表示されます。

❸ [↑][↓]で「しない」を選び、[選択]を押す

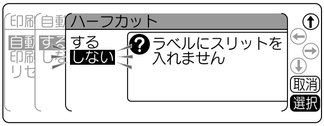


自動カットとハーフカットが無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

自動カットを有効、ハーフカットを無効にする

左の手順❸で「する」を選ぶと自動カットは有効となり、「ハーフカット」メニューが表示されます。手順❹の操作をおこなってください。

❹ [↑][↓]で「しない」を選び、[選択]を押す



ハーフカットのみ無効に設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 自動カットとハーフカットをともに有効にする場合は、手順❸、❹で「する」を選びます。
- 自動カットなしで印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3 mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 自動カットが無効でも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができます。
  参照 ☞P.31「5.テープ送りをする」
- ハーフカットを無効にしている場合は、長さ約20mm以下のラベルは印刷できません。ハーフカットが有効の場合は、長さ8mm以上のラベルを印刷できます。
- 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約20mmカットされます。
  ・余白が「極少」、「少なめ」の場合（全テープ幅）
  ・余白が「自動少なめ」の場合（36mm幅テープ以外）
  ・余白が「自動多め」の場合（4mm、6mm幅テープ）
- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
  参照 ☞P.184「アフターサービスについて」

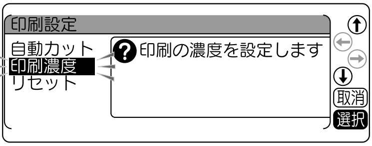
印刷濃度を調整する

印刷濃度は7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「0」でご使用ください。

❶ シフト を押しながら ぞくでか (=印刷設定)を押す

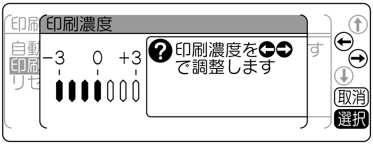
「印刷設定」メニューが表示されます。

❷ ↑ ↓ で 「印刷濃度」を選び、選択 を押す



「印刷濃度」が表示されます。

❸ ← → で濃度を調整し、選択 を押す



印刷濃度が設定されます。

MEMO

- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度にあわせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「0」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がつぶれたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 反射ラベル・透明つや消しラベルを使う場合や、上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープで印字がカスレた場合は「+3」に設定してください。

参照 P.153「テープカートリッジを使いわける」

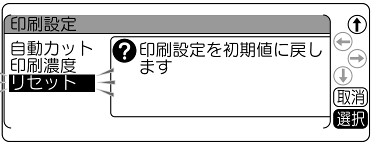
印刷設定をリセットする

自動カットと印刷濃度の設定をご購入時の状態(初期設定値)に戻します。

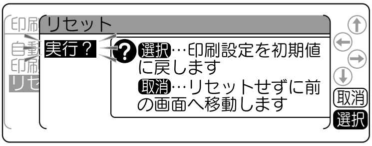
❶ シフト を押しながら ぞくでか (=印刷設定)を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

❷ ↑ ↓ で 「リセット」を選び、選択 を押す



❸ 「実行？」を選び、選択 を押す



自動カットと印刷濃度の設定が初期設定値になります。

カドを丸く仕上げる

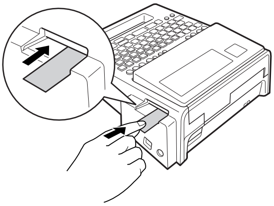
ラベルをトリマー差込み口に挿入すると、ラベルのカドを丸く仕上げることができます。「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよいばかりでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。

お得なセット！
初回限定版Box

9mm、12mm、18mm、24mm幅テープのとき

ラベルのカドを片側ずつ仕上げます。

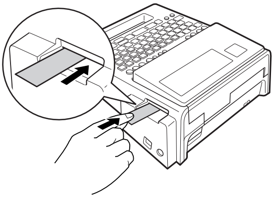
1 ラベルの片側をトリマー差込み口の左右どちらかのガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

カドが丸くカットされているか確認します。

3 ラベルの反対側をガイドに沿わせ、同様にカットする



36mm幅テープのとき

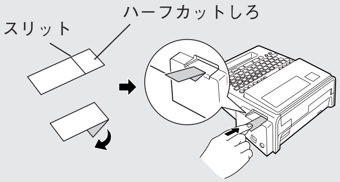
左右のカドが同時にカットされます。

1 ラベルの左右をトリマー差込み口のガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む

2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

MEMO

- ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げ、トリマー差込み口に差し込んでください。



- ご購入時、「カド丸トレー」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。

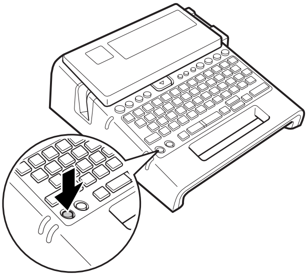
!! 注意 !!

- 印刷中および上カバーが開いているときはオートトリマーが作動しません。
- ラベルはトリマーガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
- ラベルはつき当たるまでしっかりと差し込んでください。
- オートトリマーにラベルを差し込んだままラベルを左右に動かさないでください。途中で引っかかり、うまくカドが丸くカットされないことがあります。
- トリマー差込み口には、シャープペンシルやクリップなどラベル以外のものを入れないでください。オートトリマーが故障する原因となります。
- 4mm幅、6mm幅ラベルには、オートトリマーを使用できません。トリマー（RT36W）を使ってカットしてください。
  参照 ☞P.11「別売品のご案内」
- 反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・上質紙ラベル・ふせん紙ラベルはカットできませんので、オートトリマーに差し込まないでください。
  参照 ☞P.153「テープカートリッジを使い分ける」

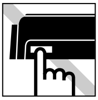
オートトリマーのお手入れ

「カド丸トレー」にはオートトリマーの切りクズがたまります。ときどき「カド丸トレー」をはずして掃除してください。

❶ (ON/OFF)を押して電源を切る



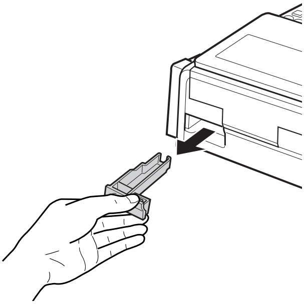
⚠警告



「カド丸トレー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「カド丸トレー」をはずしたまま作動させると刃で指を切ったりするなど、大変危険です。
また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。

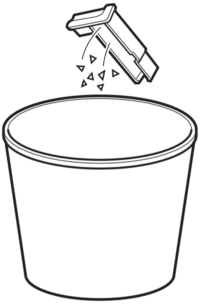
❷「カド丸トレー」をはずす

「カド丸トレー」の下側に指を入れ手前に引きます。



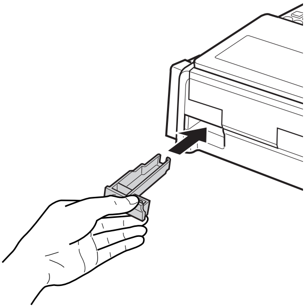
❸ 切りクズを取りのぞく

「カド丸トレー」内にたまった切りクズを市販の綿棒などで取りのぞきます。



❹「カド丸トレー」をはめる

「カド丸トレー」をもとのように取り付けます。



MEMO

オートトリマーは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 P.184「アフターサービスについて」

使いかた編2

機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「ラベルの向きを変えたい」
「ラベルを見栄えよくしたい」
「入力した文章を保存しておきたい」
こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

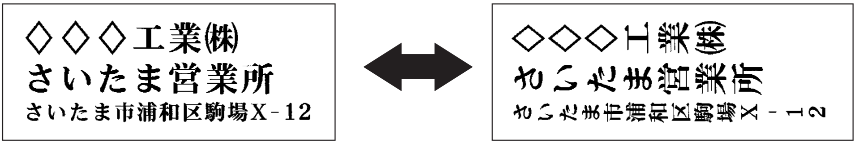
ラベルの向きを変える(縦・横)

本機には、ラベルの向きをワンタッチで変えられる 縦･横 (縦・横)ボタンがあります。

縦･横 (縦・横)ボタンを使う

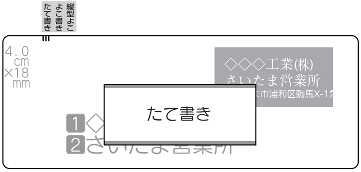
縦･横 (縦・横)ボタンを使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」で切り換えられます。

よこ書きラベル　　　　たて書きラベル



1 縦･横 **(縦・横)を押す**

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。
「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。
たて書き・よこ書きは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。

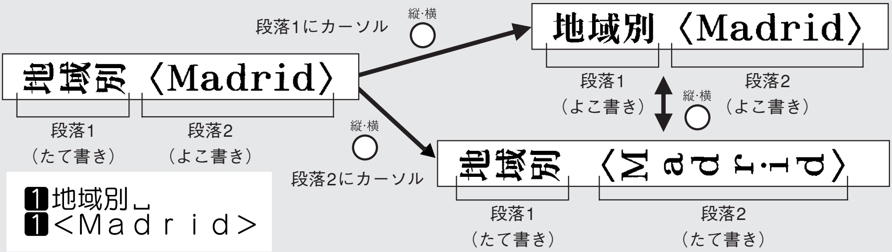


MEMO

- 仮確定文字があるとき、「たて書き」「よこ書き」は変更できません。
- 編集機能の「縦・横」では文章全体または段落単位で指定できます。
  参照 P.67「ラベルの見栄えをよくする(編集)」
- 編集機能の「縦・横」で「縦型よこ書き」を指定している段落は、縦･横 (縦・横)ボタンで変更できません。
  参照 P.78「縦・横」

!! 注意 !!

縦･横 (縦・横)ボタンは文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が文章全体に反映されます。



縦・横

機能編

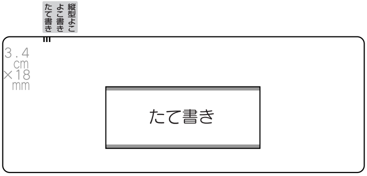
参考

たて書きで2桁の数字を印刷する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例 ：「02 年大会記録」を入力する

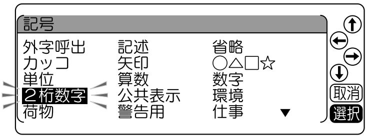
1 縦·横（縦・横）を押して、「たて書き」を指定する



2 記号を押す

「記号」メニューが表示されます。

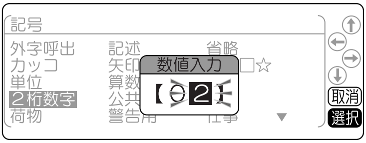
3 「2桁数字」を選び、選択 改行を押す



数字入力画面が表示されます。

4 2桁の数字を入力し、選択を押す

ここではわを0、ふ2と押し、選択を押します。



カーソルの位置に「02」が表示されます。

5 続けて文章を入力する

MEMO

- 操作を途中でやめるときは削除または記号を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 2桁の数字は、記号を押して「2桁数字」を選んで入力します。テキスト画面での入力では2桁数字にはなりません。
- 仮確定文字があるときは、記号ボタンで2桁数字は入力できません。

縦・横

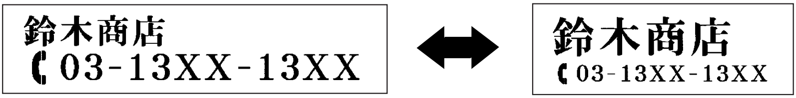
機能編

ラベルの長さを整える(らく^2)

(らく^2)ボタンを使うと、文字サイズを「均等」または「らく^2」に切り換えられます。

「らく^2」を選ぶと、すべての行ができるだけ同じ長さになるように文字サイズを自動調整します。1行の場合でも、文字数が多い場合は全体が長くなりすぎないように文字サイズを調整します。
「均等」を選ぶとすべての行を同じ文字サイズにします。

2行で「均等」を指定　　　　　　2行で「らく^2」を指定



1 ラベルの文章を入力する
参照 P.35「文字を入力する」

2 (らく^2)を押す
「均等」または「らく^2」は、ディスプレイのインジケーターで確認できます。
「らく^2」の場合は、文字サイズを自動調整します。
「均等」の場合は、すべての行を同じ文字サイズにします。

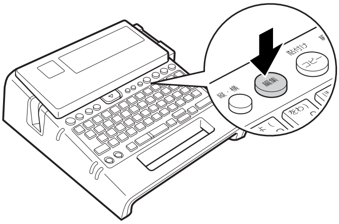
MEMO

- 仮確定文字があるとき、「均等」「らく^2」は変更できません。
- (らく^2)ボタンは編集機能の「文字サイズ」が「均等」または「らく^2」に指定されているときのみ有効です。「おまかせフォーマット」や「自由のび^2」で文字サイズを行ごとに指定している場合は、変更できません。
  参照 P.79「文字サイズ」

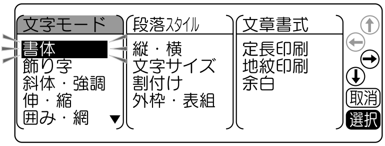
ラベルの見栄えをよくする(編集)

文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

ラベルの見た目を変えるには、（編集）ボタンを押して表示されるメニューから機能を選択します。
機能は、指定可能な範囲の違いによって、文字モード・段落スタイル・文章書式に分類されています。



表示されるメニュー

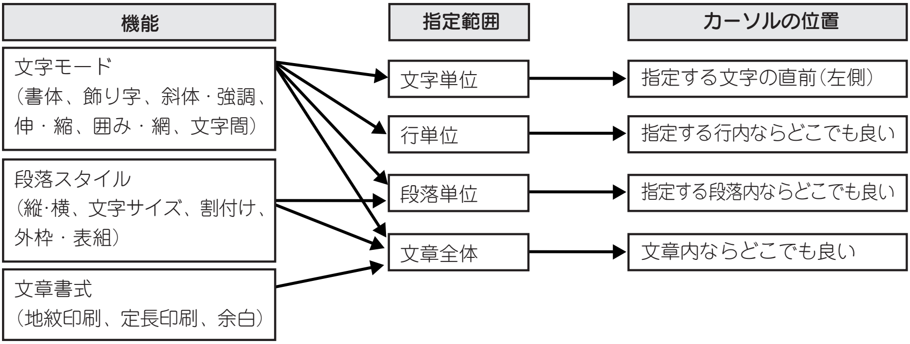


編集ボタンの機能

機能の分類	指定範囲	機能	内容
文字モード	文字単位 行単位 段落単位 文章全体	書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。
		飾り字	淡文字、白文字、影文字、白抜影の装飾をします。
		斜体・強調	斜体、強調、斜強調の装飾をします。
		伸・縮	文字を伸縮して変形します。
		囲み・網	下線、網かけ、囲みの装飾をします。
		文字間	文字の間隔を狭くしたり、広くしたりします。
段落スタイル	段落単位 文章全体	縦・横	たて書きや、よこ書き、縦型よこ書きにします。
		文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。
		割付け	各行の割りつけ位置を指定できます。
		外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。
文章書式	文章全体	定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。
		地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。
		余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。

編集の指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、（編集）ボタンを押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で有効範囲の指定をおこないます。
カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



編集を指定する

編集は以下のような流れで指定します。

❶ カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前(左側)にカーソルを合わせます。
行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。
文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。

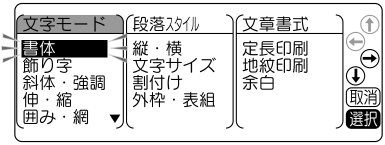
参照 ☞P.67「編集の指定範囲とカーソルの位置について」

❷ (編集)を押す

> **!! 注意 !!**
> 文章中に仮確定の文字があるときは、編集は指定できません。

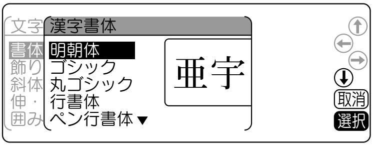
❸ 機能を選ぶ

[←][↑][↓][→]で目的の機能を選び、[選択]を押します。



❹ 各機能の選択肢を指定する

[↑][↓]で目的の選択肢を選び、[選択]を押します。

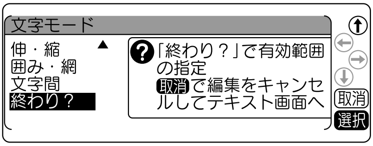


❺「終わり？」を選ぶ

1つの機能の指定が終わると、「終わり？」が表示されます。

同じ分類の機能(この場合「文字モード」)であれば、続けて指定することができます。[↑][↓]で目的の機能を選び、[選択]を押します。
以降の手順は❹❺と同様です。

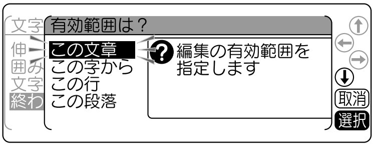
指定を終了する場合は、「終わり？」を選び、[選択]を押します。
手順❻へ進みます。



> **MEMO**
> 異なる分類の機能(この場合「段落スタイル」「文章書式」)を指定したい場合は、手順❼の「編集続行？」で「する」を選択してください。

❻ 指定した機能の有効範囲を決める

指定した機能の有効範囲を指定します。
下表を参考に、［↑］［↓］で指定する範囲を選び、［選択］を押します。
（「文章書式」の機能を選択した場合は、有効範囲の画面は表示されませんので手順❼へ進みます。）



●「文字モード」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した文字モードを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この字から	カーソルを合わせた位置に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末（または、次の「▶」）まで、指定した文字モードを反映します。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。

●「段落スタイル」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

●「文章書式」の機能を指定した場合

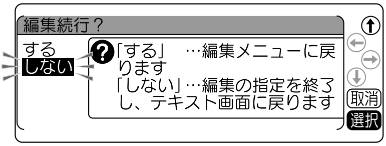
有効範囲の画面は表示されません。
手順❺で「終わり？」を選択した時点で、文章全体に指定した文章書式を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

MEMO

- 「▶（文字モード指定マーク）」は印刷されません。
- 「▶」は削除することができます。
- 「▶」を削除すると、その前にある「▶」の指定を反映します。
  「▶」がない場合は、「この文章」で指定した内容、または編集の保存値を反映します。
- 編集にある各機能のご購入時の状態（初期設定値）はP.70「編集メニュー一覧」で確認できます。また、この設定はP.142「編集機能の保存値を設定する」で変更することもできます。
- 編集の指定の途中で（削除取消）または（編集）を押すと、1つ前の状態に戻ります。
  この操作を繰り返すと、編集の指定を解除しテキスト画面に戻ることができます。
- 一部の編集の指定内容は、インジケーターの点灯で確認できます。
  参照☞P.22「ディスプレイの見かたとはたらき」
  また、（編集）を押して、各機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

❼ 編集を続けるかどうかを決める

［↑］［↓］で編集を続行するかどうかを選び、［選択］を押します。



「しない」にした場合は編集を終了し、テキスト画面に戻ります。

「する」にした場合は手順❸の編集メニューが表示されます。続けて、編集の各機能を指定することができます。

編集メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢

文字モード

書体 ▶

> **書体**
> 漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。
> 参照 P.75

漢字書体 ▶	かな書体 ▶	英数書体
明朝体	**自動**	**自動**
ゴシック	明朝体	明朝体
丸ゴシック	ゴシック	ゴシック
行書体	丸ゴシック	丸ゴシック
ペン行書体	行書体	行書体
波ゴ体	ペン行書体	ペン行書体
太型明朝体	波ゴ体	波ゴ体
太型ゴシック	えれん	HV体
太丸ゴシック	ハッピ	BR体
太型行書体	太型明朝体	PL体
	太型ゴシック	ST体
	太丸ゴシック	太型明朝体
	太型行書体	太型ゴシック
	太型えれん	太丸ゴシック
	太型ハッピ	太型行書体
		太型HV体
		太型BR体
		太型PL体
		太型ST体

飾り字 ▶

> **飾り字**
> 文字の装飾を指定します。
> 参照 P.75

- A **ふつう**
- A 淡文字
- A 白文字
- A 影文字
- A 白抜影

斜体・強調 ▶

> **斜体・強調**
> 文字を斜体または強調します。
> 参照 P.75

- A **正体**
- A 斜体
- A 強調
- A 斜強調

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
文字モード		
伸・縮 ▶ **伸・縮** 行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく(小さく)するかを指定します。 基本文字サイズに対して「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。 参照☞P.76	A ふつう A 小さく A 細かく A 縮める ▶ A 伸ばす	(小さく、細かくのみ) AA 中並び AA 下並び
囲み・網 ▶ **囲み・網** 下線や文字囲み、網かけなどを指定します。 網は網濃度が選べます。 参照☞P.76	A なし A 網かけ A 角囲み網 A 丸囲み網 A 訂正線 ▶ A 下線 A 角囲み A 丸囲み	(網かけ、角囲み網、丸囲み網のみ) **網濃度** ふつう 濃い ベタ
文字間 ▶ **文字間** 文字間隔を調整します。「ピッチ自動」は英数字にプロポーショナルがかかり、「ピッチ固定」は英数字も全角扱いになります。 参照☞P.77	密着 ▶ 狭い ふつう 広い	**ピッチ** ピッチ自動 ピッチ固定
終わり? ▶ **終わり?** 指定後のみ表示され、文字モードの範囲を指定します。 参照☞P.69	**有効範囲は?** この文章 この字から この行 この段落	**編集続行?** する しない

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢

段落スタイル

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
縦・横 ▶	たて書き **よこ書き** 縦型よこ書	
縦・横 文字の向きを指定します。 参照 P.78		
文字サイズ ▶	**自動**	均等 **らく²**
	1行 ▶	（おまかせフォーマット） **特大1a** 大　1b 中　1c 小　1d 細　1e
	2行 ▶	自由のび² **大大2a** 中中2b 大小2c 小大2d
	3行 ▶	自由のび² **均等3a** 1大3b 2大3c 3大3d
	4行 ▶	自由のび² **均等4a** 1大4b 2大4c 3大4d 4大4e
	5行 ▶	自由のび² **均等5a** 1大5b 2大5c 3大5d 4大5e 5大5f
	6行 ▶	自由のび² **均等6a** 上大6b 下大6c
	7-13行 ▶	自由のび² **均等**

均等
各行を同じ文字サイズにします。

らく²
入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。

おまかせフォーマット
各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。

自由のび²
行ごとに文字の大きさを指定します。
参照 P.79

編集

機能編

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢

段落スタイル

割付け ▶

割付け
各行の文字の配置を指定します。
参照 P.81

最初の選択肢：前揃え（選択中）／割付け／中揃え／後揃え

外枠・表組 ▶

外枠
ピクトグラフのような飾り枠がつけられます。
「?⎯?」（記号外枠）はオリジナルの外枠を作ります。
参照 P.82

表組み
ピクトグラフのような表組みのラベルを作ります。
参照 P.82

最初の選択肢：なし（選択中）

外枠 ▶ 次の選択肢：?⎯?、01（選択中）、02、03、04、05、06、07、08、09、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42、43、44、45、46、47、48、49、50、51、52、53、54、55、56、57、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86

表組み▶ 次の選択肢：01（選択中）、02、03、04、05、06、07、08、09、10

終わり？ ▶

終わり？
指定後のみ表示され、段落スタイルの範囲を指定します。
参照 P.69

最初の選択肢：有効範囲は？
- この文章（選択中）
- この段落

次の選択肢：編集続行？
- する
- しない（選択中）

編集

機能編

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢

文章書式

定長印刷 ▶

定長印刷
決まった長さのラベルを作ります。
参照 P.84

- 最初の選択肢: しない / VHS / 数値指定 / 8mmビデオ / A4ファイル / ミニDV / B5ファイル / MD / CDケース / 音楽テープ / FD・MO
- 次の選択肢:
  - (数値指定のみ) ▶ 1,0cm～95cm
    - 次の選択肢: 前寄せ / 割付け / 中寄せ / 後寄せ
  - (数値指定以外) 前寄せ / 割付け / 中寄せ / 後寄せ

地紋印刷 ▶

地紋印刷
定型地紋の入ったラベルを作ります。ピクトグラフを参考に地紋の柄を選びます。
参照 P.86

文字地紋
文字地紋の入ったラベルを作ります。
参照 P.87

創作地紋
創作地紋の入ったラベルを作ります。
参照 P.88

- 最初の選択肢: なし / 海波 / 菱形 / 菱網 / 雪 / 桜 / 星 / カード / 唐草 / 切抜 / 点網 / 文字地紋 ▶ / 創作1～4 ▶
- 次の選択肢:
  - (点網のみ) 網濃度: ふつう / 濃い
  - (文字地紋のみ) 地紋の文入力画面
  - (創作1～4のみ) ▶ 創作地紋作成画面
    - 次の選択肢: 創作地紋柄: 小柄 / 大柄

余白 ▶

余白
ラベルの前後の余白を調整します。
参照 P.89

- 最初の選択肢: 極少 / 少なめ / ふつう / 多め / 自動少なめ / 自動多め

終わり？ ▶

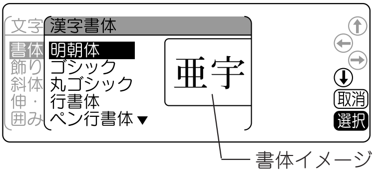
終わり？
指定後のみ表示されます。
参照 P.69

- 最初の選択肢: 編集続行？ する / しない

機能の説明（文字モード）

●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。
書体イメージは、指定中のガイドで確認できます。

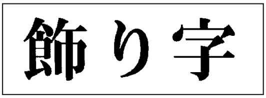


MEMO
太型書体は、文字が太い書体です。一部の文字は大きさにかかわらず、つぶれますのでご了承ください。

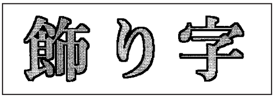
●飾り字

文字の装飾を選択します。

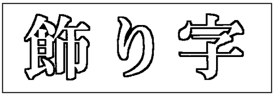
ふつう



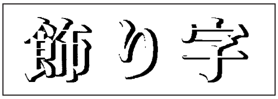
淡文字



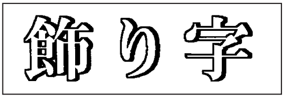
白文字



影文字



白抜影

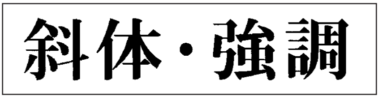


MEMO
文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

●斜体・強調

文字の斜体、強調を選択します。

正体



斜体

強調

斜強調

MEMO
文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

●伸・縮

各行の基本文字サイズ（行の大小）は、テープ幅·入力行数·文字サイズの段落スタイル指定によって決まります。伸・縮はこの基本文字サイズに対して相対的な大きさを指定します。

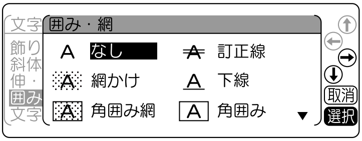
ふつう （ご購入時の初期設定値）	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
小さく-中並び/下並び	基本サイズより、1段階小さい文字になります。これを選んでから、次に文字の位置を中並び/下並びから選びます。
細かく-中並び/下並び	基本サイズより、2段階小さい文字になります。これを選んでから、次に文字の位置を中並び/下並びから選びます。
縮める	横の長さを基本サイズの約0.75倍にします。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約1.5倍にします。

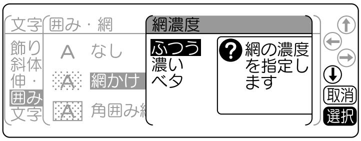
MEMO

- 基本文字に対して、「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。
- 英数専用書体（HV体・BR体・PL体・ST体）はベースラインが漢字書体や、かな書体と異なるため、「下並び」を指定しても漢字書体や、かな書体とベースラインが揃いません。
- 基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
- 各行の基本文字サイズは段落スタイルの指定で変えることができます。
  参照 P.79「文字サイズ」
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。
- 細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルを作ることができます。

●囲み・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。表示されるピクトグラフで囲み・網の種類を確認できます。網かけ、角囲み網、丸囲み網を選択した場合は、さらに網濃度を選びます。





!! 注意 !!

- 網濃度で「ベタ」を選ぶと、自動的に飾り字が「白文字」に指定されます。
- 網濃度の指定を変更しても、テキスト画面の印刷イメージには反映されません。
- 網濃度で「濃い」または「ベタ」を選ぶと、印刷結果にムラが生じることがあります。

●文字間

文字の間隔を選びます。

密着

□□密着

狭い

□□狭い

ふつう

□□ふつう

広い

□□広い

さらに文字間「ピッチ自動」、「ピッチ固定」を選びます。

ピッチ自動

世界選抜　1-1 キングFC
UEHA選抜 0-2 キングFC

「ピッチ自動」にすると、英数字にプロポーショナルやカーニングがかかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。

ピッチ固定

世界選抜　　１－１　キングＦＣ
ＵＥＨＡ選抜　０－２　キングＦＣ

「ピッチ固定」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字（半角スペースを含む）をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「ピッチ固定」を選んでください。

MEMO

文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。
- 複数個の外字をつなげたロゴを作るときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。参照 P.125「外字を使う」
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルが作れます。

カーニングとは

文字の左右の余白を重ねることで、隣合う文字の間隔を調整してバランスを整える機能です。「T」と「o」などの組み合わせは、自動的にカーニングがおこなわれ、「T o」→「To」となります。

機能の説明（段落スタイル）

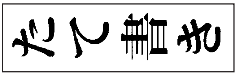
●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするか、縦型よこ書きにするかを指定します。
たて書き/よこ書きの変更は 縦・横（縦・横）ボタンでも指定できます。

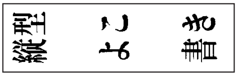
参照 P.64「ラベルの向きを変える（縦・横）」

よこ書き（ご購入時の初期設定値）

たて書き



縦型よこ書き



MEMO

縦型よこ書きを指定すると、段落スタイルの「文字サイズ」と文字モードの「文字間」の指定が反映されません。また、セットされたテープ幅によって、入力できる文字数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24＊mm	36mm
入力可能な文字数	1文字	2文字	3文字	5文字	7文字	10文字	13文字

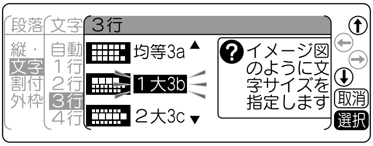
24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「＊」のついた24＊mm幅テープは10行まで印刷できます。品番末尾に「＊」がつかない24mm幅テープは7行まで印刷できます。

●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「らく²」「おまかせフォーマット」「自由のび²」で指定してください。
「均等」、「らく²」の変更は（らく²）ボタンでも指定できます。

均等	各行を同じ文字サイズにします。 12mm幅テープ 2ndアルバム 発売中！ 18mm幅テープ 封入特典 ♫インストアイベント招待券 日時：6月10日　19：30～ 詳しくは店員まで
らく² （ご購入時の初期設定値）	入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します（フルオート）。 **1行のとき：**文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。 「テプラ」PRO 簡単・綺麗なラベルが作れる「テプラ」PRO **2行以上のとき：**各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。 堀之内 0X0-20XX-20XX HORINOUCHI 0X0-20XX-20XX テープ幅や行数、文字数の割合に応じて、各行のできあがりの長さができるだけ揃うようにします。また、文字数が多くなってもラベル全体が長くなりすぎないように、文字サイズを自動調整します。
おまかせフォーマット	各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。 参照 P.80「おまかせフォーマット」
自由のび²	行ごとの文字サイズを自由に選びます（マニュアル）。 参照 P.81「自由のび²」

おまかせフォーマット(1行〜13行)



選択肢から文字サイズ(行の大小)を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

また、「自由のび²」を選ぶと、行ごとの文字の大きさ(行の大小)を自由に指定できます。

おまかせフォーマット 1行

特大1a・大1b・中1c・小1d・細1eと選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印字サンプル	美	美	美	美	美	美
文字サイズ[pt] / テープ幅	K [72]	K′ [64]	H [51]	U [38]	U′ [32]	G [26]
36mm	特大	大	中	小	細	−
24＊mm	−	−	特大	大	中	小
18mm	−	−	−	特大	大	中
12mm	−	−	−	−	−	特大
9mm	−	−	−	−	−	−
6mm	−	−	−	−	−	−
4mm	−	−	−	−	−	−

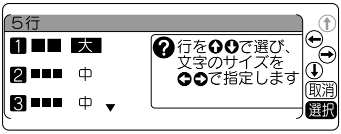
印字サンプル	美	美	美	美	美	美	美
文字サイズ[pt] / テープ幅	L [19]	L′ [16]	M [13]	S [10]	S′ [8]	P [6]	F [5]
36mm	−	−	−	−	−	−	−
24＊mm	細	−	−	−	−	−	−
18mm	小	細	−	−	−	−	−
12mm	大	中	小	細	−	−	−
9mm	特大	大	中	小	細	−	−
6mm	−	−	特大	大	中	小	細
4mm	−	−	−	−	特大	大	中、小、細

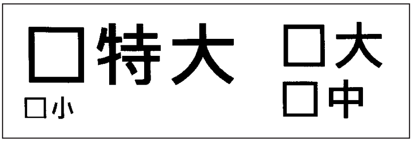
MEMO

- 24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「＊」のついた24＊mm幅テープは10行まで印刷できます。品番末尾に「＊」がつかない24mm幅テープは7行まで印刷できます。
- おまかせフォーマット(2行以上)は、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

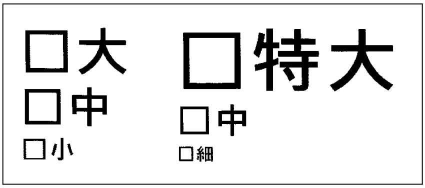
自由のび²

各行ごとに文字の大きさ（行の大小）を「細」「小」「中」「大」「特大」の5段階で、自由に指定できます。ただし、テープ幅や行数によっては異なるサイズを指定しても、印刷結果は同じになることがあります。

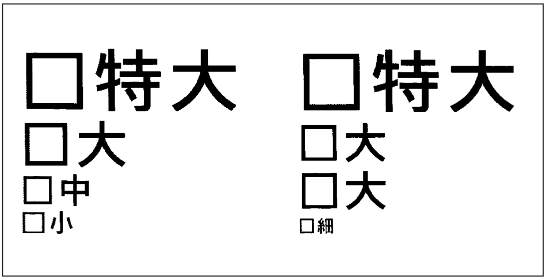




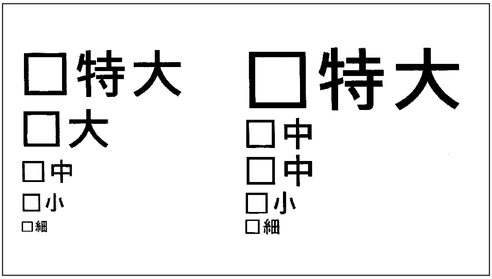
２行（18mm幅テープ）の印刷見本



３行（24mm幅テープ）の印刷見本



４行（36mm幅テープ）の印刷見本



５行（36mm幅テープ）の印刷見本

MEMO

- これらの例は、自由のび²の組み合わせのごく一部です。
- 各行の文字サイズは文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

前揃え（ご購入時の初期設定値）	行頭を揃えます。
中揃え	各行の中心を揃えます。
割付け	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割りつけます。
後揃え	行末を揃えます。

●外枠・表組み

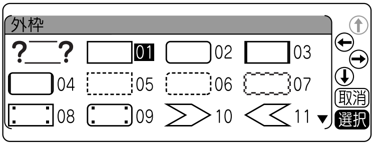
文章（段落）のまわりに外枠や表組みをつけます。

なし（ご購入時の初期設定値）

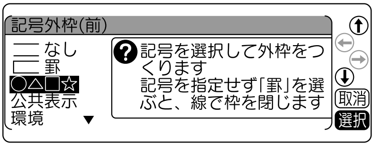
外枠・表組みをつけません。

外枠

文章（段落）のまわりに外枠をつけます。
表示されるピクトグラフで外枠の種類を確認できます。



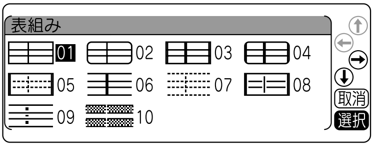
?＿?を選ぶと、外枠の左右に配置する記号を選択して外枠を作れます。
参照☞P.83「記号外枠を指定する」



備品名	RDS
管理番号	1103-U

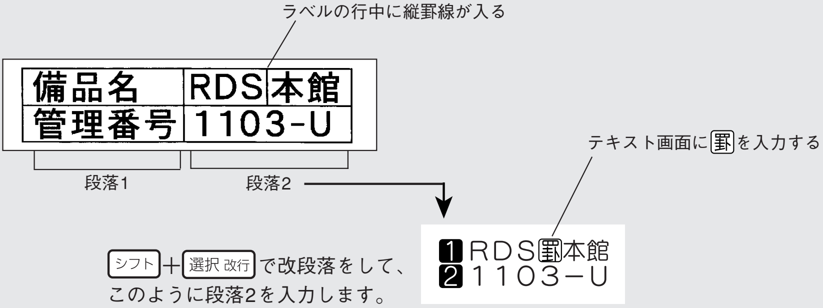
表組み

文章（段落）を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。
また、複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。
表示されるピクトグラフで表組の種類を確認できます。



MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、（記号）を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の罫を入力します。



参考

記号外枠を指定する

記号外枠とは、外枠の前後を記号の中から選んでオリジナルの外枠を作る機能です。

例：

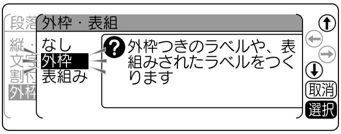
「記号外枠（前）」で選択した記号

「記号外枠（後）」で選択した記号

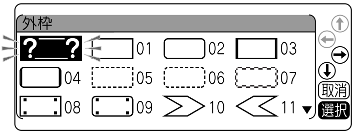
1 編集を押す

「編集」メニューが表示されます。

2 「外枠・表組」の「外枠」を選ぶ



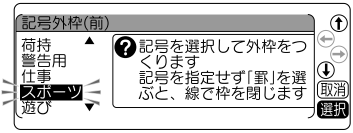
3 ?＿?を選び、選択を押す



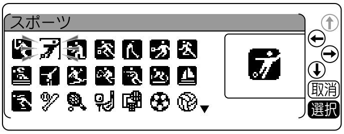
記号選択メニューが表示されるので、記号外枠の前部分を指定します。

4 外枠の前部分に配置する記号を選ぶ

例の場合は「スポーツ」の中から［記号］を選びます。



選択

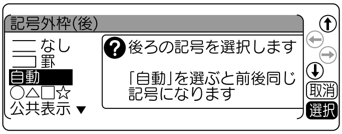


記号外枠の前部分が選択されます。続いて、後ろ部分を指定します。

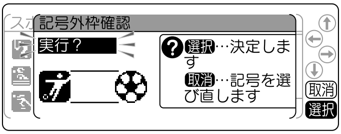
5 外枠の後ろ部分に配置する記号を選ぶ

例の場合は「スポーツ」の中から［記号］を選びます。

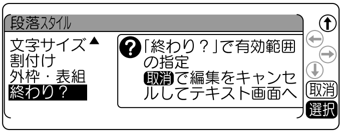
ここで「自動」を選ぶと、前部分と同じ記号が指定されます。



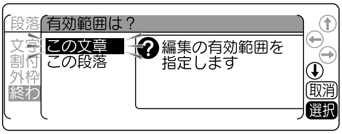
6 デザインを確認し、選択を押す



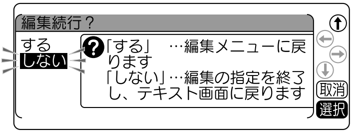
7 「終わり？」で選択を押し、「有効範囲」を指定します。



選択



8 「編集続行？」で「しない」を選択し、選択を押す



記号外枠が指定されます。

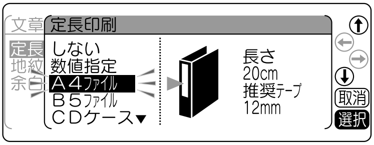
編集【段落スタイル】

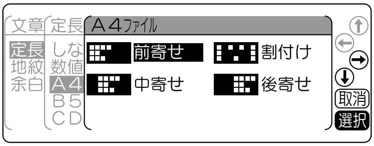
機能編

機能の説明（文章書式）

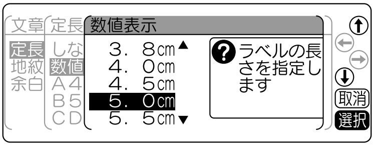
●定長印刷

印刷するラベルの長さを指定します。
長さを指定した後、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。





「数値指定」を選んだときは、ラベルの長さを指定してからラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。



用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をお奨めします。

用途	長さ	推奨テープ幅
A4ファイル	20cm	12mm
B5ファイル	15cm	12mm
CDケース	11cm	4mm
FD・MO	7.0cm	18mm、24mm、36mm
VHS	14cm	18mm
8mmビデオ	7.0cm	9mm
ミニDV	4.0cm	9mm
MD	5.5cm	4mm
音楽テープ	8.5cm	9mm

MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「入力した文章が長すぎます」が表示され、印刷できません。文字数を減らしたり、行の大小指定や文字の伸・縮の指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがりの長さと完全には一致しません。

参考

定長内に文字をおさめる「つめ^{2}」機能

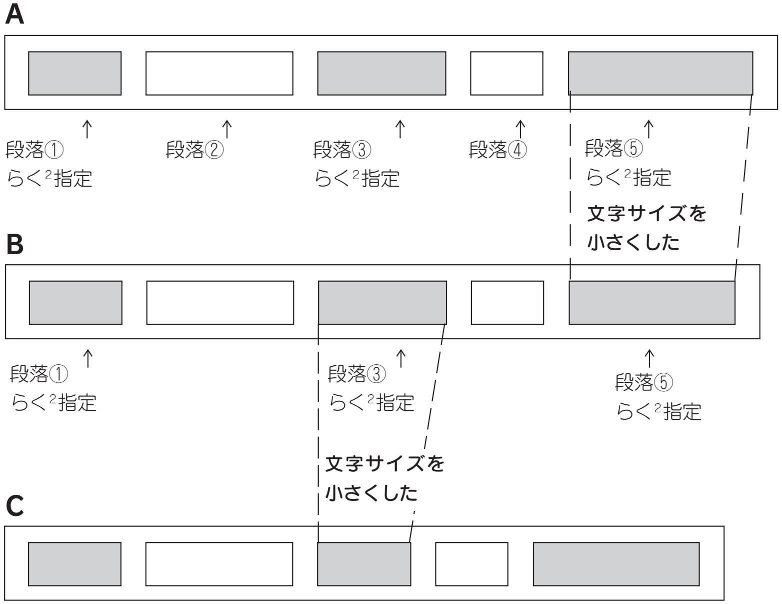
「文字サイズ」で「らく^{2}」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。この「らく^{2}」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。
そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまるよう文字サイズを自動的に計算し、「らく^{2}」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ^{2}」機能が働きます。

❶ 一番最後の段落の文字を小さくする（図A→B）

定長に入らない場合はまず、「らく^{2}」を指定した段落の中で一番最後の段落（⑤）の文字サイズを1段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

❷ 最後から2番目の段落の文字を小さくする（図B→C）

これでも定長内に入らない場合は、「らく^{2}」を指定した段落の中で最後から2番目の段落（③）の文字サイズを1段階小さくします。
定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。
この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定し直すか、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。



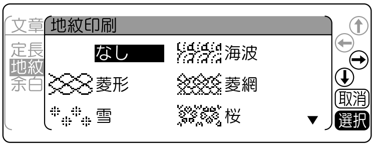
※段落②、④が「らく^{2}」を指定していない段落です。

!! 注意 !!

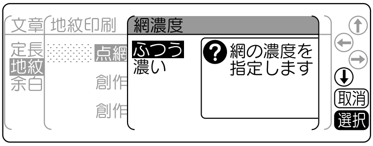
- 「らく^{2}」を指定していない段落は「つめ^{2}」機能は働きません。
- 「らく^{2}」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ^{2}」機能による処理はおこなわれません。

●地紋印刷

ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。



「点網」を選んだときは、さらに濃度指定ができます。



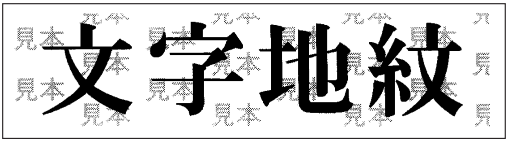
!! 注意 !!

網濃度で「濃い」を選ぶと、印刷結果にムラが生じることがあります。

文字地紋

好きな文字を入力し、地紋として印刷することができます。

参照 ☞P.87「文字地紋を使う」

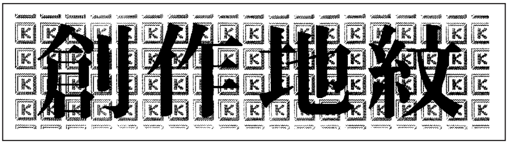


創作地紋

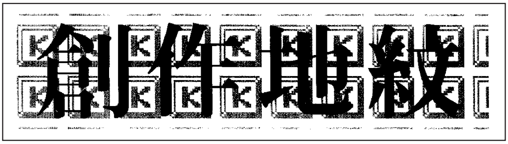
オリジナルの柄の地紋を作成します。

参照 ☞P.88「創作地紋を作る」

小柄



大柄



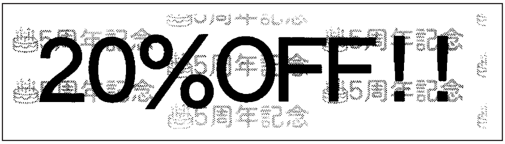
MEMO

- 文字地紋は「文字地紋」、創作地紋は「創作1」～「創作4」のエリアに登録できます。
- 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがありますが、印刷に影響はありません。
- 地紋印刷時、ハーフカットを有効にしていると、地紋の一部分に縦の濃いラインが入る場合があります。
- 文字地紋/創作地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面でそれぞれを消去していくか、本機の初期化をおこなってください。
  参照 ☞P.145「本機を初期化する」

文字地紋を使う

文字地紋を使えば、ラベルの下地にオリジナルの文字を印刷することができます。企業名を入れたラベルなども作れます。

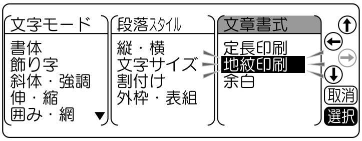
例 :「5 周年記念」の文字を地紋にして印刷する



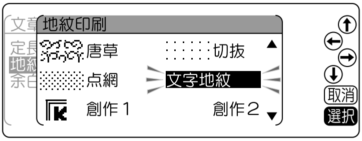
1 **(編集)を押す**

「編集」メニューが表示されます。

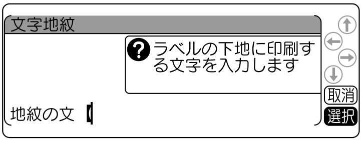
2 **「地紋印刷」を選び、(選択)を押す**



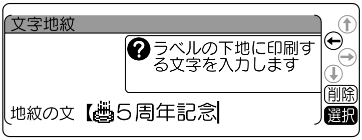
3 **「文字地紋」を選び、(選択)を押す**



「地紋の文」の入力画面になります。

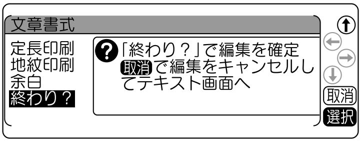


4 **地紋の文「5 周年記念」を入力し、(選択)を押す**



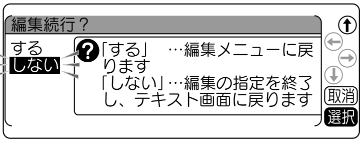
入力できる文字数は16文字までです。
文字だけでなく、記号、外字も入力できます。

5 **「終わり？」を選び、(選択)を押す**



地紋インジケーターが点灯します。

6 **「編集続行？」で「しない」を選び、(選択)を押す**



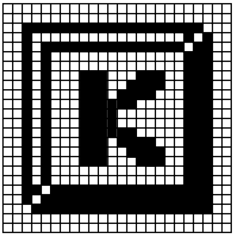
MEMO

- 文字地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面で消去するか、初期化をおこなってください。
参照 ☞P.145「本機を初期化する」
- 文字地紋に文字モードを指定するときは、(シフト)+(編集)で指定します。なお、文字モードの「囲み・網」の指定はできません。
- 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがありますが、印刷に影響はありません。

創作地紋を作る

24ドット×24ドットのオリジナルマークを登録し、地紋として使うことができます。登録できるマークは「創作1」～「創作4」の4個です。
会社のロゴマークなどを地紋として印刷すれば、本格的な管理用ラベルが作成できます。

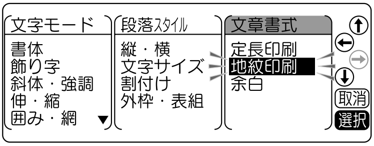
例：次のようなマークを「創作1」に登録する



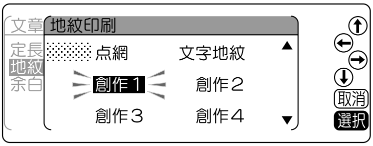
❶ 編集を押す

「編集」メニューが表示されます。

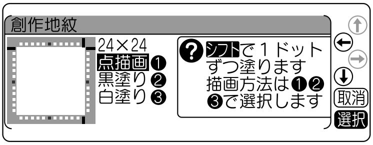
❷「地紋印刷」を選び、選択を押す



❸「創作1」を選び、選択を押す



創作地紋の描画画面になります。



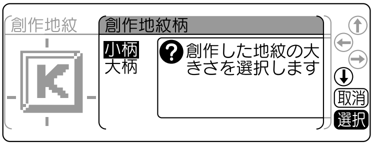
❹ 創作地紋を描画する

描画方法は、外字を作成する場合と同じです。← ↑ ↓ → で描画エリア内をカーソル移動し、シフトボタンで1ドットずつ塗りつぶします。

参照 P.126「画面表示と描画方法」

❺ 創作地紋の描画が終わったら 選択 を押す

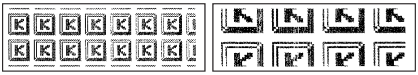
❻「小柄」または「大柄」を選び、選択 を押す



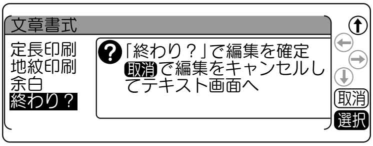
小柄と大柄のちがい

例を「小柄」と「大柄」で印刷すると以下のようになります。

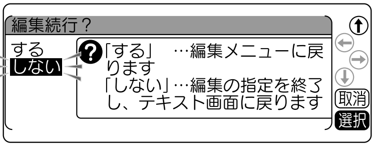
小柄　　　大柄



❼「終わり？」を選び、選択 を押す



❽「編集続行？」で「しない」を選び、選択 を押す



!! 注意 !!

- 全面が黒っぽいパターンの創作地紋は、印刷結果にムラが生じることがあります。
- 創作地紋では24ドットのデータを作成します。

●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少(余白：前後約1mm)

少なめ(余白：前後約3mm)

ふつう(余白：前後約10mm)

多め(余白：前後約18mm)

自動少なめ

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約1/3が前後の余白になります(12mm幅テープであれば余白は前後約4mm)。

自動多め

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります(12mm幅テープであれば余白は前後約12mm)。

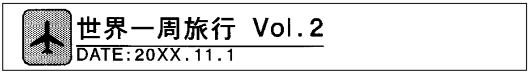
MEMO

ハーフカットを無効にしている場合は、長さ約20mm以下のラベルは印刷できません。ラベル長さが約20mm以上になるように定長や余白を設定してください(ハーフカットが有効の場合は、長さ8mm以上のラベルを印刷できます)。

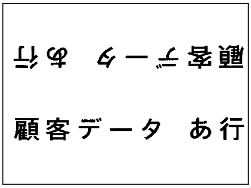
デザインされたラベルを呼び出す（フォーム）

本機には名前ラベルやビデオラベルなどデザインされたフォームが登録されています。また特殊フォームとして通常の編集指定では作ることのできない、特殊なデザインのラベルも用意されています。

例：「8mm ビデオ」のラベル
（デザインフォーム）



例：「見出し（横）」
長さ 3.2cm のラベル
（特殊フォーム）



ラベルの作りかた

フォームは以下のような流れで利用します。

❶ 使用するフォームを決める

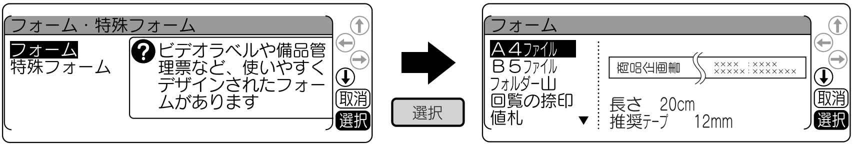
使いたいフォームを選んでください。

❷ シフトを押しながら、ファイル（＝フォーム・特殊フォーム）を押す

「フォーム・特殊フォーム」メニューが表示されます。

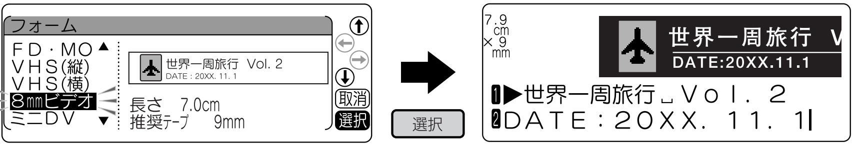
❸「フォーム」または「特殊フォーム」を選ぶ

↑↓で目的のフォームが含まれる項目（「フォーム」または「特殊フォーム」）を選び、選択を押してください。
それぞれのメニューが選択され、選択肢を指定する画面になります。



❹ 使用するフォームを指定する

↑↓で目的のフォーム名を選び、選択を押してください。
特殊フォームの見出し（縦）、見出し（横）、ケーブル用の場合は、ここでラベル長さを選択します。



MEMO

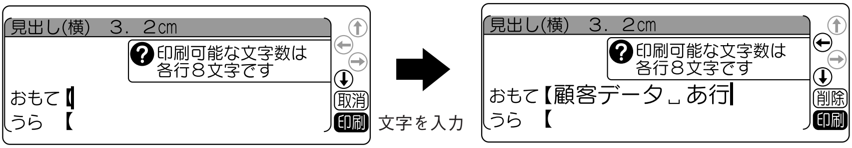
操作を途中でやめるときは（削除）または（ファイル）を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

❺ 文字を入力する

フォームの場合は、テキスト画面にデザインされたフォームの内容が表示されます。次のようにはじめから入力されていますので、文字や記号を削除して内容を変更します。

例：
1 ▶✈
1 ▶世界一周旅行␣Vol.2
2 ＤＡＴＥ：20XX.11.1

特殊フォームの場合は、入力画面になります。入力ガイドの後ろ（右側）にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



複数行の特殊フォームのときは、［↓］を押すと次の行にカーソルが移ります。
見出し（縦）と見出し（横）では、「おもて」の行で［選択］を押すと、「おもて」の行に入力した内容が「うら」の行に自動的にコピーされます。

MEMO

- 特殊フォームでの入力を途中でやめるときは（削除）または（ファイル）を押して1つ前の状態に戻ります。
- 現在の編集の指定内容は、インジケーターで確認できます。
- デザインフォームで指定されている編集指定は変更できますが、特殊フォームで指定できる機能には制限があります。
  参照☞P.98「特殊フォーム」

❻ 印刷する

参照☞P.45「6.印刷する」

MEMO

特殊フォームの印刷をした後は、通常のテキスト画面に戻ります。このときのテキスト画面には、特殊フォームを使用する前の文章が残っています。

フォーム・特殊フォームメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
フォーム・特殊フォーム		
フォーム ▶	**A4ファイル**	
	B5ファイル	
	フォルダー山	
	回覧の捺印	
	値札	
	備品管理票	
	CDケース	
	FD・MO	
	VHS（縦）	
	VHS（横）	
	8mmビデオ	
	ミニDV	
	MD	
	音楽テープ	
	DAT	
	ケーブル（細）	
	ケーブル（太）	
	注意！	
	禁止！	
	メッセージ	
	誕生祝い	
	住所＆氏名	
	なまえ（縦）	
	なまえ（横）	
	学校持ち物	
	お祝い	
	銘板	
特殊フォーム ▶	**見出し（縦）** ▶	（見出し（縦）、見出し（横）のみ）
	見出し（横）	見出し（縦/横）長さ
	縦型よこ書	1.8cm
	横型たて書	**3.2cm**
		6.0cm
		8.0cm
		11.0cm
	ケーブル用 ▶	（ケーブル用のみ）
		ケーブル用
		2.6cm
		5.0cm

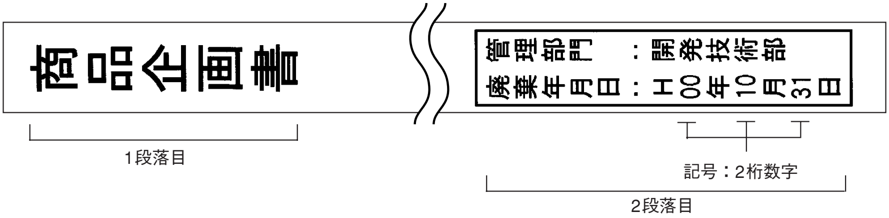
フォーム
あらかじめ作られたフォームに文字や記号を入力するだけで、いろいろなデザインのラベルを簡単に作ることができます。
参照 ☞P.90、93

特殊フォーム
通常のテキスト画面からでは作ることのできない特殊なデザインのラベルを作ることができます。
参照 ☞P.90、98

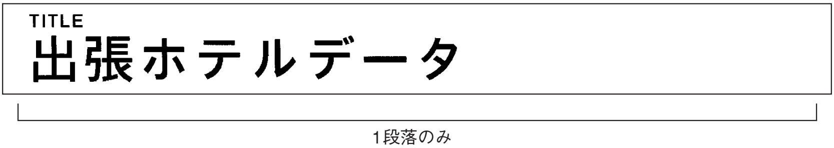
フォーム見本

デザインフォーム

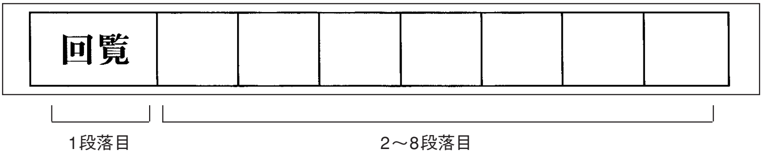
■**A4ファイル/B5ファイル**..... A4判/B5判ファイルの背見出しラベルとして最適です。（推奨テープ幅：12mm）



■**フォルダー山**... フォルダーの山の部分に最適です。（推奨テープ幅：12mm）



■**回覧の捺印**...... 回覧文書に最適です。（推奨テープ幅：12～36mm）

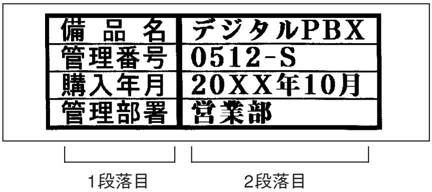


MEMO

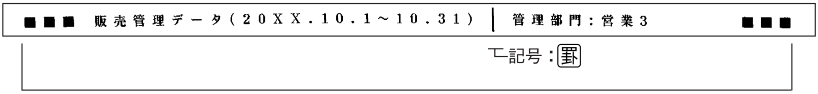
段落を増やすと捺印の枠が増えます。

■**値札**............... 値札に最適です。（推奨テープ幅：18～36mm）

■**備品管理票**...... 備品管理の表示に最適です。（推奨テープ幅：18～36mm）



■**CDケース** ...... CDケースの背ラベルに最適です。（推奨テープ幅：4mm）

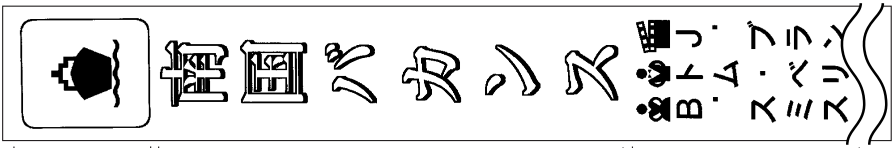


1段落のみ

■**FD・MO** .... FDやMOのラベルに最適です。（推奨テープ幅：18～24mm）

1段落目　2段落目

■**VHS（縦）** .... VHSビデオテープのたて書きラベルに最適です。（推奨テープ幅：18mm）

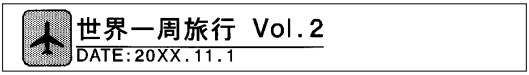


1段落目　2段落目　3段落目

■**VHS（横）** .... VHSビデオテープのよこ書きラベルに最適です。（推奨テープ幅：18mm）

1段落目　2段落目

■**8mmビデオ** .... 8mmビデオのラベルに最適です。（推奨テープ幅：9mm）



1段落目　2段落目

シフト+ファイル

機能編

■ミニDV .... ミニDV（デジタルビデオ）のラベルに最適です。（推奨テープ幅：36mm）

1段落のみ

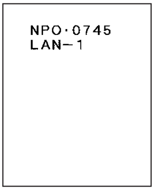
■MD .... MDのタイトルラベルに最適です。（推奨テープ幅：4mm）

1段落のみ

■音楽テープ/DAT .... 音楽テープやDATのタイトルラベルに最適です。MDのケースに貼ってください。（推奨テープ幅：9mm）

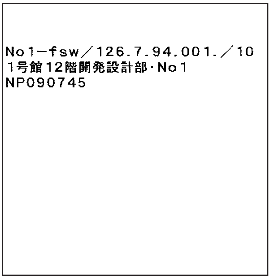
1段落のみ

■ケーブル（細）................ 24mm幅ケーブル表示ラベル用のフォームです。（推奨テープ幅：24mm）



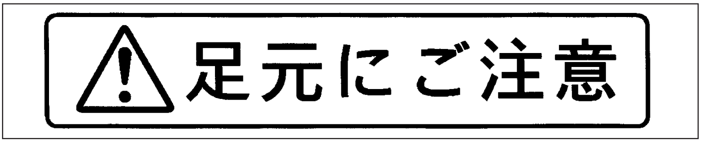
1段落のみ

■ケーブル（太）................ 36mm幅ケーブル表示ラベル用のフォームです。（推奨テープ幅：36mm）



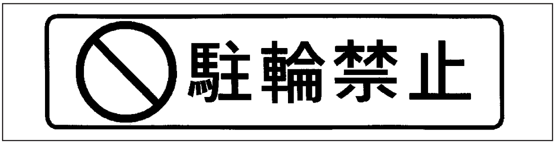
1段落のみ

■**注意！** .... 注意喚起表示、警告表示に最適です。（推奨テープ幅：9～36mm）



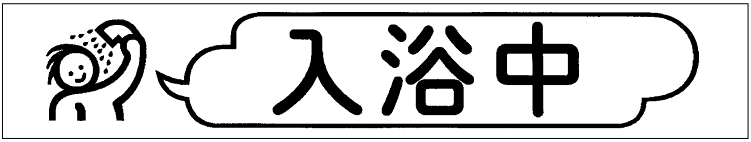
1段落目　2段落目

■**禁止！** .... 禁止表示に最適です。（推奨テープ幅：9～36mm）



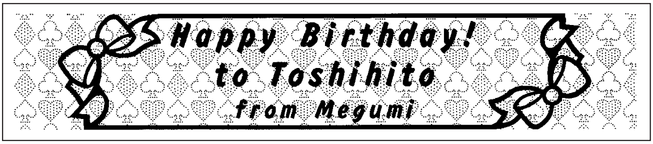
1段落目　2段落目

■**メッセージ** ...... インパクトのあるメッセージに最適です。（推奨テープ幅：9～36mm）



1段落目　2段落目

■**誕生祝い** .... 誕生祝いの表示に最適です。（推奨テープ幅：9～36mm）



1段落のみ

■**住所＆氏名** ...... 住所、氏名の表示に最適です。（推奨テープ幅：12～36mm）

1段落目　2段落目

シフト + ファイル

機能編

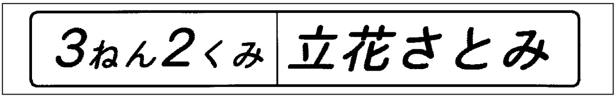
■**なまえ（縦）**...... 名札や表札に最適です。（推奨テープ幅：6～36㎜）

1段落目　2段落目

■**なまえ（横）**...... 名札や表札に最適です。（推奨テープ幅：6～36㎜）

1段落目　2段落目

■**学校持ち物**...... 持ち物表示に最適です。（推奨テープ幅：4～36㎜）



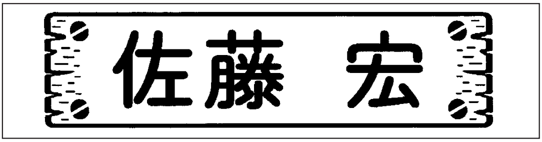
記号：罫

1段落目　2段落目　3段落目

■**お祝い**............ お祝いのラベルに最適です。（推奨テープ幅：9～36㎜）

1段落のみ

■**銘板**............... 名札や表札に最適です。（推奨テープ幅：4～36㎜）



1段落のみ

特殊フォーム

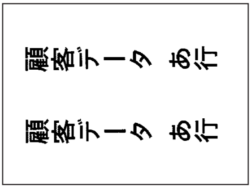
MEMO

特殊フォームでも［シフト］を押しながら（削除取消）（＝消去）を押すと、入力した内容の全文消去ができます。

!! 注意 !!

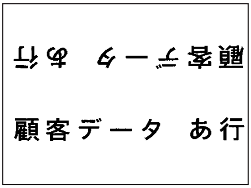
- 入力内容にある「おもて」「うら」や「1行目」「2行目」は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- 特殊フォームで作成した文章は、ファイルに登録できません。

■見出し（縦）… たて書きのインデックスに最適です。



24mm幅テープ（長さ3.2cm）の印刷見本

■見出し（横）… よこ書きのインデックスに最適です。



24mm幅テープ（長さ3.2cm）の印刷見本

入力内容

おもて［顧客データ␣あ行
うら［顧客データ␣あ行

（編集）ボタンで指定可能な機能		文字モードのすべての機能	
入力条件	入力可能な行数	2行	
	入力可能な文字数	各行27文字	
印刷可能な文字数		長さ1.8cm	各行4文字
		長さ3.2cm	各行8文字
		長さ6.0cm	各行17文字
		長さ8.0cm	各行23文字
		長さ11cm	各行27文字

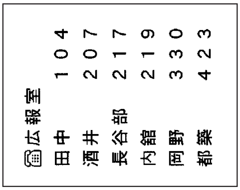
!! 注意 !!

- 「編集」メニューには文字モードのみ表示されます。
- 印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も印刷可能な文字数は変わります。ただし、入力可能な文字数は27文字までです。
- 文字間で「密着」を選ぶと「中寄せ」の状態で印刷されます。
- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「入力した文章が長すぎます」が表示されます。［選択］以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま［選択］を押すと、定長を解除して印刷します。
- 4mm幅、6mm幅のテープには印刷できません。

MEMO

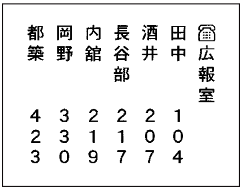
「おもて」の行で［選択］を押すと、「おもて」の行に入力した内容が「うら」の行に自動的にコピーされます。

■縦型よこ書き … 内線表などの縦型表示に最適です。



24mm幅テープの印刷見本

■横型たて書き … メニューなどの横型表示に最適です。



24mm幅テープの印刷見本

入力内容

1行目［☎広報室
2行目［田中␣␣104
3行目［酒井␣␣207
4行目［長谷部␣217
5行目［内舘␣␣219
6行目［岡野␣␣330
7行目［都築␣␣423

(編集)ボタンで指定可能な機能		文字モードの「書体」のみ
入力条件	入力可能な行数	32行
	入力可能な文字数	各行13文字
印刷可能な文字数		テープ幅による（下表参照）

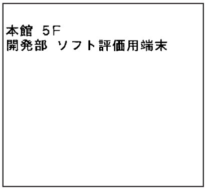
MEMO

- 「編集」メニューには文字モードの「書体」のみ表示されます。
- 各行の文字数が印刷時の行数になるので、印刷可能な文字数はテープ幅によって制限されます。

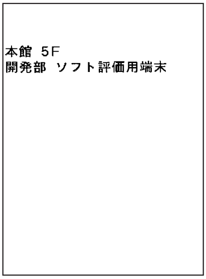
テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24＊mm	36mm
印刷可能な文字数	1文字	2文字	3文字	5文字	7文字	10文字	13文字

24mm幅テープは2種類あります。品番末尾に「＊」のついた24＊mm幅テープは10行まで印刷できます。品番末尾に「＊」がつかない24mm幅テープは7行まで印刷できます。

■ケーブル用 …… ケーブル表示ラベル用の特殊フォームです。24mm幅、36mm幅テープに対応しています。



24mm幅テープ
（長さ2.6cm）2行
の印刷見本



36mm幅テープ
（長さ2.6cm）2行
の印刷見本

入力内容

1行目［本館␣5F
2行目［開発部␣ソフト評価用端末

(編集)ボタンで指定可能な機能		文字モードのすべての機能	
入力条件	入力可能な行数	3行	
	入力可能な文字数	各行26文字	
印刷条件	印刷可能な行数	2行（24mm幅テープ時）	
		3行（36mm幅テープ時）	
	印刷可能な文字数	長さ2.6cm	各行13文字
		長さ5.0cm	各行26文字

!! 注意 !!

印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また、英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も、印刷可能な文字数が変わります。ただし、入力可能な文字数は26文字までです。

MEMO

- 「編集」メニューには文字モードのみ表示されます。
- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは「入力した文章が長すぎます」が表示されます。[選択]以外のボタンを押して印刷を中止し、文字数を減らすか、「伸・縮」で文字を小さくしてください。そのまま[選択]を押すと、定長を解除して印刷します。

参考

「ケーブル用」には、ケーブル表示ラベル

印刷部分を汚れなどから保護する「セルフラミネート」タイプ。
白エリアに印刷し、透明エリアを巻きつけることによりラミネートできます。
SV24K: 24mm幅（ケーブル径　φ2.1mm～φ5.4mm用）
SV36K: 36mm幅（ケーブル径　φ2.8mm～φ7.6mm用）

「見出し（縦/横）」には、インデックスラベル

キングファイルのインデックス表示に最適。
ミシン目入りラベルなので、折りやすくキレイに貼れます。
STY24KM : インデックス山に貼り付けるタイプです（24mm幅　透明つや消し）。
SSY24K　: 書類などに直接貼り付けるタイプです（24mm幅　白）。

シフト + ファイル

機能編

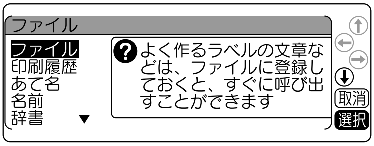
◉文章を呼び出す・登録する

本機の（ファイル）ボタンでは、作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録できます。また、印刷履歴の呼び出しもできます。

（ファイル）ボタンを使う

作成した文章やあて名などのデータを登録するには、（ファイル）ボタンを押して表示されるメニューから機能を選択します。

ファイルメニュー画面



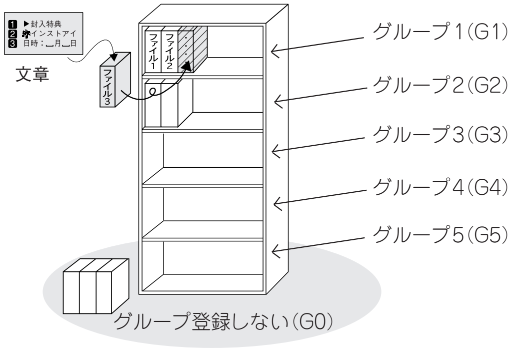
ファイルボタンのメニュー一覧（ 太字 は購入時の初期設定値です。）

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル ▶	**登録**	作成した文章にファイル名をつけて保存します	P.103
	呼出	登録した文章を呼び出します	P.104
	消去	登録した文章を消去します	P.105
	複写	登録した文章を別のファイルに複写します	P.106
	印刷	5つまでのファイルを続けて印刷します	P.108
	グループ名修正	ファイルのグループ名を修正します	P.107
印刷履歴 ▶	**呼出**	最近印刷した文章を呼び出します	P.109
	消去	印刷履歴を消去します	P.109
あて名 ▶	**登録**	あて名を登録します	P.112
	修正	登録したあて名を修正します	P.113
	消去	登録したあて名を消去します	P.114
	複写	登録したあて名を複写します	P.113
	印刷	登録したあて名ラベルを印刷します	P.115
	グループ名修正	あて名のグループ名を修正します	P.116
名前 ▶	**登録**	名前とふりがなを登録します	P.119
	修正	登録した名前を修正します	P.120
	消去	登録した名前を消去します	P.120
	印刷	登録した名前ラベルを印刷します	P.120
	グループ名修正	名前のグループ名を修正します	P.120
辞書 ▶	**登録**	語句に読みをつけて辞書登録します	P.122
	修正	登録した辞書を修正します	P.123
	消去	登録した辞書を消去します	P.124
外字 ▶	**新規作成**	新規に外字を作成し、登録します	P.127
	参照作成	文字や記号を参照して外字を作成し、登録します	P.130
	修正	登録した外字を修正します	P.128
	呼出	登録した外字を文章中に呼び出します	P.128
	消去	登録した外字を消去します	P.129
	複写	登録した外字を複写します	P.129

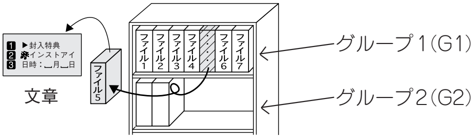
ファイルとは

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。
ファイルには、文章のほかに編集機能の指定内容などラベルの状態がそのまま登録されます。
ファイルは、5つのグループ(G1～G5)に分類して登録できます。
それぞれグループ名を変更できるので、仕事用、プライベート用などファイルを分類して整理できます。
なお、グループに分類したくないファイルは「G0：グループ登録しない」も選べます。

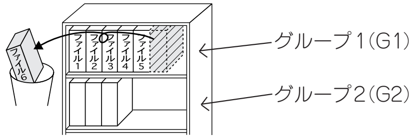
登録…文章を保存します。グループごとに分類できます。



呼出…ファイルを画面上に呼び出します。



消去…ファイルを削除します。



MEMO

ファイル機能には、このほか、登録した文章を別のファイルに複写する「複写」、5つまでのファイルを続けて印刷できる「印刷」、ファイルのグループ名を修正する「グループ名修正」機能があります。

!! 注意 !!

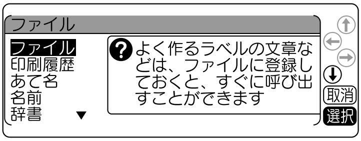
大切なファイルやあて名、名前、外字のデータは、ファイル転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」を利用し、パソコンにバックアップすることをお奨めします。

ファイルを登録する

ファイルに文章を登録します。ファイルはファイル番号00～99(100件)の中から番号を選んで登録します。

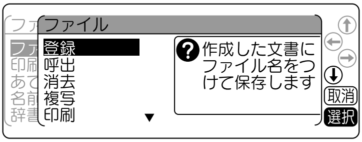
❶ ファイル を押す

❷ 「ファイル」を選び、選択 を押す



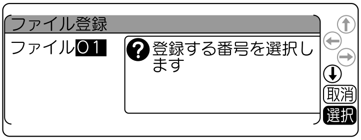
「ファイル」メニューが表示されます。

❸ 「登録」を選び、選択 を押す

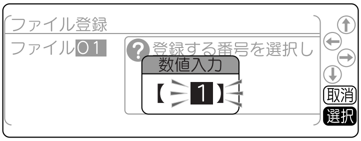


ファイル登録画面が表示されます。

❹ ↑ ↓ または わ/を 0 ～ よ 9 で登録するファイル番号を選び、選択 を押す

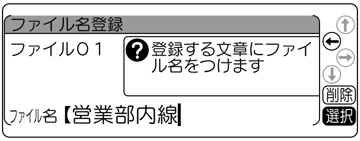


数字入力した場合



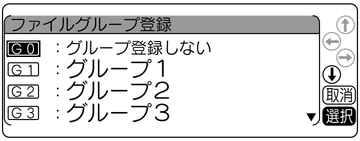
❺ ファイル名を入力し、選択 を押す

ファイル名は15文字まで自由につけられます。入力しなくても登録できます。



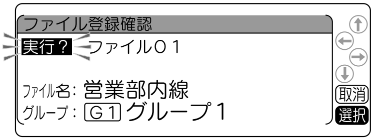
❻ 登録するグループを選び、選択 を押す

グループ登録しない場合は G 0 を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

❼ 内容を確認し、選択 を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

!! 注意 !!

「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。

MEMO

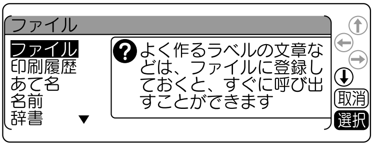
- 操作を途中でやめるときは 削除/取消 または ファイル を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル、あて名、名前データを消去してください。
- 本機には、約10,000文字(最大で100個のファイル)を登録することができますが、たくさんのあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
- ファイルに登録できるのは、テキスト画面で作成した文章のみです。

ファイルを呼び出す

ファイルに登録した文章をテキスト画面に呼び出します。「上書き呼出」と「連結呼出」の２つの呼び出しかたがあります。「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面の文章は全部消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。
「連結呼出」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

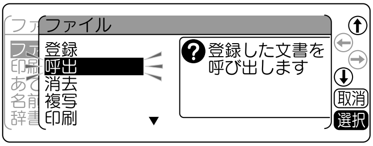
❶ ファイル を押す

❷「ファイル」を選び、選択 を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

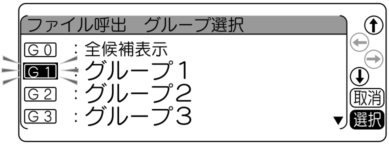
❸「呼出」を選び、選択 を押す



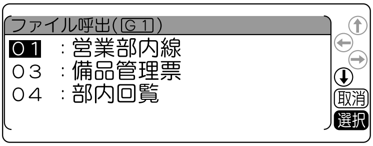
ファイル呼出グループ選択画面が表示されます。

❹ 呼び出したいファイルが登録されているグループを選び、選択 を押す

グループがわからないときは G 0 を選びます。



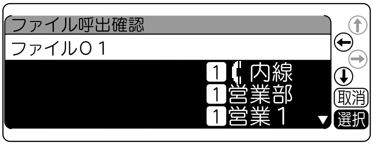
❺ ↑ ↓ または 0 ～ 9 で呼び出したいファイルを選び、選択 を押す



呼び出す内容の確認画面になります。

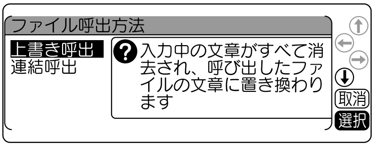
❻ 内容を確認し、選択 を押す

← ↑ ↓ → で文章を確認することができます。



呼出方法を選択する画面になります。

❼「上書き呼出」「連結呼出」のいずれかを選び、選択 を押す



ファイルの文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

!! 注意 !!

- 「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は消え、復活 を押しても復活させることはできません。「上書き呼出」を選ぶ前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 「連結呼出」で呼び出す場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーしても警告せず、そのまま呼び出します。オーバーした部分は自動的に文末から削除されます。

MEMO

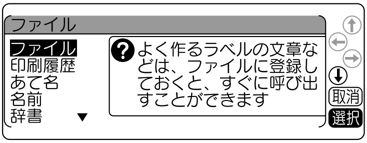
操作を途中でやめるときは 削除取消 または ファイル を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

ファイルを消去する

ファイルは、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

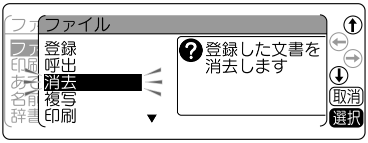
1 **ファイルを押す**

2 **「ファイル」を選び、選択を押す**



「ファイル」メニューが表示されます。

3 **「消去」を選び、選択を押す**



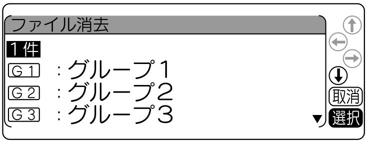
ファイル消去画面が表示されます。

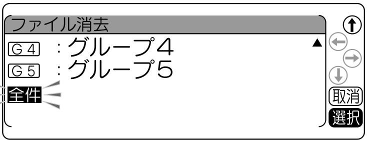
4 **消去する範囲を選び、選択を押す**

1件　:1ファイルのみ消去します。

G 1～G 5　:選択したグループ内のすべてのファイルを消去します。

全件　:すべてのファイルを消去します。

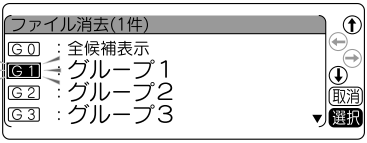




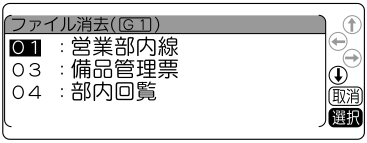
グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります(手順**7**)。
1件の場合は次の手順でファイルを選びます。

5 **消去したいファイルが登録されているグループを選び、選択を押す**

グループがわからないときはG 0を選びます。



6 **↑ ↓ またはわを0～よ9で消去したいファイルを選び、選択を押す**

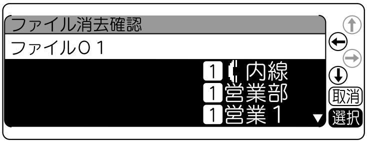


消去する内容の確認画面になります。

7 **内容を確認し、選択を押す**

ファイル1件消去の場合はラベルの内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているファイルのファイル名が表示されます。

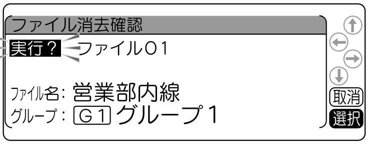
1件消去の場合



グループ消去の場合

8 **内容を確認し、選択を押す**

1件消去の場合はファイルの情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。



ファイルが消去され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 消去したファイルは、復活を押しても復活させることはできません。
- 操作を途中でやめるときは削除取消またはファイルを押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことで、テキスト画面に戻ります。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

ファイルを複写する

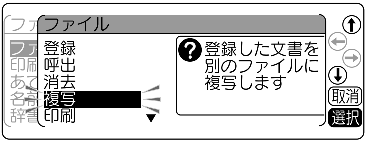
登録したファイルを別の番号のファイルへ複写します。

❶ ファイル を押す

❷「ファイル」を選び、選択 を押す

「ファイル」メニューが表示されます。

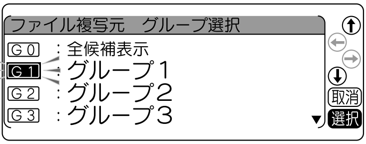
❸「複写」を選び、選択 を押す



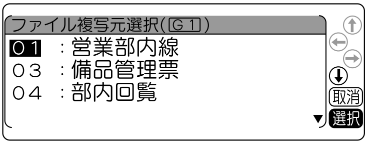
ファイル複写画面が表示されます。

❹ 複写元のファイルが登録されているグループを選び、選択 を押す

グループがわからないときは G 0 を選びます。

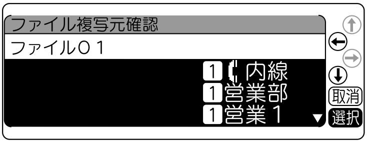


❺ ↑ ↓ または わを0 ～ よ9 で複写元のファイルを選び、選択 を押す



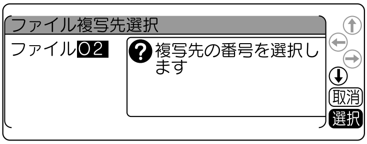
複写する内容の確認画面になります。

❻ 内容を確認し、選択 を押す



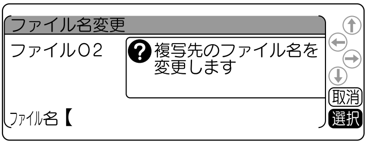
ファイル複写先選択画面が表示されます。

❼ ↑ ↓ または わを0 ～ よ9 で複写先のファイル番号を選び、選択 を押す



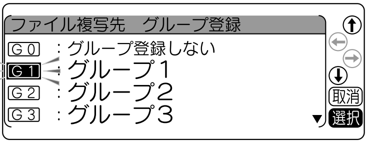
❽ ファイル名を入力し、選択 を押す

ファイル名は15文字まで自由につけられます。
入力しなくても登録できます。



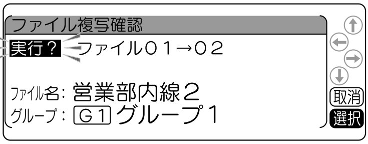
❾ 登録するグループを選び、選択 を押す

グループ登録しない場合は G 0 を選びます。



複写する内容の確認画面になります。

❿ 内容を確認し、選択 を押す



「実行中」と表示された後、テキスト画面に戻ります。

MEMO

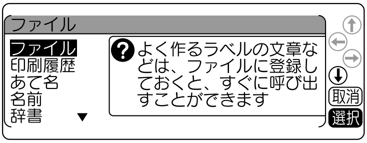
- 操作を途中でやめるときは 削除取消 または ファイル を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- ファイル複写をおこなっても、複写元のファイルは残ります。

グループの名前を変える

ファイルを登録するグループ名を変更できます。
あて名や名前データのグループも同様の操作で変更できます。

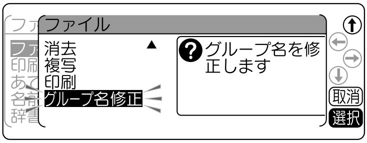
❶ ファイル を押す

❷ 「ファイル」を選び、選択 を押す



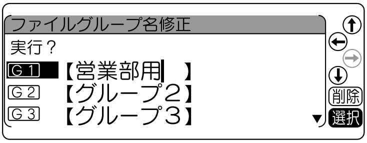
「ファイル」メニューが表示されます。

❸ 「グループ名修正」を選び、選択 を押す



グループ名修正画面が表示されます。

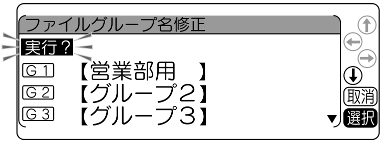
❹ ↑ ↓ で名前を変えたいグループを選び、グループ名を変更する



❺ 選択 を押す

「実行？」が選択されます。

❻ 内容を確認し、選択 を押す



「実行中」と表示された後、グループ名が変更されます。

MEMO

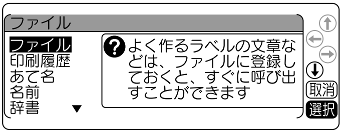
- 操作を途中でやめるときは 削除取消 または ファイル を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- あて名や名前のグループ名を変えるときは、手順❷で「あて名」または「名前」を選んでください。
- グループ名を消去して登録すると、グループ名は空欄になります。
- 手順❹で シフト を押しながら 削除取消（＝消去）を押すと、全文消去となり、すべてのグループ名が消去されます。

ファイルをまとめて印刷する

ファイル番号を指定するだけでファイルをテキスト画面に呼び出さずに印刷できます。一度に5つのファイルまで指定できます。

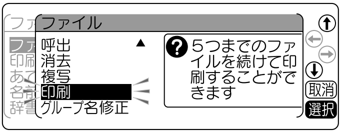
❶ （ファイル）を押す

❷「ファイル」を選び、選択 を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

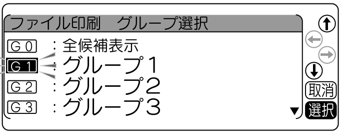
❸「印刷」を選び、選択 を押す



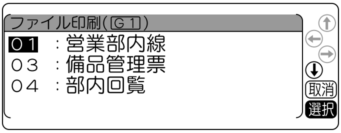
ファイル印刷画面が表示されます。

❹ 印刷したいファイルが登録されているグループを選び、選択 を押す

グループがわからないときはG 0を選びます。

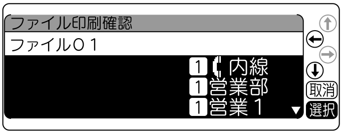


❺ ↑ ↓ または 0 ～ 9 で印刷したいファイルを選び、選択 を押す



印刷する内容の確認画面になります。

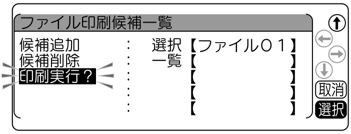
❻ 内容を確認し、選択 を押す



印刷するファイル候補の一覧画面になります。

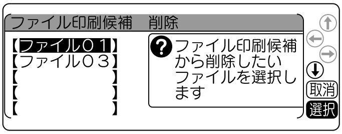
❼「印刷実行？」を選び、選択 を押す

印刷が開始されます。



印刷するファイルを追加するときは、「候補追加」を選び、選択 を押して手順❹からの操作を繰り返します。

印刷するファイルを取り消すときは、「候補削除」を選び、選択 を押します。印刷するファイルの候補から削除するファイルを選び、選択 を押します。



内容を確認し、選択 を押すと「実行中」と表示された後、印刷するファイル候補の一覧画面に戻ります。

!! 注意 !!

- セットされているテープカートリッジのテープ幅がファイルに含まれる文章の行数を印刷できない場合、そのファイルの印刷はおこなわれません。
- 指定したファイル印刷の全長が16mを超える場合は印刷できません。印刷候補を減らしてください。

MEMO

- 印刷するとき、各ファイルはテキスト画面に呼び出されません。
- 操作を途中でやめるときは（削除取消）または（ファイル）を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 「候補削除」をおこなっても、ファイルそのものは削除されません。

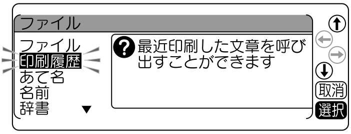
最近印刷した文章を呼び出す

印刷履歴を呼び出す

本機は、最近印刷した文章を最大5つまで記憶しており、簡単な操作で呼び出すことができます。
ファイル登録をし忘れた場合などに便利です。

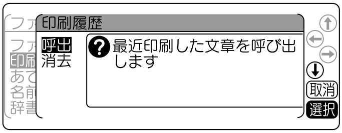
1 **[ファイル]を押す**

2 **「印刷履歴」を選び、[選択]を押す**



「印刷履歴」メニューが表示されます。

3 **「呼出」を選び、[選択]を押す**

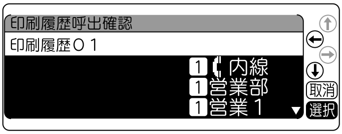


最近印刷した文章(第1段落の1行目のみ)が5つ表示されます。

4 **呼び出したい文章を選び、[選択]を押す**

呼び出す内容の確認画面になります。

5 **内容を確認し、[選択]を押す**



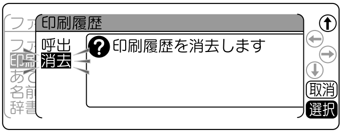
「実行中」と表示された後、文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

印刷履歴を消去する

1 **[ファイル]を押す**

2 **「印刷履歴」を選び、[選択]を押す**

3 **「消去」を選び、[選択]を押す**

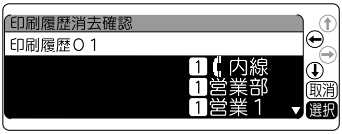


最近印刷した文章が5つ表示されます。

4 **消去する文章を選び、[選択]を押す**

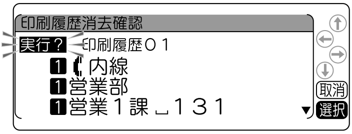
消去する内容の確認画面になります。

5 **内容を確認し、[選択]を押す**



6 **内容を確認し、[選択]を押す**

「実行中」と表示された後、文章が印刷履歴から消去されます。



!! 注意 !!

- 印刷履歴を呼び出すと、テキスト画面で作成していた文章は消え、(復活)を押しても復活させることはできません。呼び出す前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 最近印刷した5つの文章を保存するため、古いものから自動的に書き換えられていきます。
- 印刷履歴の対象となるのは、通常印刷のみで、特殊印刷や特殊フォーム印刷などは保存されません。
- 文字数の多い文章の場合、記憶している文章の件数が5件にならないことがあります。

MEMO

操作を途中でやめるときは(削除 取消)または(ファイル)を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

名前や語句を登録する(あて名/名前/辞書)

あて名ラベルを作る

あて名データとして郵便番号や住所･名前などを登録しておくと、あて名ラベルをまとめて印刷することができます。

■登録できる項目とあて名ラベル

101−0031
東京都千代田区東神田二丁目10番18号
株式会社キングジム 開発部
山岸 正樹 様

項目	入力内容	入力可能文字
〒番号(郵便番号)	[101-0031	8文字
住所1	[東京都千代田区東神田二丁目10番18号	20文字
住所2	[	20文字
会社	[株式会社キングジム	20文字
部署	[開発部	20文字
氏名	[山岸␣正樹	20文字
〒(カスタマバーコード)	[10100312-10-18	20文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照 P.117「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約10,000文字(最大100件のあて名)です。

!! 注意 !!

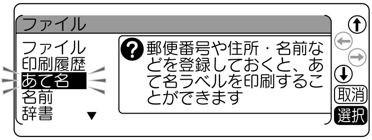
- あて名ラベルは品番末尾に「＊」のついた24 mm幅テープと36mm幅テープに対応しています。
- 郵便番号に入力した先頭の5桁に対応する都道府県名と区町村名を、「住所1」に自動的に入力することができます。郵便番号変換は、2003年8月時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい住所、所在地が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

あて名を登録する

あて名データを登録します。あて名はあて名番号00～99(100件)の中から番号を選んで登録します。

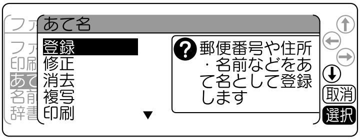
❶ ファイル を押す

❷ 「あて名」を選び、選択 を押す



「あて名」メニューが表示されます。

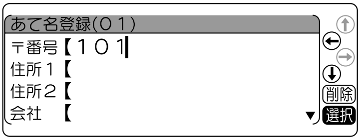
❸ 「登録」を選び、選択 を押す



あて名登録画面が表示されます。

❹ ↑ ↓ または わ0 ～ よ9 で登録するあて名番号を選び、選択 を押す

❺ 数字ボタンで郵便番号を入力する



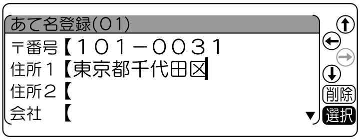
4桁目を入力すると、自動的にハイフン(－)が挿入されます。

❻ 変換 スペース を押す

郵便番号に対応する都道府県名と区町村名の候補が表示されます。

❼ 地名が正しいときは、選択 を押す

地名が違うときは、← ↑ ↓ → で適切な地名を選びます。

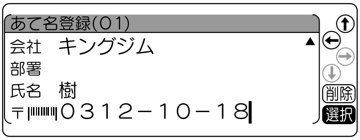


❽ 住所1を入力し、選択 を押す

❾ 住所2、会社名、部署名、氏名を入力し、選択 を押す

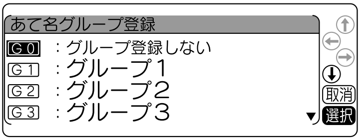
❿ 必要に応じてカスタマバーコードを入力し、選択 を押す

参照 P.117「カスタマバーコードについて」



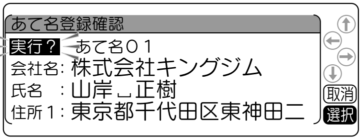
⓫ 登録するグループを選び、選択 を押す

グループ登録しない場合は、Ｇ０を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

⓬ 内容を確認し、選択 を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

!! 注意 !!

「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。あて名の内容がこわれる可能性があります。

MEMO

- 未入力の項目があっても登録できます。
- 操作を途中でやめるときは 削除取消 または ファイル を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- たくさんの文章をファイルしていたり、名前を登録していると、登録できるあて名の件数が少なくなります。

あて名を修正する

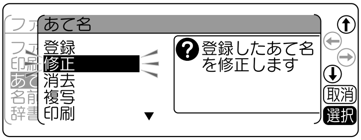
登録したあて名を修正します。

❶ ファイル を押す

❷「あて名」を選び、選択 を押す

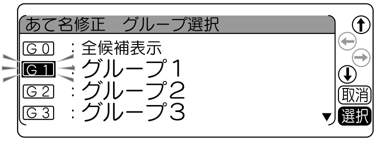
「あて名」メニューが表示されます。

❸「修正」を選び、選択 を押す

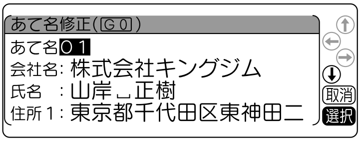


❹ 修正したいあて名が登録されているグループを選び、選択 を押す

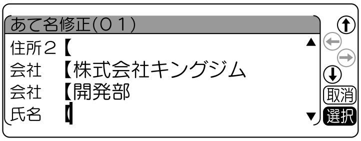
グループがわからないときは G 0 を選びます。



❺ ↑ ↓ または 0 〜 9 で修正したいあて名を選び、選択 を押す



❻ 内容を修正し、選択 を押す



以降は、P.112 登録操作(手順⓫以降)と同様にグループを選び登録します。

MEMO

操作を途中でやめるときは 削除/取消 または ファイル を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

あて名を複写する

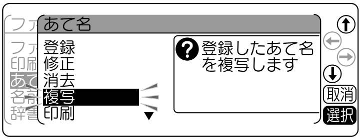
登録したあて名を別の番号のあて名へ複写します。

❶ ファイル を押す

❷「あて名」を選び、選択 を押す

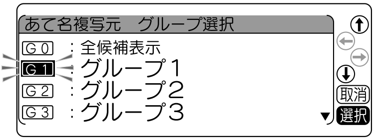
「あて名」メニューが表示されます。

❸「複写」を選び、選択 を押す

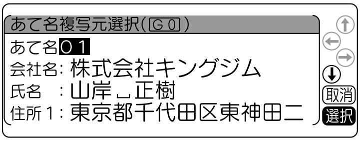


❹ 複写元のあて名が登録されているグループを選び、 選択 を押す、選択 を押す

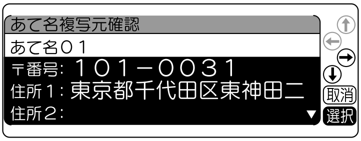
グループがわからないときは G 0 を選びます。



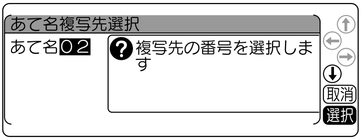
❺ ↑ ↓ または 0 〜 9 で複写元のあて名を選び、選択 を押す



❻ 内容を確認し、選択 を押す



❼ ↑ ↓ または 0 〜 9 で複写先のあて名番号を選び、選択 を押す



以降は、P.112 登録操作(手順⓫以降)と同様にグループを選び登録します。

ファイル【あて名】

機能編

あて名を消去する

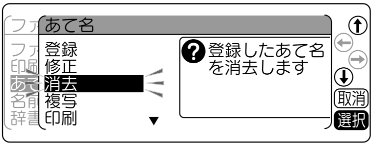
あて名は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

❶ ファイル を押す

❷「あて名」を選び、選択 を押す

「あて名」メニューが表示されます。

❸「消去」を選び、選択 を押す

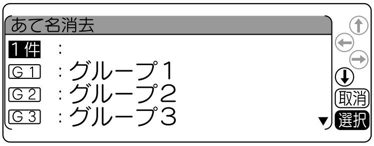


❹ 消去する範囲を選び、選択 を押す

1件　：1件のみ消去します。

G 1～G 5　：選択したグループ内のすべてのあて名を消去します。

全件　：すべてのあて名を消去します。

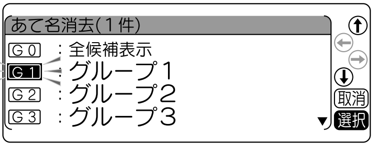


グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります(手順❼)。

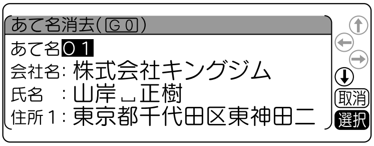
1件の場合は次の手順であて名を選びます。

❺ 消去したいあて名が登録されているグループを選び、選択 を押す

グループがわからないときはG 0を選びます。



❻ ↑ ↓ または わ 0 ～ よ 9 で消去したいあて名を選び、選択 を押す



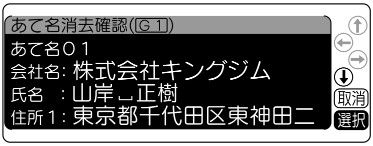
消去する内容の確認画面になります。

❼ 内容を確認し、選択 を押す

1件消去の場合はあて名の内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているあて名の情報が表示されます。

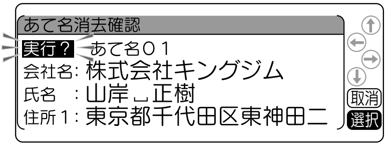
1件消去の場合

グループ消去の場合



❽ 内容を確認し、選択 を押す

1件消去の場合はあて名の情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。



あて名が消去され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

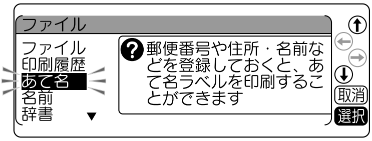
- 消去したあて名は、復活 を押しても復活させることはできません。
- 操作を途中でやめるときは 削除取消 または ファイル を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

あて名ラベルを印刷する

あて名は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。
また、印刷時に書体を指定できます。

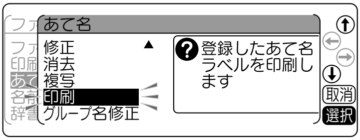
❶ （ファイル）を押す

❷ 「あて名」を選び、選択を押す



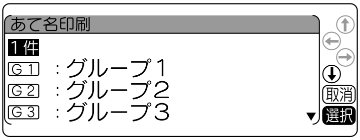
「あて名」メニューが表示されます。

❸ 「印刷」を選び、選択を押す



❹ 印刷する範囲を選び、選択を押す

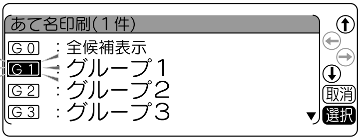
1件　：1件のみ印刷します。
G 1～G 5　：選択したグループ内のすべてのあて名を印刷します。
全件　：すべてのあて名を印刷します。



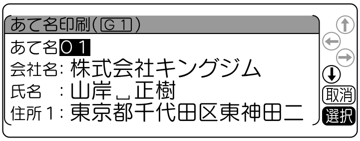
グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります（手順❼）。
1件の場合は次の手順であて名を選びます。

❺ 印刷したいあて名が登録されているグループを選び、選択を押す

グループがわからないときはG 0を選びます。



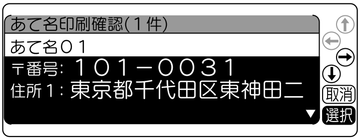
❻ ↑ ↓ または 0 ～ 9 で印刷したいあて名を選び、選択を押す



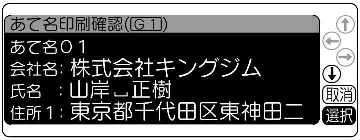
印刷する内容の確認画面になります。

❼ 内容を確認し、選択を押す

1件印刷の場合はあて名の内容が、グループまたは全件印刷の場合は含まれているあて名の情報が表示されます。
1件印刷の場合



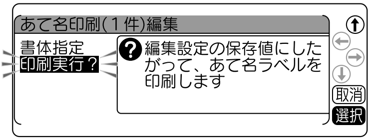
グループ印刷の場合



❽ 内容を確認し、選択を押す

あて名印刷の編集画面になります。

❾ 「印刷実行？」を選び、選択を押す



あて名が印刷されます。

MEMO

「書体指定」を選ぶと、印刷する書体を指定できます。指定した後に「印刷実行？」を選んで選択を押すと、指定した書体であて名が印刷されます。

!! 注意 !!

- あて名ラベルは24＊mm、36mm幅テープに対応しています。
- カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをお奨めします。

MEMO

- あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的につきます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名の後に「御中」がつきます。氏名まで入力すると、氏名の後に「様」がつきます。

氏名を入力しない「あて名」

> 101−0031
> 東京都千代田区東神田二丁目10番18号
>
> 株式会社キングジム
> 開発部　御中

「御中」がつきます

氏名まで入力した「あて名」

> 101−0031
> 東京都千代田区東神田二丁目10番18号
>
> 株式会社キングジム
> 開発部
> 山岸　正樹　様

「様」がつきます

- 操作を途中でやめるときは（削除取消）または（ファイル）を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

あて名のグループ名修正

あて名を登録するグループ名を変更できます。

参照 ☞P.107「グループの名前を変える」

カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードをカスタマバーコードといいます。
本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、カスタマバーコードを印刷することができます。

MEMO

- 「カスタマバーコード」を印刷する義務はありません。
- 「カスタマバーコード」は7桁郵便番号時のみご利用頂けます。
- 「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割り引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマーバーコード（〒|||||||）」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

例：千葉県鎌ヶ谷市右京塚
　東3丁目20-5　鈴木・A&bコーポB604号

❶ **住所データを次のAとBの部分に分割する**
住所A：「郵便番号」で指定される町域名まで
住所B：町域名以降の住所

❷ **住所Aを郵便番号に置き換える（「-」（ハイフン）は省略）**

❸ **住所Bにあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える**

❹ **データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める**
「&」（アンパサンド）　「／」（スラッシュ）
「・」（中黒）　「.」（ピリオド）

❺ **❸および❹で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す**

❻ **抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン1文字に置き換える**
「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、「ブランク」、「2文字以上連続したアルファベット文字」

❼ **❻の置き換えで、ハイフンが連続する場合は1つにまとめる**

❽ **先頭がハイフンの場合は取り除く**

❾ **アルファベットの前後にある（–）を取り除く**

❿ **❷で処理したデータに❾で処理したデータをつなげる**

	郵便番号	住所B
	XXX-XXXX	東3丁目–20–5 鈴木・A&bコーポB604号
（❷ の処理）	XXXXXXX	
（❸ の処理）		東3丁目–20–5 鈴木・A&BコーポB604号
（❹ の処理）		東3丁目–20–5 鈴木ABコーポB604号
（❺ の処理）		3　–20–5　B604号
（❻ の処理）		東　丁目　鈴木ABコーポ
「–」に置き換え		
（❻ の処理後）		–3––20–5–B604
（❼ の処理）		–3–20–5–B604
（❽ の処理）		3–20–5–B604
（❾ の処理）		3–20–5B604
（❿ の処理）	XXXXXXX3–20–5B604	

カスタマバーコードの記入例

- 漢数字が「丁目」「丁」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所Bとし、算用数字に変換して指定します。

例　：東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号
永井タワー601
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：十一丁目六番地一号永井タワー601
バーコード［xxxxxxx11-6-1-601

例　：北海道帯広市稲田町南七線西28
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：七線西28
バーコード［xxxxxxx7-28

- 連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット1文字「F」(ビル等の階数表示の略)については指定しません。
もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

例　：茨城県日立市宮田町6丁目7-14
ABCビル2F
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：6丁目7-14ABCビル2F
バーコード［xxxxxxx6-7-14-2

例　：茨城県日立市宮田町6丁目7-14
ABCビル2F201号室
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：6丁目7-14ABCビル2F201号室
バーコード［xxxxxxx6-7-14-2-201

- アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが2文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

例　：神戸市中央区港島中町9丁目7-6
南シティA棟1F1号
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：9丁目7-6南シティA棟1F1号
バーコード［xxxxxxx9-7-6A1-1

例　：京都府綾部市青野町綾部6-7
LプラザB106
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：6-7 LプラザB106
バーコード［xxxxxxx6-7LB106

- バーコードの合計桁数が20文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。

例　：札幌市中央区南四条西29丁目1524-23
第2山瀬ハウス501
郵便番号：xxx-xxxx
住所B：29丁目1524-23第2山瀬ハウス501
バーコード［xxxxxxx29-1524-23-2-

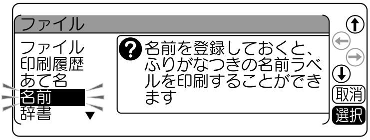
MEMO
本機ではバーコードは20文字まで入力できます。

名前を登録する

名前データを登録します。
名前は名前番号01～40(40件)の中から番号を選んで、登録します。

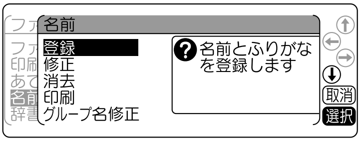
❶ ファイルを押す

❷「名前」を選び、選択を押す

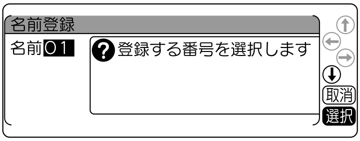


「名前」メニューが表示されます。

❸「登録」を選び、選択を押す

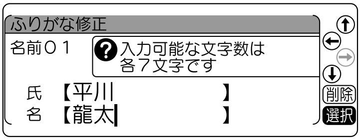


❹ ↑ ↓ または 0 ～ 9 で登録する名前番号を選び、選択を押す



❺ 名前(氏と名)を入力し、選択を押す

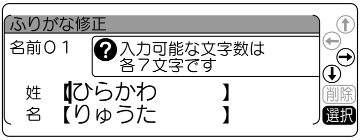
各7文字まで入力できます。



ふりがな修正画面が表示されます。

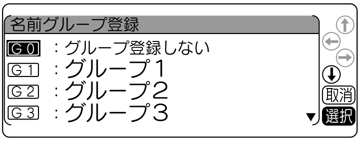
❻ ふりがなを確認し、選択を押す

必要に応じてふりがなを修正します。



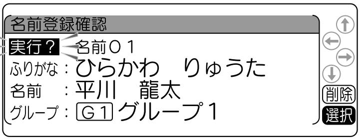
❼ 登録するグループを選び、選択を押す

グループ登録しない場合は「G0」を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

❽ 内容を確認し、選択を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

!! 注意 !!

「実行中」にACアダプタや電池を抜かないでください。名前の内容がこわれる可能性があります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除/取消 または ファイル を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。

名前を修正する

登録した名前を修正する場合は、P.119手順❸で「修正」を選びます。登録したグループから名前の番号を選ぶと修正画面になり、登録と同様の操作で修正できます。

名前を消去する

名前を消去する場合は、P.119手順❸で「消去」を選びます。消去の範囲(1件、グループ、全件)を選び、消去します。1件消去を選択した場合は、さらに名前番号を指定します。

名前のグループ名修正

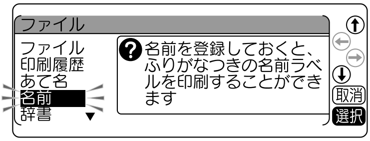
名前を登録するグループ名を変更できます。
参照 P.107「グループの名前を変える」

名前ラベルを印刷する

名前は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。
また、印刷時に書体やラベルの長さ(定長)などを指定できます。

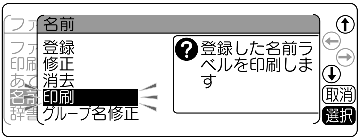
❶ ファイル を押す

❷「名前」を選び、選択 を押す



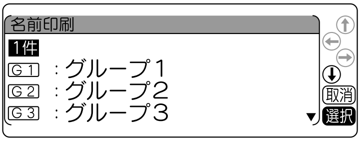
「名前」メニューが表示されます。

❸「印刷」を選び、選択 を押す



❹ 印刷する範囲を選び、選択 を押す

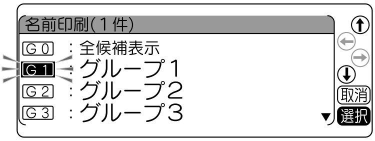
1件　：1件のみ印刷します。
G 1～G 5　：選択したグループ内のすべての名前を印刷します。
全件　：すべての名前を印刷します。



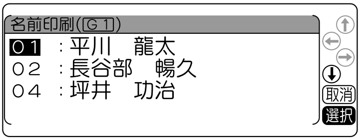
グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります(手順❼)。
1件の場合は次の手順で名前を選びます。

❺ 印刷したい名前が登録されているグループを選び、選択 を押す

グループがわからないときはG 0を選びます。



❻ [↑][↓]または[わを0]～[よ9]で印刷したい名前を選び、[選択]を押す



印刷する内容の確認画面になります。

❼ 内容を確認し、[選択]を押す

1件印刷の場合は内容が、グループまたは全件印刷の場合は名前一覧が表示されます。

1件印刷の場合

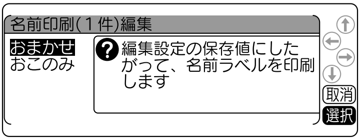
グループ印刷の場合

❽ 内容を確認し、[選択]を押す

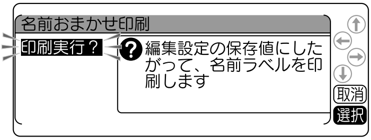
名前印刷の編集画面になります。

❾ そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、[選択]を押す

ここで「おこのみ」を選ぶと、定長印刷、書体、飾り字、斜体・強調、ふりがなの有無が指定できます。



❿「印刷実行？」を選び、[選択]を押す



名前ラベルが印刷されます。

MEMO

操作を途中でやめるときは[削除取消]または[ファイル]を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

!! 注意 !!

4mm幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前1行のラベルが印刷されます。

9mm幅テープ(「ふりがな」あり)

9mm幅テープ(「ふりがな」なし)

4mm幅テープ

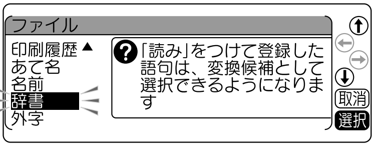
変換できない語句を登録する（辞書の登録）

難しい人名や長い熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」に「読み」をつけて辞書登録しておくと、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できるようになります。
辞書には漢字だけでなく、記号・外字・英数字・英記号も登録できます。辞書番号01〜50に最大50個まで登録できます。

例 ：特許申請手続き代行書類（とっきょしょるい）を登録する

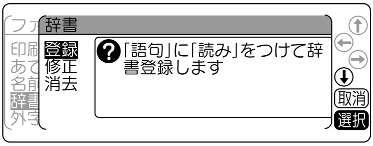
1 （ファイル）を押す

2 「辞書」を選び、［選択］を押す

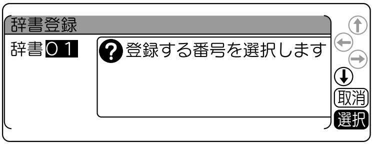


「辞書」メニューが表示されます。

3 「登録」を選び、［選択］を押す

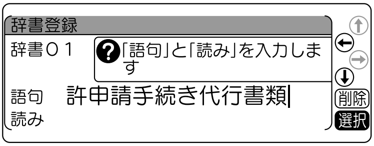


4 ［↑］［↓］または［0］〜［9］で登録する辞書番号を選び、［選択］を押す

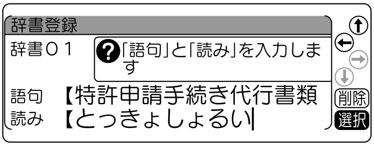


辞書の登録画面になります。

5 「語句」を入力し、［選択］を押す



6 「読み」をひらがなで入力する



7 ［選択］を押す

「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

MEMO

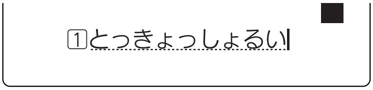
- 登録できる「語句」の文字数は15文字以内、「読み」の文字数は16文字以内です。ただし、濁音、半濁音は2文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- 入力できる「読み」はひらがなのみです。
- 操作を途中でやめるときは、入力した文字をすべて削除してから（削除/取消）または（ファイル）を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 登録済みの辞書と同じ「語句・読み」を登録しようとすると、「辞書に登録済み」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
- 辞書登録では文章書式・段落スタイル・文字モード・連番・バーコードの登録はできません。
- 辞書がいっぱいでこれ以上登録できなくなると、「辞書の登録数がいっぱいです」が表示されます。それでも辞書の登録をしたい場合は、辞書消去で不要な辞書データを削除してください。

登録した語句を呼び出す

通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

例：特許申請手続き代行書類を「とっきょしょるい」で呼び出す

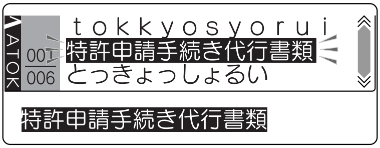
1 「とっきょしょるい」を入力する



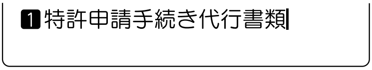
2 変換 スペース を押す

辞書登録した「特許申請手続き代行書類」が変換候補として表示されます。

3 「特許申請手続き代行書類」になっている状態で ↓ を押す



「特許申請手続き代行書類」が確定されます。

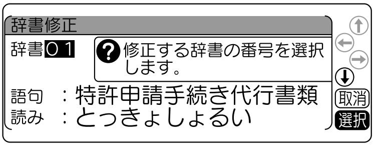


登録した辞書を修正する

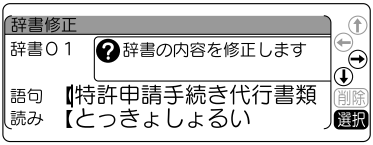
例：「読み」の「とっきょしょるい」を「とくしん」に変える

1 P.122「変換できない語句を登録する」の手順❸で「修正」を選び、選択 を押す

2 修正したい辞書を選び、選択 を押す

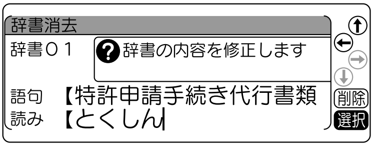


登録した辞書が表示され、修正できる状態になります。



3 新しい「読み」を入力する

「とっきょしょるい」を削除し、「とくしん」と入力しなおします。



4 選択 を押す

「読み」を修正した辞書が登録されます。

ファイル【辞書】

機能編

登録した辞書を消去する

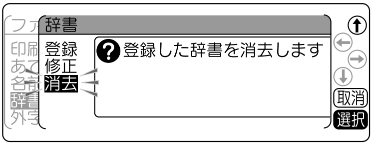
登録されている辞書を消去します。

❶ ファイル を押す

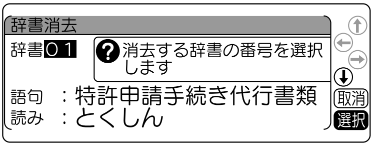
❷ 「辞書」を選び、選択 を押す

「辞書」メニューが表示されます。

❸ 「消去」を選び、選択 を押す

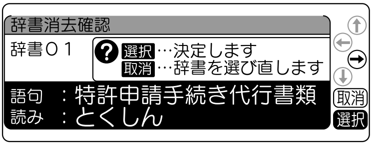


❹ ↑ ↓ または わを0 〜 よ9 で消去したい辞書を選び、選択 を押す

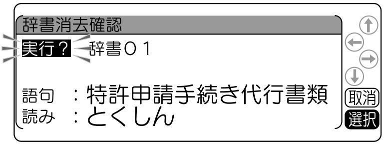


消去する内容の確認画面になります。

❺ 内容を確認し、選択 を押す



❻ 選択 を押す



辞書が消去され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

消去した辞書は 復活 を押しても復活させることはできません。充分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

MEMO

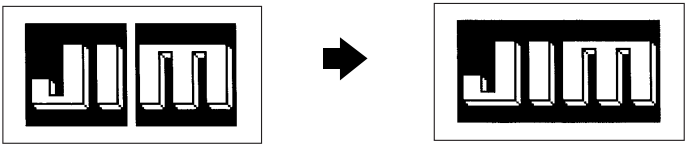
操作を途中でやめるときは 削除取消 または ファイル を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

外字を使う

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字･記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。

外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「編集」の文字モードで文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。

外字2つに分けて登録（文字間「ふつう」）　　文字間「密着」



MEMO

- 外字は10文字まで登録できます。
- 本機は、美しい印刷を可能にするアウトラインフォントという形式の文字を搭載していますが、外字については作成のしやすさから、ビットマップ形式を採用しています。ビットマップ形式での外字はアウトラインフォントの文字と比べて多少ギザギザが目立ちます。
- データ転送ソフト「DATAメモリーシステムSDM9」を利用すると、パソコンで外字を作成・編集できます。

外字を作る概要

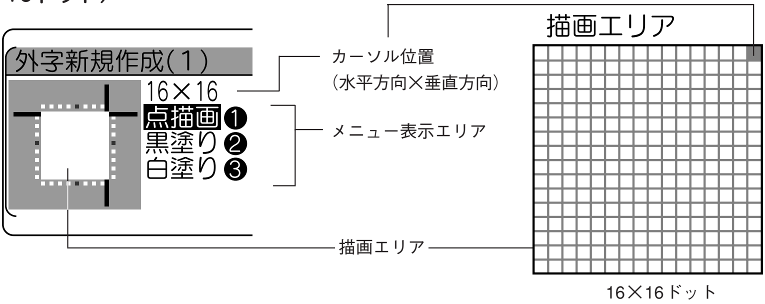
外字を登録するときは、1つの外字について、16・24・32・40・48ドットの5段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。
ただし、5段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に16ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して24･32･40･48ドットの字形データを作り、後から細部を補正して作るしくみになっています。

画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマス目を埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点(ドット)を塗りつぶしていきます。

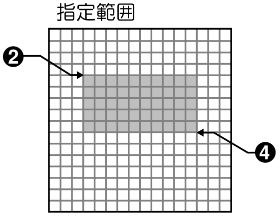
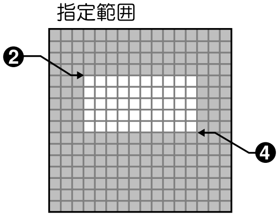
画面表示

(例：16ドット)



描画方法(メニュー表示エリアで選択)

描画方法(メニュー)には、1ドットずつ塗りつぶす「点描画」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗り」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗り(=消去)」があり、それぞれ数字ボタン [ぬ1] / [ふ2] / [あ3] で選択します。

メニュー	描画方法	手順
点描画	1つ1つの点(ドット)ずつ塗りつぶす方法	❶[ぬ1]を押す。 メニュー「点描画」がネガ表示されます。 ❷塗りつぶすドットにカーソルを [←][↑][↓][→]で移動する。 ❸[シフト]を押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。もう一度押すと、白く塗りつぶされます。
黒塗り	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす方法 	❶[ふ2]を押す。 メニュー「黒塗り」がネガ表示されます。 ❷塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを [←][↑][↓][→]で移動する。 ❸[シフト]を押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを [←][↑][↓][→]で移動する。 ❹[シフト]を押す。手順❷と❹で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。
白塗り	広い範囲のブロックを白くする(消す)方法 	❶[あ3]を押す。 メニュー「白塗り」がネガ表示されます。 ❷塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを [←][↑][↓][→]で移動する。 ❸[シフト]を押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを [←][↑][↓][→]で移動する。 ❹[シフト]を押す。手順❷と❹で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。

外字を作成し、登録する

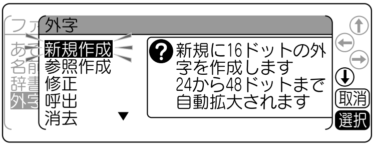
例：外字番号「2」に「」を登録する

❶ ファイルを押す

❷「外字」を選び、選択を押す

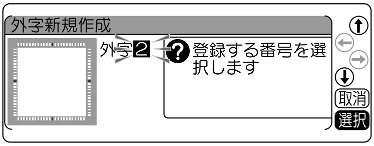
「外字」メニューが表示されます。

❸「新規作成」を選び、選択を押す



描画エリアと外字番号が表示されます。

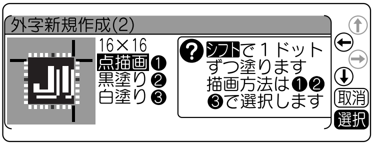
❹ 登録する番号に「2」を選び、選択を押す



❺ 16ドットのデータを描画する

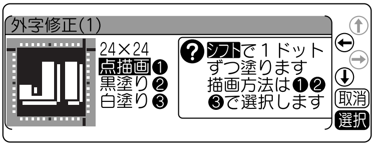
シフトと←↑↓→で描画します。

参照 ☞P.126「画面表示と描画方法」



❻ 16ドットの描画が終わったら、選択を押す

16ドットのデータをもとに、24・32・40・48ドットのデータが自動的に拡大作成されます。



❼ 24・32・40・48ドットのデータを補正する

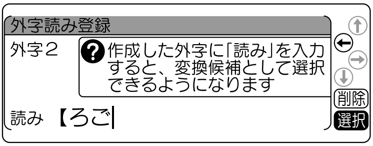
手順❺と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。選択を押すと、次のサイズの描画に移ることができ、48ドットの描画が終わると、「読み」の入力画面が表示されます。

!! 注意 !!

24～48ドットすべてのデータを補正しないと、文字サイズによってはきれいに印刷されません。

❽ 外字の「読み」を入力し、選択を押す

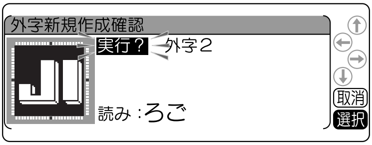
「読み」はひらがなで16文字まで入力できます。



MEMO

- 登録できる「読み」の文字数は16文字以内です。ただし、濁音、半濁音は2文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- テキスト入力でこの「読み」を入力し、変換 スペースを押すと、外字を呼び出すことができます。

❾ 内容を確認し、選択を押す



「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは削除取消またはファイルを押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があるときは、ファイルボタンで外字を新規作成できません。

外字を修正する

例 ：外字番号「4」の48ドットデータを修正する

❶ ファイル を押す

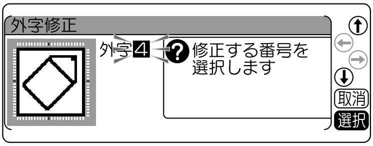
❷ 「外字」を選び、選択 を押す

「外字」メニューが表示されます。

❸ 「修正」を選び、選択 を押す

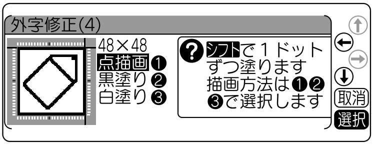
登録されている外字番号が表示されます。

❹ 修正する外字番号「4」を選び、選択 を押す



16ドットの描画画面が表示されます。

❺ 48ドットの描画画面が表示されるまで 選択 を押す



❻ 48ドットのデータを修正する

参照 P.126「画面表示と描画方法」

❼ 選択 を押す

「読み」の入力画面が表示されます。

必要に応じて、「読み」の修正をします。

❽ 選択 を押す

修正の確認画面になります。

❾ 内容を確認して、選択 を押す

外字が修正され、テキスト画面に戻ります。

外字を呼び出す

登録した外字を入力します。外字を滑らかに印刷したいときは、「平滑化＝する」を選んでください。

MEMO

簡単に呼び出すには

登録した外字の読みを入力し、変換 スペース を押すと、登録した外字が表示されます(この場合には外字の「平滑化」はおこなわれません)。

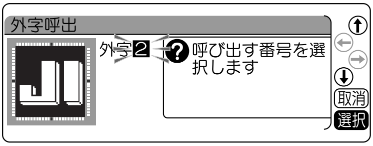
❶ 外字を入力する部分にカーソルを合わせる

❷ ファイル を押す

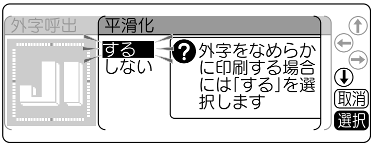
❸ 「外字」を選び、選択 を押す

❹ 「呼出」を選び、選択 を押す

❺ 呼び出す外字を選び、選択 を押す



❻ 「平滑化」メニューから「する」または「しない」を選び、選択 を押す



カーソル位置に外字が入力されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除取消 または ファイル を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 記号メニューで「外字呼出」を選択しても手順❺に進めます。

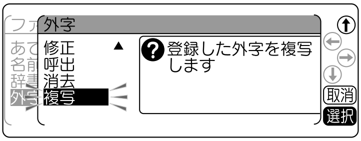
外字を複写する

外字を別の外字番号に複写します。

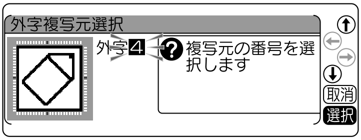
1 **(ファイル)を押す**

2 **「外字」を選び、[選択]を押す**

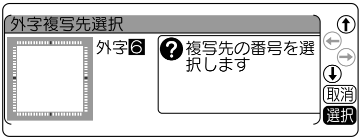
3 **「複写」を選び、[選択]を押す**



4 **複写元の外字番号を選び、[選択]を押す**



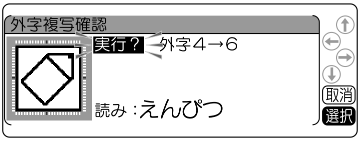
5 **複写先の外字番号を選び、[選択]を押す**



6 **複写先の「読み」を入力し、[選択]を押す**

複写する内容の確認画面になります。

7 **内容を確認し、[選択]を押す**



外字が複写され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 複写の操作を途中でやめるときは(削除取消)または(ファイル)を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があるときは、(ファイル)ボタンで外字を複写できません。

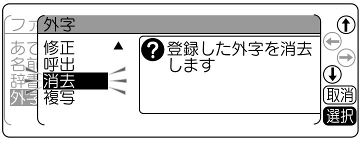
外字を消去する

登録されている外字を消去します。

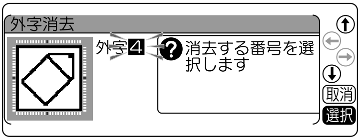
1 **(ファイル)を押す**

2 **「外字」を選び、[選択]を押す**

3 **「消去」を選び、[選択]を押す**

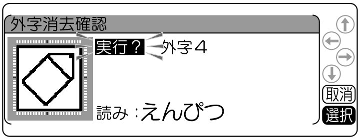


4 **消去する外字番号を選び、[選択]を押す**



消去する内容の確認画面になります。

5 **内容を確認し、[選択]を押す**



外字が消去され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

消去した外字は(復活)を押しても復活させることはできません。充分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは(削除取消)または(ファイル)を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 仮確定文字があるときは、(ファイル)ボタンで外字を消去できません。
- 消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

外字を参照作成し、登録する

「参照作成」では、本機に内蔵されている文字や記号のデータをもとに修正して外字を作成します。

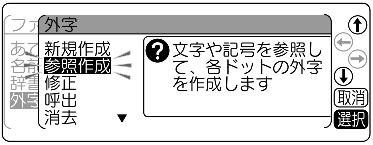
基本の操作は「外字を作成し、登録する」・「外字を修正する」と同じですが、「参照作成」は途中で参照する文字を入力します。

例 :「記号」の「生き物」の「　」にヒゲをつけて「　」にする

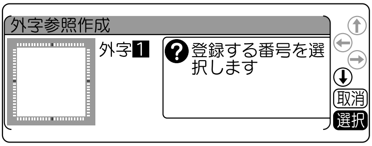
1 ファイル を押す

2 「外字」を選び、選択 を押す

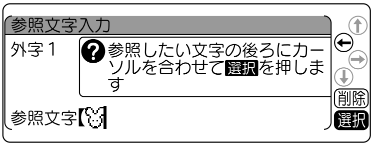
3 「参照作成」を選び、選択 を押す



4 登録する外字番号を選び、選択 を押す



5 参照する文字(記号)を入力し、カーソルをその後ろ(右側)に合わせる



最大5文字まで入力できますが、カーソルの左側の1文字を参照します(入力ガイドにカーソルがあるときは先頭文字を参照します)。

MEMO

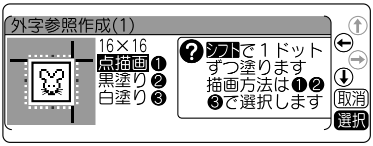
- 最大5文字まで入力できるので、単語や熟語、辞書登録した語句なども利用できます。
- 連番、バーコード、合成記号、編集記号、半角スペース、外字は参照できません。

6 データを修正する

参照文字が16ドットで表示されますので、これをもとに修正します。

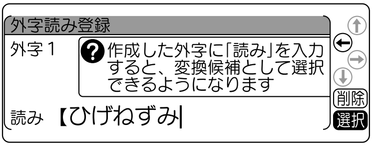
選択 を押すと次のサイズの修正画面に移ります。

参照 P.126「画面表示と描画方法」



7 48ドットの描画が終わったら 選択 を押す

8 外字の「読み」を入力し、選択 を押す



9 内容を確認し、選択 を押す

「実行中」と表示され、登録後にテキスト画面へ戻ります。

MEMO

- 文章中でこの「読み」を入力し、変換 スペース を押すと外字を呼び出すことができます。
- 操作を途中でやめるときは、削除 取消 または ファイル を押してください。ただし、それまでに描画していた別のサイズの外字データもなくなります。
- 仮確定文字があるときは、ファイル ボタンで外字を参照作成できません。

ファイル【外字】

機能編

連番やバーコードを印刷する

［シフト］を押しながら（記号）（＝連番・バーコード）を押すと、連続番号やバーコードが入力できます。

連番・バーコードメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
連続番号				
連続番号 ▶	初期値入力 ▶	繰り返し回数		
連続番号 連番の入ったラベルを作ります。 参照 P.132		**1回**		
		2回		
		3回		
		4回		
		5回		
		10回		
バーコード				
JAN-13 ▶	全体の幅 ▶			数値入力
JAN-8 ▶	小さめ			
NW-7 ▶	**ふつう**	（NW-7、ITF、CODE39のみ）	（NW-7、ITF、CODE39のみ）	
UPC-A ▶	大きめ	細・太の比率 ▶	チェックデジット ▶	
ITF ▶		2.0	あり	
UPC-E ▶		**2.5**	**なし**	
CODE39 ▶		3.0		
バーコード バーコードの入ったラベルを作ります。 参照 P.134				

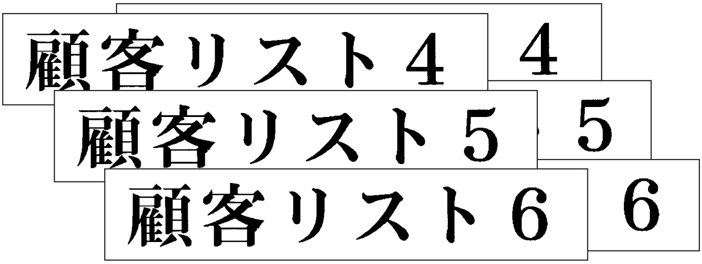
シフト ＋ 記号

機能編

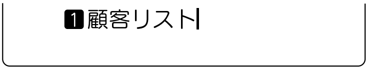
連番を印刷する

数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。
連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数(1、2、3、4、5、10回)を指定します。繰り返し回数では同じ数字を何回繰り返すかを指定します。

例 :4、5、6…の入ったラベルを2枚ずつ作る



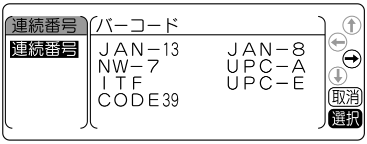
❶ 連番を入れる位置にカーソルを合わせる



❷ シフトを押しながら記号(＝連番・バーコード)を押す

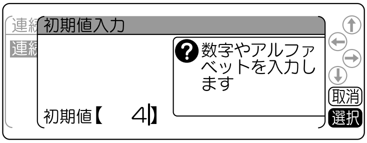
「連続番号」メニューが表示されます。

❸ 「連続番号」を選び、選択を押す



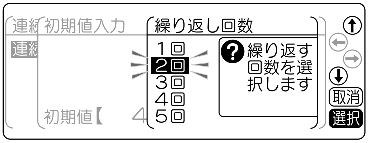
「初期値入力」画面が表示されます。

❹ 初期値に「4」を入力し、選択を押す

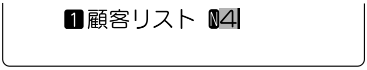


MEMO
初期値には、数字の場合2桁まで、英字の場合1文字を入力できます。

❺ 繰り返し回数「2回」を選び、選択を押す



テキスト画面に戻り、カーソル位置に連番(連番マークN＋数値エリア「4」)が表示されます。



シフト＋記号

機能編

❻ (印刷)を押す

「4」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト4

❼ (印刷)を押す

繰り返し回数「2回」を指定しているので、2枚目の「4」のラベルが印刷されます。

顧客リスト4

印刷後、数値入力エリアの番号が加算され「5」になります。

❽ (印刷)を押す

「5」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト5

以降、同様に繰り返します。

MEMO

- 連番の初期値に指定できるのは、数字の0～9または00～99とアルファベットのA～Z、a～zです。小数点やマイナスは指定できません。
- 数字の場合、1、2、3、4…と99(または、01、02、03、04…と99)まで数字が1つずつ繰りあがります。英字の場合、A(a)、B(b)、C(c)、D(d)とアルファベット順に1つずつ繰りあがります。

  数字(初期値が1桁の場合)

1、2、3、… 9、10、… 98、99、0、1、…

  数字(初期値が2桁の場合)

01、02、03、… 09、10、… 98、99、00、01、…

  英字

A、B、C、… X、Y、Z、A、…
a、b、c、… x、y、z、a、…

- 1つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて6個までです。
- 連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後(右側)にカーソルを合わせ、(シフト)+(記号)(=連番・バーコード)を押してください。「連番」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- 連番を削除するときは、連番の直後(右側)にカーソルを合わせ、(削除取消)を押してください。
- 連番(連番マークN+数値エリア)にも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できます。
- 連番は合成記号と組み合わせることはできません。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルを枚数分印刷することができます。

  参照 P.137「同じラベルを連続して印刷する(ぞく²)」

シフト + 記号

機能編

バーコードを印刷する

各種規格に準じたバーコードを印刷することができます。

印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体幅 小さめ/**ふつう**/大きめ	細・太の比率 2.0/**2.5**/3.0	チェックデジット あり/**なし**
JAN-13・JAN-8 UPC-A・UPC-E	○	–	–
NW-7・ITF・CODE39	○	○	○

太字 は購入時の初期設定値です。

○：指定可能

ー：指定不要

全体幅：バーコード全体の幅

細・太の比率：細いバーと太いバーの太さの比率

!! 注意 !!

バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則にしたがって入力してください。

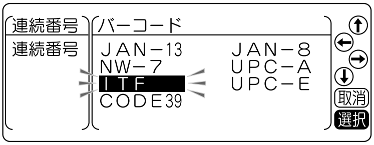
例 ：「ITF」のバーコード（全体幅大きめ、細・太の比率 3.0、チェックデジットあり）を印刷する

012345678905

❶ シフト を押しながら 記号 （＝連番・バーコード）を押す

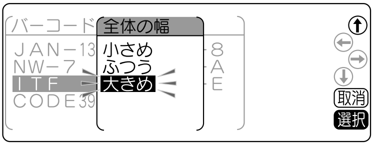
「バーコード」メニューが表示されます。

❷ 「ITF」を選び、選択 を押す



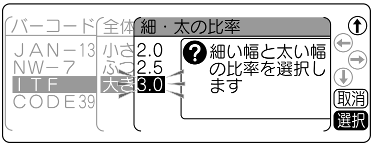
「全体の幅」メニューが表示されます。

❸ 「大きめ」を選び、選択 を押す



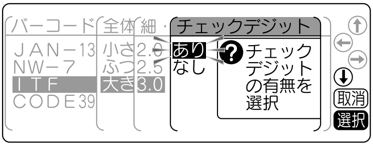
「細・太の比率」メニューが表示されます。

❹ 「3.0」を選び、選択 を押す



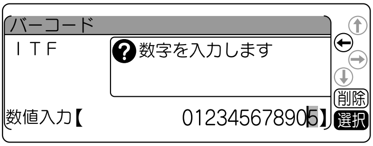
「チェックデジット」メニューが表示されます。

❺ 「あり」を選び、選択 を押す



バーコードの数値入力画面になります。

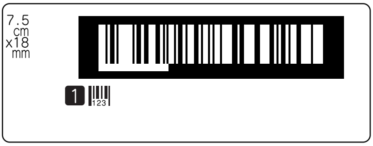
❻ 数値ボタンでバーコードの数値を入力する



数値が表示されます。右側の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。なお、入力できる桁数は規格によって異なります。

❼ 【選択】を押す

テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク（ ）が表示されます。



❽ 【印刷】を押す

バーコードのラベルが印刷されます。

MEMO

- 1つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて6個までです。
- バーコードはデータ量が多いため、ファイルに保存するとたくさんのメモリーを使用します。
- バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク（）の直後（右側）にカーソルを合わせ、【シフト】＋【記号】（＝連番・バーコード）を押してください。「バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- バーコードの数値を修正するときは、数値入力画面に入り、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
- バーコードを削除するときは、バーコードマーク（）の直後（右側）にカーソルを合わせ、【削除 取消】を押してください。
- バーコードマークにも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できますが、反映されるものは以下のとおりです。

バーコードマークに反映される機能

段落スタイル	外枠・表組、割付け
文字モード	囲み・網

- 印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。
- お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
- バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをお奨めします。
- 規格によって入力できる桁数が異なります。ITFとNW-7は1〜29桁、CODE39は1〜27桁です。
- ITFは偶数桁数のみの規格です。チェックデジットを「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1桁目にスペアコード（0）が自動的に発生します。
- UPC-Eのチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
- NW-7は始めと終わりに「A、B、C、D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
- バーコードのバーの長さ（線の部分）と数字の長さが一致しないことがありますが、ご使用上問題はありません。
- バーコードは合成記号と組み合わせることはできません。

特殊な印刷（ぞく^2、でか^2）

ぞく^{2}でか^{2}ボタンを押すと、連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷などの特殊な印刷を指定できます。

特殊印刷メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー		最初の選択肢	次の選択肢
特殊印刷			
連続印刷 同じラベルを連続して印刷します。 参照 P.137	**連続印刷** ▶	止めるまで **しない** 2枚ぞく^2 3枚ぞく^2 ： 10枚ぞく^2 12枚ぞく^2 ： 20枚ぞく^2 25枚ぞく^2 ： 40枚ぞく^2 50枚ぞく^2 ： 100枚ぞく^2	
拡大印刷 ラベルを拡大して印刷します。 参照 P.138	拡大印刷 ▶	**しない**	
		2倍でか^2 ▶	2/2 1/2 1/2
		3倍でか^3 ▶	3/3 1/3 1/3 1/3
		4倍でか^4 ▶	4/4 1/4 1/4 1/4 1/4
鏡文字印刷 鏡像反転して印刷します。 参照 P.140	鏡文字印刷 ▶	する **しない**	
	印刷実行 ?		

同じラベルを連続して印刷する（ぞく^2）

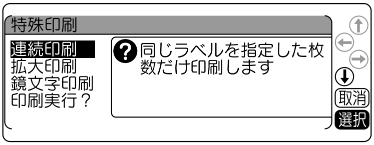
同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。

例 ：同じラベルを 3 枚連続して印刷する

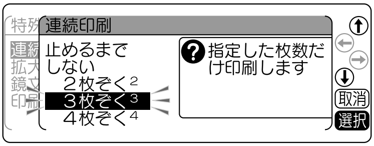
❶ 文章を入力し、ぞく^{2}でか^{2}を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

❷ 「連続印刷」を選び、選択を押す

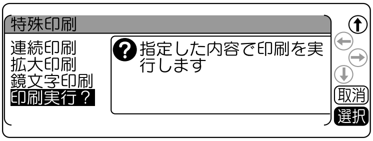


❸ 「3枚ぞく^2」を選び、選択を押す



「特殊印刷」メニューに戻ります。

❹ 「印刷実行？」を選び、選択を押す



印刷が開始されます。1枚目の印刷が終了するとテープがカット、またはハーフカットされ、同様に2枚目、3枚目が印刷されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは削除取消を押してください。
- 「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大100枚まで印刷を続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
- 指定した枚数のラベルの全長が16mを超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。
  例えば、初期値「1」繰り返し回数1回の連番を3枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。
- ハーフカット有効で連番の繰り返し回数を2回以上に指定して連番印刷を実行した場合、ハーフカットは自動で無効になります。
  参照 ☞P.132「連番を印刷する」

!! 注意 !!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。
- 連続印刷をするときは、テープ出口付近にラベルがたまらないように注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ出口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再びカットするおそれがあります。
- 印刷途中でテープが終了しても、指定した枚数分の印刷カットをおこないます。刃の磨耗を防ぐため、印刷途中でテープが終了した場合は、削除取消を押して印刷を中止してください。

テープ幅より大きなラベルを作る(でか²)

印刷内容を2倍、3倍、4倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。

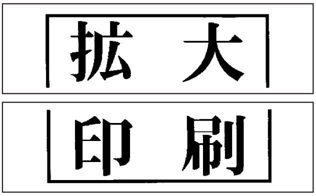
「2倍でか²」なら上下2枚で1組、「3倍でか³」なら上中下3枚で1組のラベルになります。
大きさを指定した後に、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1組のうちの該当する部分の1枚だけを印刷できます。

●拡大印刷の種類(サンプルは12mm幅のラベルです)

(印刷)ボタンによる通常の印刷

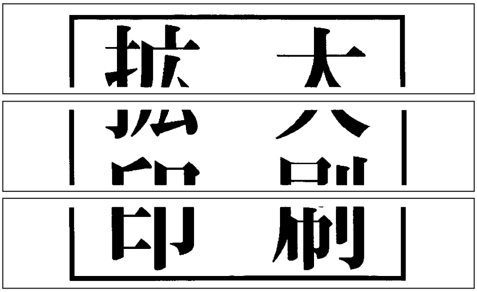
2倍でか²　2倍拡大

2/2 ─ 1/2, 1/2



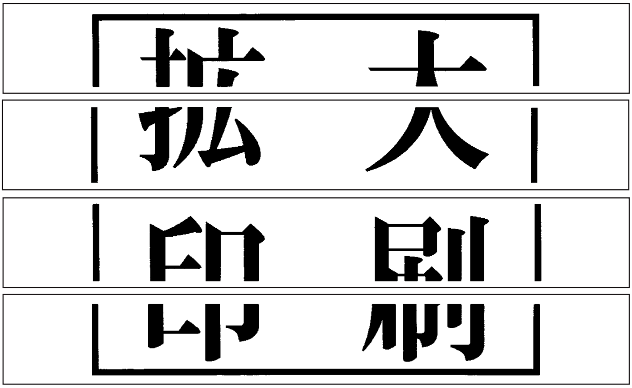
3倍でか³　3倍拡大

3/3 ─ 1/3, 1/3, 1/3



4倍でか⁴　4倍拡大

4/4 ─ 1/4, 1/4, 1/4, 1/4

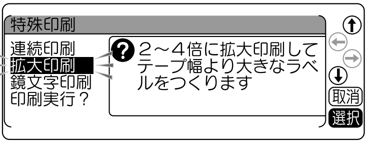


例 ：3 倍に拡大して印刷をする

❶ 文章を入力したあと　を押す

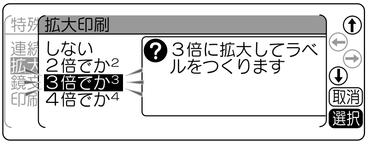
「特殊印刷」メニューが表示されます。

❷ 「拡大印刷」を選び、選択 を押す



「拡大印刷」メニューが表示されます。

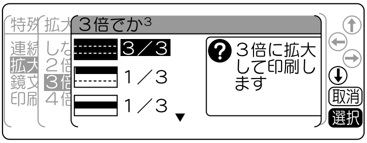
❸ 「3倍でか^3」を選び、選択 を押す



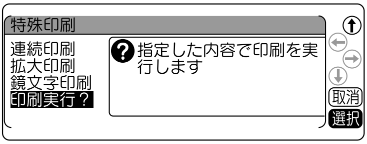
「3倍でか^3」メニューが表示されます。

❹ 「3/3」を選び、選択 を押す

「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。

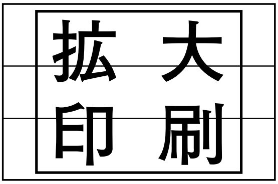


❺ 「印刷実行？」を選び、選択 を押す



印刷が開始されます。3枚1組のラベルが1枚ずつ印刷されます。

❻ テープを貼り合わせる



上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは 削除取消 を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。
- 長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとすると全長が16mを超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章の内容を2組に分けるなど指定をし直してください。
- 「拡大印刷」は通常の印刷内容を2倍、3倍、4倍にする機能です。そのため、定長印刷を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの2倍、3倍、4倍のラベルが印刷されます。
- 画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの2倍、3倍、4倍の長さのラベルが印刷されます。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2倍でか^2	約2倍	約2倍	約4倍
3倍でか^3	約3倍	約3倍	約9倍
4倍でか^4	約4倍	約4倍	約16倍

例えば「3倍でか^2」で印刷をおこなうと、印刷 ボタンによる通常の印刷に比べて、幅が約3倍、長さが約3倍のラベルになるので、使用するテープ量は約9倍になります。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷 ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

参考

カラフルな3倍でか^3

「3倍でか^3」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

鏡文字を印刷する

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

●鏡文字印刷

する（鏡像）

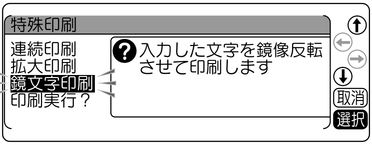
しない（正像）

例 ：鏡文字を印刷をする

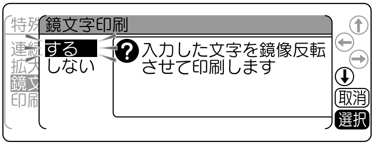
❶ 文章を入力し、ぞく2でか2を押す

「特殊印刷」メニューが表示されます。

❷ 「鏡文字印刷」を選び、選択を押す

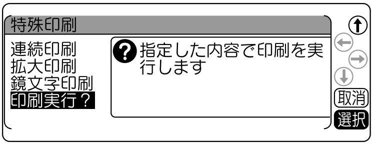


❸ 「する」を選び、選択を押す



「特殊印刷」メニューに戻ります。

❹ 「印刷実行？」を選び、選択を押す



ラベルが鏡像で印刷されます。

MEMO

操作を途中でやめるときは削除取消を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。印刷ボタンでは通常の印刷がおこなわれます。

読みのわからない漢字を入力する(コード入力)

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。
入力できるコードの種類は区点コード・JISコード・シフトJISコードです。

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード･シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。
参照 P.163「漢字変換表」

例 :「お休み處」と入力する

1 仮確定文字がないことを確認する

1 お休み

2 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。
處…4961(区点コード)
参照 P.163「漢字変換表」

3 シフト を押しながら 無変換 (=コード入力)を押す

コード入力画面になります。

コード【 】

MEMO
仮確定文字があるときは、シフト を押しながら 無変換 を押してもコード入力画面にならず、仮確定文字が変換されます。文字を確定したあとにおこなってください。

4 コードを入力する

4、9、6、1 を押します。
最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。

處
處普
コード【 4961 】

コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

MEMO
コードの入力を間違えたときは 削除取消 を押して入力しなおしてください。

5 「處」を選び、選択 を押す

カーソル位置に「處」が入力されます。

1 お休み處

シフト + 無変換

機能編

●編集機能の保存値を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では(編集)ボタンを使って、次のような機能を指定することができます。

編集ボタンの機能

機能の分類	指定できる機能
文章書式	地紋印刷、定長印刷、余白
段落スタイル	縦・横、文字サイズ、割付け、外枠・表組
文字モード	書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値(「初期設定値」と呼びます)とは異なる場合、「編集設定」で保存値を変更しておくと、文章を作るたびに(編集)ボタンで変更する必要がなくなります。
ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておくと、通常は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、編集設定のリセットによって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO

- 各機能の初期設定値についてはP.70「編集メニュー一覧」を参照してください。
- (編集)ボタンでの指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻りますが、地紋印刷の文字地紋/創作地紋データのみは本機内部に保存され、ほかの文章でも使用することができます。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。

!! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。
参照☞P.52「すべての文章を消去する」

シフト＋復活

機能編

保存値を変更する

1 **[シフト]を押しながら(削除/取消)(=消去)を押し、全文消去をおこなう**

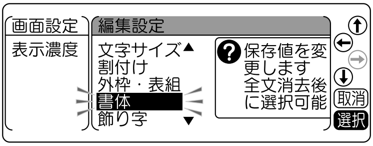
!! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

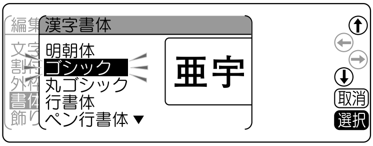
参照 ☞P.52「すべての文章を消去する」

2 **[シフト]を押しながら(復活)(=編集設定)を押す**

3 **「編集設定」メニューの変更したい項目を選び、[選択]を押す**



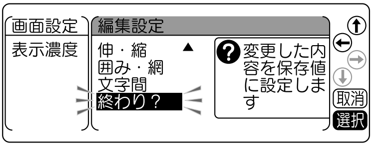
4 **保存値に設定したい選択肢を選び、[選択]を押す**



各項目の設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

参照 ☞P.67「ラベルの見栄えをよくする（編集）」

5 **変更したいすべての項目の設定が終わったら、「編集設定」メニューから「終わり？」を選び、[選択]を押す**



保存値が変更され､テキスト画面に戻ります。

保存値を初期設定値に戻す

変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値（初期設定値）に戻します。

1 **[シフト]を押しながら(削除/取消)(=消去)を押し、全文消去をおこなう**

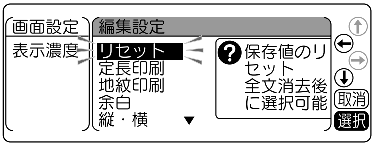
!! 注意 !!

保存値の設定を初期設定値に戻すときには､全文消去をする必要があります。

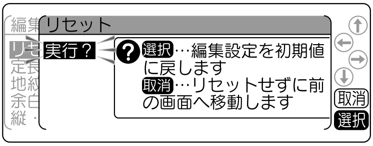
参照 ☞P.52「すべての文章を消去する」

2 **[シフト]を押しながら(復活)(=編集設定)を押す**

3 **「編集設定」メニューの「リセット」を選び、[選択]を押す**



4 **「実行？」を選び、[選択]を押す**



編集の保存値が初期設定値に戻ります。

MEMO

操作を途中でやめるときは(削除/取消)または(復活)を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

編集設定メニュー一覧

シフト を押しながら 復活 (＝編集設定)を押すと、画面の表示濃度や編集機能の保存値の設定を変更できます（ 太字 は購入時の初期設定値）。

メニュー		最初の選択肢
画面設定		
画面設定 画面表示の濃さを設定します。 参照 P.25	表示濃度 ▶	-5 : **0** : +5
編集設定		
編集設定 編集機能の保存値を設定します。 参照 P.142	リセット ▶	**実行？**
	定長印刷 ▶ 地紋印刷 ▶ 余白 ▶ 縦・横 ▶ 文字サイズ ▶ 割付け ▶ 外枠・表組 ▶ 書体 ▶ 飾り字 ▶ 斜体・強調 ▶ 伸・縮 ▶ 囲み・網 ▶ 文字間 ▶	詳細な項目を設定できます。設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。
	終わり？	

本機を初期化する

!! 注意 !!

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、下記の手順で「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。
  なお、初期化や、修理・検査をおこなうと、ファイルのデータや外字のデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。
初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

内容＼機能		初期化	編集設定のリセット（P.143）	印刷設定のリセット（P.60）	全文消去（P.52）	特殊フォームでの全文消去（P.98）	電源OFF（P.47）
入力	テキスト画面の文章	●	ー*1	ー	●	ー	ー
	コピーした内容	●	ー	ー	ー	ー	●
	地紋データ	●	ー	ー	ー	ー	ー
	特殊フォームの文章	●	ー	ー	ー	●	ー
	入力状態と小文字ロック	●	ー	ー	ー	ー	ー
	「みえ^2」の設定	●	ー	ー	ー	ー	ー
データ	ファイルデータ	●	ー	ー	ー	ー	ー
	印刷履歴	●	ー	ー	ー	ー	ー
	あて名データ	●	ー	ー	ー	ー	ー
	名前データ	●	ー	ー	ー	ー	ー
	辞書データ	●	ー	ー	ー	ー	ー
	外字データ	●	ー	ー	ー	ー	ー
設定	自動カットの設定値	●	ー	●	ー	ー	ー
	印刷濃度の設定値	●	ー	●	ー	ー	ー
	表示濃度の設定値	●	ー	ー	ー	ー	ー
	編集設定の保存値	●	●	ー	ー	ー	ー

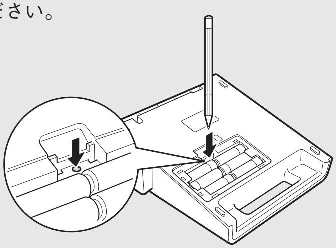
● ：ご購入時の状態に戻ります。
ー ：保持されます。
*1 ：編集設定のリセットをおこなうときには、全文消去をする必要があります。

初期化する

❶ ON/OFF（ON/OFF）ボタンを押して電源を切る

!! 注意 !!

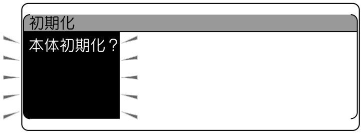
ON/OFF（ON/OFF）ボタンを押しても電源が切れないときには、「強制終了ボタン」を使って電源を切ってください。



「強制終了ボタン」を、ボールペンなど先の細いものでしっかり押すと、電源が切れます。

❷ 選択 改行 と 削除 取消 を押しながら ON/OFF（ON/OFF）ボタンを押す

「本体初期化？」が点滅します。



!! 注意 !!

- 初期化をやめるときは 選択 以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
  今まで登録したファイル・外字・辞書など、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

❸ 選択 を押す

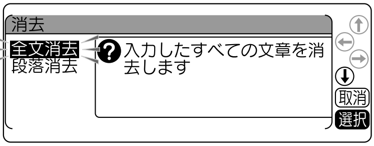
「初期化中」と表示され、本機の初期化がおこなわれた後、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

機能編

デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。また、書体など本機の機能を参照することができます。

❶ シフト を押しながら 削除取消（＝消去）を押し、全文消去をおこなう



!! 注意 !!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。

参照 P.52「すべての文章を消去する」

❷「demo」と入力する

参照 P.39「2.英数字を入力する」

❸ シフト を押しながら 変換 スペース を押す

デモ印刷がおこなわれます。

!! 注意 !!

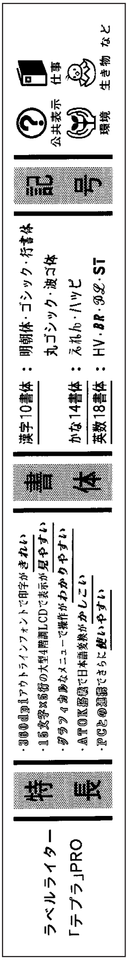
- 4mm幅テープではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな？」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
  参照 P.184「アフターサービスについて」

MEMO

印刷を途中でやめるときは 削除取消 を押してください。

見本

6mm幅テープ　　18mm幅テープ



機能編

機能編

付録

メニュー一覧

各ボタンで表示される機能は、該当ページを参照してください。

ボタン	機能名	参照ページ
シフト + 印刷	テープ送り	P.152
ぞく²でか²	特殊印刷	P.136
シフト + ぞく²でか²	印刷設定	P.150
ファイル	ファイル	P.101
シフト + ファイル	フォーム・特殊フォーム	P.92
記号	記号	P.151
シフト + 記号	連番・バーコード	P.131
編集	編集	P.70
シフト + 復活	編集設定	P.144
シフト + 削除取消	消去	P.152

印刷設定メニュー一覧

シフト を押しながら ぞく²でか² (＝印刷設定)を押すと、自動カット･ハーフカットの設定や印刷濃度を変更できます(太字 は購入時の初期設定値です)。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
印刷設定		
自動カット ▶	自動カット ▶ **する** しない	(する　のみ) ハーフカット **する** しない
自動カット 印刷時の自動カットとハーフカットの有効・無効を設定します。 参照 P.58		
印刷濃度 ▶	-3 : **0** : +3	
印刷濃度 印刷濃度を調整します。 参照 P.60		
リセット ▶	**実行？**	
リセット 自動カットと印刷濃度を初期設定値にします。 参照 P.60		

付

録

記号メニュー一覧

(記号)を押すと、記号を入力できます(**太字** は購入時の初期設定値です)。

メニュー		最初の選択肢	次の選択肢
記号			
外字呼出 登録した外字を入力します。 参照 P.128	外字呼出 ▶	外字選択 ▶	平滑化 **する** しない
	記述 ▶ 省略 ▶ カッコ ▶ 矢印 ▶ ○△□☆ ▶ 単位 ▶ 算数 ▶ 数字 ▶	記号選択	
2桁数字 2桁の数字を1文字として入力します。 参照 P.65	2桁数字 ▶	数値入力	
	公共表示 ▶ 環境 ▶ 荷物 ▶ 警告用 ▶ 仕事 ▶ スポーツ ▶ 遊び ▶ ビデオ ▶ 音楽 ▶ 生き物 ▶ 乗り物 ▶ 食べ物 ▶ 予定 ▶ 暮らし ▶ シーズン ▶ 家族 ▶ 干支 ▶ 星座 ▶ ギリシャ ▶ ロシア ▶ 欧州 ▶ 編集 ▶	記号選択	
編集 全角スペースや縦罫線を入力します。 参照 P.41、82			
合成 合成文字を作成します。 参照 P.43	合成 ▶		

付録

テープ送りメニュー一覧

シフトを押しながら印刷（＝テープ送り）を押すと、テープ送りや送りカットを実行できます（太字は購入時の初期設定値です）。

メニュー

テープ送り

テープ送り
テープ送りを実行します。
参照 P.31

テープ送り

送りカット

消去メニュー一覧

シフトを押しながら削除（＝消去）を押すと、文章全体または段落全体を消去できます（太字は購入時の初期設定値です）。

メニュー

消去

消去
文章または段落を消去します。
参照 P.52、57

全文消去

段落消去

テープカートリッジを使いわける

反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・ロングテープ・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・転写テープ・ケーブル表示ラベルをご使用の際は下記のとおり対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベル	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを３ｍｍ程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。**参照 P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」**
ハーフカッター使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・ロングテープ・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・転写テープ・ケーブル表示ラベル	「ハーフカット」無効で印刷する。**参照 P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」**
オートトリマー使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・伸縮ラベル・夜光ラベル・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル	オートトリマーにラベルを差し込まない。
印刷濃度の調整が必要	反射ラベル・透明つや消しラベル（上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープで印字がカスレた場合）	印刷濃度を「＋３」に設定して印刷する。**参照 P.60「印刷濃度を調整する」**

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!! 注意 !!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみをとってください。**参照 P.31「5.テープ送りをする」**

MEMO

- 以下の商品は生産を中止しています。
  夜光ラベル：２００２年６月中止
  反射ラベル：２００３年３月中止
  転写テープ：２００３年５月中止
  ふせん紙ラベル：２００４年４月中止
  伸縮ラベル：２００４年１２月中止
- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。

こんな表示が出たときは

エラーメッセージが表示されたときは

MEMO

同じエラーでも、画面の表示状態によってメッセージの表示が変わります。

参照 P.24「表示の切り換え(みえ²)」

エラーメッセージ	原因・対処
電池が消耗しました 新しい電池を正しくセットしてください！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単3アルカリ乾電池に交換してください。または、電池の⊕⊖の向きが間違っている場合があります。電池の⊕⊖の向きを確認してください。また、できるだけ付属のACアダプタを使用してください。 参照 P.26「1. ACアダプタを接続する」 参照 P.26「2. 電池(別売)を入れて使用するときは」
上カバーを閉じてください	電源が入っている状態で上カバーを開くと表示されます。 上カバーを閉じてください。
テープがありません！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照 P.28「3.テープカートリッジをセットする」
印刷ヘッドが過熱！電源を切り、テープを抜いてしばらく放置してください	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー！	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷イメージの表示ができません。または、あて名印刷を24＊mm・36mm幅以外のテープで印刷しようとしました。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、☒の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。 参照 P.53「テープ幅と印刷できる行数」
入力した文章が長すぎます 文字数を減らすか、文字サイズを小さくしてください	入力した文章が長すぎて、一度に印刷できるテープの長さ(16m)におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らすか、文字の大きさを小さくしてください。
連番／バーコードは6個まで しか入力できません	連番とバーコードは、合わせて6個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 P.132「連番を印刷する」 参照 P.134「バーコードを印刷する」
文字サイズ「自動」に指定されているときのみ有効です	すでに段落スタイルの文字サイズが指定されている段落を(らく²)ボタンで自動切り換えしようとしました。この場合は、らく²/均等切換はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 (らく²)ボタンは、文字サイズ「自動」に指定されているときにのみ有効です。 参照 P.79「文字サイズ」

付録

エラーメッセージ	原因・対処
指定した特殊印刷はできません 拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください	指定した拡大印刷や連続印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ(16m)におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください。 **参照☞P.137「同じラベルを連続して印刷する(ぞく^2)」** **参照☞P.138「テープ幅より大きなラベルを作る(でか^2)」**
入力した文章が長すぎます 定長を解除して 実行しますか？	定長で指定した長さに文章がおさまりません。 いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らす、文字の大きさを小さくする、余白を少なくするなどの対処をおこなってください。このまま[選択 改行]または[印刷]を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 **参照☞P.84「定長印刷」**
定長の指定が短すぎます 定長を解除して 実行しますか？	ハーフカットOFFで約20mm未満のラベルを印刷しようとしました。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、テープの長さを変更してください。 このまま[選択 改行]または[印刷]を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 **参照☞P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」**
メモリーがいっぱいです これ以上登録できません	ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。 **参照☞P.105「ファイルを消去する」** **参照☞P.114「あて名を消去する」** **参照☞P.120「名前を消去する」**
ファイルが登録されていません	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去、複写、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞P.103「ファイルを登録する」**
ファイル印刷の長さが長すぎます 印刷候補を減らしてください	ファイル印刷候補(最大5件)すべてを印刷すると、一度に印刷できるテープの長さ(16m)におさまりません。いずれかのボタンを押してファイル印刷候補の選択メニューに戻り、ファイル印刷の候補数を減らしてください。
印刷履歴がありません	印刷履歴がない状態で、印刷履歴の呼び出し、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
あて名が登録されていません	あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞P.112「あて名を登録する」**
辞書の登録数がいっぱいです これ以上登録できません	辞書がいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要な辞書を消去してください。 **参照☞P.124「登録した辞書を消去する」**
辞書に登録済みの語句です	辞書登録ですでに登録してある「語句・読み」をふたたび登録しようとしました。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
辞書が登録されていません	辞書が登録されていない状態で、辞書の修正、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞P.122「変換できない語句を登録する(辞書の登録)」**

エラーメッセージ	原因・対処
未入力の項目があるため辞書に登録できませんでした	未入力の項目がある状態で、辞書を登録しようとしました。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。
名前が登録されていません	名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞P.119「名前を登録する」**
外字が登録されていません	外字が登録されていない状態で、外字の修正、呼び出し、消去、複写の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞P.127「外字を作成し、登録する」** **参照☞P.130「外字を参照作成し、登録する」**
外字の登録数がいっぱいですこれ以上登録できません	外字の登録数がいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要な外字を消去してください。 **参照☞P.129「外字を消去する」**

MEMO

表記以外のエラーメッセージが表示されたときは、当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞P.184「アフターサービスについて」

故障かな？と思ったら

MEMO

パソコンと接続しているときの問題は、PCラベルソフトの取扱説明書も参照してください。

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。
不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、本機の初期化をおこなってください。

参照 ☞P.145「本機を初期化する」

ON/OFF（ON/OFF）ボタンを押してもディスプレイに何も表示されない

● **ACアダプタはしっかりと接続されていますか？**
本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

● **電池は正しくセットされていますか？**
電池の向きが⊕⊖逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、正しくセットされているか確認してください。

● **専用ACアダプタ以外のACアダプタを使用していませんか？**
同梱のACアダプタ（AS1527J）以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

● **電池が消耗していませんか？**
消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。

● **ディスプレイの表示濃度は適切ですか？**
ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。

参照 ☞P.25 「ディスプレイの濃度を調整する」

キーボードが動作しない

● **PCリンクランプが点灯し、ディスプレイに「PC通信可能」と表示されていませんか？**
PCリンクランプが点灯しているときは、パソコンからの操作が優先されます。「テプラ」本体でラベルを作るときは、(PCリンク)を押してPCリンクを解除してください。

ディスプレイが消える

● **オート･パワーオフ機能ではありませんか？**
本機では、5分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。（オート・パワーオフ）

● **操作を間違えませんでしたか？**
本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

(印刷)を押しても何も印刷されない

● **文章が入力されていますか？**
テキスト画面や特殊フォームに何も入力されていないと印刷はされません。

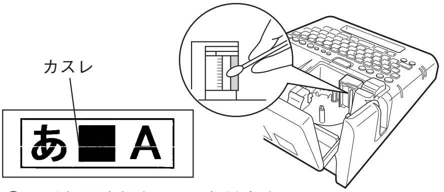
● **オートトリマーが動作中ではありませんか？**
オートトリマー使用中は、印刷できません。

● **消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？**
テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかり閉じてください。

文字がきちんと印刷されない

● **テープカートリッジは正しくセットされていますか？**
テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順にしたがってセットしてください。
参照 P.28「3.テープカートリッジをセットする」

● **印刷ヘッドが汚れていませんか？**
印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。同梱のヘッド・クリーニングテープ（SR36C）または別売のヘッド・クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。
参照 P.160「お手入れについて」



● **電池が消耗していませんか？**
電池が消耗すると「電池が消耗しました新しい電池を正しくセットしてください！」が表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ（AS1527J）を使用してください。電池を交換せずに使いつづけると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

ラベルを印刷後、オートカットされない

● **自動カットを「しない」に設定していませんか？**
印刷設定の自動カットを「しない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。
参照 P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

● **カッターの刃が磨耗していませんか？**
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 P.184「アフターサービスについて」

文章の途中までしか印刷されない

● **テープカートリッジにテープの残りがありますか？**
テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。
参照 P.28「3.テープカートリッジをセットする」

● **電池が消耗していませんか？**
電池が消耗すると「電池が消耗しました新しい電池を正しくセットしてください！」が表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ（AS1527J）を使用してください。電池を交換せずに使いつづけると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

ハーフカットがうまくできない

● **ハーフカットは「する」になっていますか？**
印刷設定の自動カットでハーフカットを「しない」に設定すると、ハーフカットはおこなわれません。
参照 P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

● **自動カット「しない」になっていませんか？**
印刷設定の自動カットが「しない」になっている場合はハーフカットも動作しません。
参照 P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

● **ハーフカットのできないラベルを使用していませんか？**
本機のカッターでハーフカットできないラベルを使用している場合は、ハーフカットを「しない」に設定してください。
参照 P.58「印刷時の自動カット／ハーフカットを設定する」

● **ハーフカットの刃が磨耗していませんか？**
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると、磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 P.184「アフターサービスについて」

オートトリマーでうまくカットできない

● **印刷中ではありませんか？**
テープ印刷中はオートトリマーが作動しません。

● **ラベルをトリマー差込み口にきちんと差し込んでいますか？**
ラベルをガイドに合わせず差し込むときれいにカットできません。ガイドに沿ってラベルを差し込んでください。
参照 ☞P.61「カドを丸く仕上げる」

● **切りクズがつまっていませんか？**
カド丸トレーをはずし、トリマーの切りクズを取り除いてください。
参照 ☞P.62「オートトリマーのお手入れ」

● **4mm、6mm幅テープをカットしようとしていませんか？**
4mm、6mm幅テープはオートトリマーでカットすることはできません。トリマー（RT36W）を使ってカットしてください。
参照 ☞ P.11「別売品のご案内」

● **オートトリマーでカットのできないラベルを使用していませんか？**
本機のオートトリマーでカットできないラベルはオートトリマーに差し込まないでください。
参照 ☞ P.61「カドを丸く仕上げる」

● **オートトリマーの刃が磨耗していませんか？**
オートトリマーの刃は、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 ☞ P.184「アフターサービスについて」

ファイルの内容が消えてしまった

● **本機の初期化をしましたか？**
本機の初期化をおこなうと、ファイル・あて名・外字・辞書登録などのデータがすべて失われます。
参照 ☞P.145「本機を初期化する」

● **動作中にACアダプタや電池を抜きませんでしたか？**
ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」、電源を切るときの「電源を切る準備をしています」が表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

ラベルを貼り付けることができない

● **裏紙をはがしていますか？**
粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。
参照 ☞P.46「7.ラベルを貼る」

● **貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？**
表面がザラザラしている場所や、ホコリ・油のついている場所には貼り付けられません。

MEMO
上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 ☞P.184「アフターサービスについて」

付録

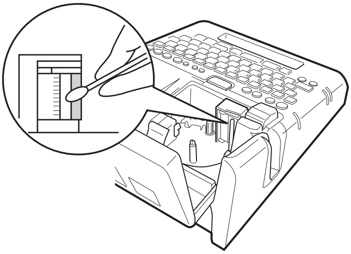
お手入れについて

■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれ布巾で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。同梱のヘッド・クリーニングテープ（SR36C）または別売のヘッド・クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



ヘッド・クリーニングテープを使う

ヘッドクリーニングをおこなう

❶ ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする

❷ [シフト]を押しながら(印刷)(＝ テープ送り)を押す

❸ 「テープ送り」を選び、[選択 改行]を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド･クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1～2回 おこなってください。

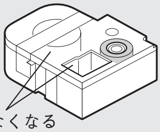
参照☞P.31「5.テープ送りをする」

!! 注意 !!

- 使用後は元の箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ・砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドを傷める原因になります。

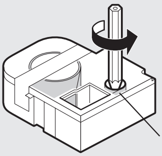
- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドを傷める原因となります。

- 図のようにテープがすべて「巻き取りコア」に巻き取られたら、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドを傷めるおそれがありますので、ご使用にならないでください。


白いテープがなくなる

MEMO

- 本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープはSR36Cをお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみをとってください。


巻き取りコア

- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド･クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめにみえますが、約120回のクリーニングが可能です。

付
録

●入力文字一覧表

文字ボタン配列

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	¥	^	–
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	~	「	
A	S	D	F	G	H	J	K	L	;	:	」	
Z	X	C	V	B	N	M	、	。	/	・		

入力文字表

「大」は シフト を押していない状態、「小」は シフト を押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かな		ABC	
	大	小	大	小	大	小
1	1	!	ぬ	!	1	!
2	2	@	ふ	@	2	@
3	3	#	あ	ぁ	3	#
4	4	$	う	ぅ	4	$
5	5	%	え	ぇ	5	%
6	6	&	お	ぉ	6	&
7	7	'	や	ゃ	7	'
8	8	*	ゆ	ゅ	8	*
9	9	(	よ	ょ	9	(
0	0	)	わ	を	0	)
¥	¥	＝	ほ	ほ	¥	＝
∧	∧	∧	へ	へ	∧	∧
–	ー	—	ー	ー	-	—
Q	Q	q	た	た	Q	q
W	W	w	て	て	W	w
E	E	e	い	ぃ	E	e
R	R	r	す	す	R	r
T	T	t	か	か	T	t
Y	Y	y	ん	ん	Y	y
U	U	u	な	な	U	u
I	I	i	に	に	I	i
O	O	o	ら	ら	O	o
P	P	p	せ	せ	P	p
~	~	÷	゛	~	~	÷
「	「	{	゜	「	[	{

ボタン	ローマ字		かな		ABC	
	大	小	大	小	大	小
A	A	a	ち	ち	A	a
S	S	s	と	と	S	s
D	D	d	し	し	D	d
F	F	f	は	は	F	f
G	G	g	き	き	G	g
H	H	h	く	く	H	h
J	J	j	ま	ま	J	j
K	K	k	の	の	K	k
L	L	l	り	り	L	l
;	;	＋	れ	れ	;	＋
:	:	×	け	け	:	×
」	」	}	む	」	]	}
Z	Z	z	つ	っ	Z	z
X	X	x	さ	さ	X	x
C	C	c	そ	そ	C	c
V	V	v	ひ	ひ	V	v
B	B	b	こ	こ	B	b
N	N	n	み	み	N	n
M	M	m	も	も	M	m
、	、	,	ね	、	,	,
。	。	.	る	。	.	.
/	/	?	め	?	/	?
・	・	・	ろ	・	・	・

注1：ボタン ~ の「゛」とボタン 「 の「゜」は単独では入力、印刷できません。
注2：ボタン – で入力できる文字は次のとおりです。
　　ローマ字(大)、かな：「ー」(長音)
　　ローマ字(小)、ABC(小)：「—」(マイナス)
　　ABC(大)：「-」(ハイフン)
注3：ボタン 。 の「.」はピリオドです。

付録

漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード･シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照 P.141「読みのわからない漢字を入力する(コード入力)」

!! 注意 !!

- 漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。
  参照 P.141「読みのわからない漢字を入力する(コード入力)」
- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS第1水準

*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1601～1609		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610～1619	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620～1629	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630～1639	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640～1641	鞍	杏								
イ	1642～1649			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	1650～1659	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660～1669	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670～1679	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680～1689	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690～1694	引	飲	淫	胤	蔭					
	1701～1705		院	陰	隠	韻	吋				
ウ	1706～1709							右	宇	烏	羽
	1710～1719	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720～1729	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730～1732	云	運	雲							
エ	1733～1739				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	1740～1749	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750～1759	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760～1769	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770～1779	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780～1786	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
オ	1787～1789								於	汚	甥
	1790～1794	凹	央	奥	往	応					
	1801～1809		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	1810～1819	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820～1827	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
カ	1828～1829									下	化
	1830～1839	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840～1849	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	1850～1859	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860～1869	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870～1879	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ	1880～1889	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890～1894	恢	懐	戒	拐	改					
	1901～1909		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910～1919	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920～1929	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930～1939	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940～1949	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950～1959	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960～1969	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970～1979	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980～1989	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	1990～1994	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2001～2009		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010～2019	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020～2029	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030～2039	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040～2049	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050～2059	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060～2069	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070～2074	贋	雁	頑	顔	願					
キ	2075～2079						企	伎	危	喜	器
	2080～2089	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090～2094	旗	既	期	棋	棄					
	2101～2109		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110～2119	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120～2129	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	2130～2139	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140～2149	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150～2159	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160～2169	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170～2179	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180～2189	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190～2194	禦	魚	亨	享	京					
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2201～2209		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210～2219	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220～2229	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	2230～2239	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240～2249	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250～2259	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260～2268	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
ク	2269										九
	2270～2279	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280～2289	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290～2294	串	櫛	釧	屑	屈					
	2301～2309		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310～2319	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡									
ケ	2321～2329		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	2330～2339	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340～2349	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	2350～2359	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360～2369	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370～2379	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380～2389	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390～2394	建	憲	懸	拳	捲					
	2401～2409		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	2410～2419	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420～2429	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430～2434	絃	舷	言	諺	限					
コ	2435～2439						乎	個	古	呼	固
	2440～2449	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450～2459	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460～2469	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470～2479	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480～2489	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490～2494	効	勾	厚	口	向					
	2501～2509		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510～2519	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520～2529	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530～2539	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540～2549	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550～2559	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560～2569	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570～2579	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580～2589	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590～2594	忽	惚	骨	狛	込					
	2601～2609		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610～2618	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
サ	2619										些
	2620～2629	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630～2639	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640～2649	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650～2659	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	2660～2669	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670～2679	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680～2689	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690～2694	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2701～2709		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710～2719	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720～2729	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730～2736	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
シ	2737～2739								仕	仔	伺
	2740～2749	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750～2759	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760～2769	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770～2779	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780～2789	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790～2794	字	寺	慈	持	時					
	2801～2809		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810～2819	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	2820～2829	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830～2839	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840～2849	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	2850～2859	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860～2869	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870～2879	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880～2889	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890～2894	綬	需	囚	収	周					
	2901～2909		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910～2919	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920～2929	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930～2939	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2940～2949	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950～2959	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960～2969	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970～2979	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980～2989	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990～2994	恕	鋤	除	傷	償					
	3001～3009		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010～3019	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020～3029	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030～3039	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040～3049	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050～3059	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060～3069	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070～3079	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080～3089	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090～3094	醸	錠	嘱	埴	飾					
	3101～3109		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110～3119	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120～3129	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	3130～3139	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	3140～3149	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付録

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	3150～3157	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
ス	3158～3159									笥	諏
	3160～3169	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170～3179	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180～3189	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190～3194	椙	菅	頗	雀	裾					
	3201～3203		澄	摺	寸						
セ	3204～3209					世	瀬	畝	是	凄	制
	3210～3219	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220～3229	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230～3239	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240～3249	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250～3259	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260～3269	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	3270～3279	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280～3289	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290～3294	煽	旋	穿	箭	線					
	3301～3309		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	3310～3319	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320～3324	全	禅	繕	膳	糎					
ソ	3325～3329						噌	塑	岨	措	曾
	3330～3339	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340～3349	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	3350～3359	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360～3369	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370～3379	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380～3389	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390～3394	霜	騒	像	増	憎					
	3401～3409		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	3410～3419	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420～3429	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
タ	3430～3439	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440～3449	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450～3459	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460～3469	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470～3479	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480～3489	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490～3494	諾	茸	凧	蛸	只					
	3501～3509		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	3510～3519	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520～3529	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530～3539	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540～3544	暖	檀	段	男	談					
チ	3545～3549						値	知	地	弛	恥
	3550～3559	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560～3569	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	3570～3579	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580～3589	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590～3594	丁	兆	凋	喋	寵					
	3601～3609		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チ	3610～3619	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620～3629	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630～3636	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
ツ	3637～3639								津	墜	椎
	3640～3649	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3650～3659	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	3660～3665	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
テ	3666～3669							亭	低	停	偵
	3670～3679	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680～3689	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690～3694	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3701～3709		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710～3719	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720～3729	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730～3737	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
ト	3738～3739									兎	吐
	3740～3749	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750～3759	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760～3769	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770～3779	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780～3789	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790～3794	答	筒	糖	統	到					
	3801～3809		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810～3819	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820～3829	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3830～3839	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840～3849	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	3850～3859	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860～3863	頓	呑	曇	鈍						
ナ	3864～3869					奈	那	内	乍	凪	薙
	3870～3879	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880～3882	軟	難	汝							
ニ	3883～3889				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	3890～3894	虹	廿	日	乳	入					
	3901～3907		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ヌ	3908									濡	
ネ	3909										禰
	3910～3919	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘									
ノ	3921～3929		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	3930～3934	脳	膿	農	覗	蚤					
ハ	3935～3939						巴	把	播	覇	杷
	3940～3949	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950～3959	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960～3969	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970～3979	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980～3989	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990～3994	爆	縛	莫	駁	麦					
	4001～4009		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010～4019	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ハ	4020～4029	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030～4039	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040～4049	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050～4058	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ヒ	4059										匪
	4060～4069	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070～4079	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080～4089	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090～4094	枇	毘	琵	眉	美					
	4101～4109		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110～4119	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120～4129	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130～4139	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140～4149	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150～4151	敏	瓶								
フ	4152～4159			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	4160～4169	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170～4179	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180～4189	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190～4194	伏	副	復	幅	服					
	4201～4209		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	4210～4219	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220～4225	粉	糞	紛	雰	文	聞				
ヘ	4226～4229							丙	併	兵	塀
	4230～4239	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240～4249	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	4250～4259	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭									
ホ	4261～4269		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	4270～4279	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280～4289	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290～4294	抱	捧	放	方	朋					
	4301～4309		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310～4319	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320～4329	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330～4339	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340～4349	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350～4359	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360～4363	本	翻	凡	盆						
マ	4364～4369					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370～4379	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380～4389	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390～4394	繭	麿	万	慢	満					
	4401～4402		漫	蔓							
ミ	4403～4409				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	4410～4418	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
ム	4419										務
	4420～4428	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
メ	4429										冥
	4430～4439	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
メ	4440～4445	免	棉	綿	緬	面	麺				
モ	4446～4449							摸	模	茂	妄
	4450～4459	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	4460～4469	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	4470～4472	紋	門	匁							
ヤ	4473～4479				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480～4489	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓									
ユ	4491～4494		愉	愈	油	癒					
	4501～4509		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4510～4519	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520～4528	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
ヨ	4529										予
	4530～4539	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540～4549	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4550～4559	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560～4568	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ラ	4569										羅
	4570～4579	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580～4587	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
リ	4588～4589									利	吏
	4590～4594	履	李	梨	理	璃					
	4601～4609		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610～4619	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	4620～4629	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	4630～4639	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640～4649	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650～4659	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ル	4660～4664	瑠	塁	涙	累	類					
レ	4665～4669						令	伶	例	冷	励
	4670～4679	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680～4689	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	4690～4694	漣	煉	簾	練	聯					
	4701～4703		蓮	連	錬						
ロ	4704～4709					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	4710～4719	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	4720～4729	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	4730～4732	肋	録	論							
ワ	4733～4739				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	4740～4749	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	4750～4751	碗	腕								
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付録

JIS第2水準

＊の欄の数字は区点コードの下１桁を表します。
従って「丼」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4801～4809		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
4810～4819	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
4820～4829	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
4830～4839	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
4840～4849	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
4850～4859	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
4860～4869	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
4870～4879	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
4880～4889	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
4890～4899	傀	傚	傅	傴	傲					
4901～4909		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
4910～4919	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
4920～4929	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
4930～4939	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
4940～4949	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
4950～4959	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
4960～4969	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
4970～4979	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
4980～4989	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
4990～4999	劒	剱	劈	劑	辨					
5001～5009		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
5010～5019	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
5020～5029	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
5030～5039	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
5040～5049	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
5050～5059	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
5060～5069	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
5070～5079	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5080～5089	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
5090～5099	咥	咬	哄	哈	咨					
5101～5109		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
5110～5119	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
5120～5129	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
5130～5139	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
5140～5149	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
5150～5159	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
5160～5169	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
5170～5179	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
5180～5189	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
5190～5199	囹	圀	囿	圄	圉					
5201～5209		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
5210～5219	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
5220～5229	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
5235～5239	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5240～5249	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
5250～5259	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
5260～5269	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
5270～5279	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5280～5289	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
5290～5299	奢	奠	奧	奬	奩					
5301～5309		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
5310～5319	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
5320～5329	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
5330～5339	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
5340～5349	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
5350～5359	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
5360～5369	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
5370～5379	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5380～5389	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
5390～5399	尹	屁	屆	屎	屓					
5401～5409		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
5410～5419	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
5420～5429	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
5430～5439	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
5440～5449	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
5450～5459	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
5460～5469	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
5470～5479	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5480～5489	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
5490～5499	廁	廂	廈	廐	廏					
5501～5509		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
5510～5519	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
5520～5529	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
5530～5539	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
5540～5549	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
5550～5559	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
5560～5569	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
5570～5579	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5580～5589	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
5590～5599	悁	悍	惧	悃	悚					
5601～5609		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
5610～5619	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
5620～5629	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
5630～5639	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
5640～5649	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
5650～5659	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
5660～5669	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
5670～5679	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5680～5689	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
5690～5699	戉	戍	戌	戔	戛					
5701～5709		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
5710～5719	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
5720～5729	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
5730～5739	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5740～5749	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
5750～5759	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
5760～5769	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
5770～5779	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5780～5789	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
5790～5799	撓	撥	撩	撈	撼					
5801～5809		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
5810～5819	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
5820～5829	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
5830～5839	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
5840～5849	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
5850～5859	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
5860～5869	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
5870～5879	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5880～5889	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
5890～5899	曁	暹	曉	暾	暼					
5901～5909		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
5910～5919	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
5920～5929	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
5930～5939	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
5940～5949	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
5950～5959	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
5960～5969	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
5970～5979	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
5980～5989	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
5990～5999	椢	椦	棡	椌	棍					
6001～6009		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
6010～6019	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
6020～6029	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
6030～6039	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
6040～6049	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
6050～6059	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
6060～6069	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
6070～6079	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
6080～6089	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
6090～6099	檍	檠	檄	檢	檣					
6101～6109		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
6110～6119	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
6120～6129	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
6130～6139	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
6140～6149	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
6150～6159	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
6160～6169	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
6170～6179	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
6180～6189	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
6190～6199	泅	泝	沮	沱	沾					
6201～6209		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
6210～6219	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
6220～6229	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
6230～6239	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6240～6249	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
6250～6259	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
6260～6269	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
6270～6279	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
6280～6289	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
6290～6299	滲	漱	滯	漲	滌					
6301～6309		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
6310～6319	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
6320～6329	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
6330～6339	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
6340～6349	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
6350～6359	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
6360～6369	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
6370～6379	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
6380～6389	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
6390～9399	燠	燬	燧	燵	燼					
6401～6409		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
6410～6419	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
6420～6429	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
6430～6439	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
6440～6449	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
6450～6459	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
6460～6469	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
6470～6479	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6480～6489	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
6490～6499	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
6501～6509		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
6510～6519	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
6520～6529	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
6530～6539	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
6540～6549	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
6550～6559	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
6560～6569	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
6570～6579	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6580～6589	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
6590～6599	癩	癪	癧	癬	癰					
6601～6609		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
6610～6619	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
6620～6629	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
6630～6639	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
6640～6649	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
6650～6659	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
6660～6669	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
6670～6679	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
6680～6689	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
6690～6699	碾	碼	磅	磊	磬					
6701～6709		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
6710～6719	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
6720～6729	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
6730～6739	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6740～6749	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
6750～6759	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
6760～6769	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
6770～6779	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6780～6789	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
6790～6799	笞	笵	笨	笶	筐					
6801～6809		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
6810～6819	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
6820～6829	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
6830～6839	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
6840～6849	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
6850～6859	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
6860～6869	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
6870～6879	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6880～6889	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
6890～6899	糲	糴	糶	糺	紆					
6901～6909		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
6910～6919	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
6920～6929	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
6930～6939	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
6940～6949	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
6950～6959	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
6960～6969	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
6970～6979	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6980～6989	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
6990～6999	纎	纛	纜	缸	缺					
7001～7009		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
7010～7019	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
7020～7029	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
7030～7039	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
7040～7049	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
7050～7059	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
7060～7069	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
7070～7079	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
7080～7089	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
7090～7099	脛	脩	脣	脯	腋					
7101～7109		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
7110～7119	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
7120～7129	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
7130～7139	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
7140～7149	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
7150～7159	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
7160～7169	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
7170～7179	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
7180～7189	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
7190～7199	苞	茆	苜	茉	苙					
7201～7209		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
7210～7219	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
7220～7229	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
7230～7239	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7240～7249	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
7250～7259	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
7260～7269	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
7270～7279	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
7280～7289	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
7290～7299	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
7301～7309		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
7310～7319	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
7320～7329	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
7330～7339	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
7340～7349	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
7350～7359	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
7360～7369	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
7370～7379	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
7380～7389	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
7390～7399	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
7401～7409		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
7410～7419	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
7420～7429	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
7430～7439	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
7440～7449	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
7450～7459	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
7460～7469	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
7470～7479	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
7480～7489	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
7490～7499	褸	襌	褝	襠	襞					
7501～7509		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
7510～7519	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
7520～7529	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
7530～7539	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
7540～7549	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
7550～7559	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
7560～7569	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
7570～7579	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
7580～7589	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
7590～7599	證	譖	譛	譚	譫					
7601～7609		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
7610～7619	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
7620～7629	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
7630～7639	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
7640～7649	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
7650～7659	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
7660～7669	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
7670～7679	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
7680～7689	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
7690～7699	蹂	踵	踰	踴	蹊					
7701～7709		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
7710～7719	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
7720～7729	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
7730～7739	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

付

録

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
7740～7749	軾 輊 輅 輕 輒 輙 輓 輜 輟 輛
7750～7759	輌 輦 輳 輻 輹 轅 轂 輾 轌 轉
7760～7769	轆 轎 轗 轜 轢 轣 轤 辜 辟 辣
7770～7779	辭 辯 辷 迚 迥 迢 迪 迯 邇 迴
7780～7789	逅 迹 迺 逑 逕 逡 逍 逞 逖 逋
7790～7799	逧 逶 逵 逹 迸
7801～7809	遏 遐 遑 遒 逎 遉 逾 遖 遘
7810～7819	遞 遨 遯 遶 隨 遲 邂 遽 邁 邀
7820～7829	邊 邉 邏 邨 邯 邱 邵 郢 郤 扈
7830～7839	郛 鄂 鄒 鄙 鄲 鄰 酊 酖 酘 酣
7840～7849	酥 酩 酳 酲 醋 醉 醂 醢 醫 醯
7850～7859	醪 醵 醴 醺 釀 釁 釉 釋 釐 釖
7860～7869	釟 釡 釛 釼 釵 釶 鈞 釿 鈔 鈬
7870～7879	鈕 鈑 鉞 鉗 鉅 鉉 鉤 鉈 銕 鈿
7880～7889	鉋 鉐 銜 銖 銓 銛 鉚 鋏 銹 銷
7890～7899	鋩 錏 鋺 鍄 錮
7901～7909	錙 錢 錚 錣 錺 錵 錻 鍜 鍠
7910～7919	鍼 鍮 鍖 鎰 鎬 鎭 鎔 鎹 鏖 鏗
7920～7929	鏨 鏥 鏘 鏃 鏝 鏐 鏈 鏤 鐚 鐔
7930～7939	鐓 鐃 鐇 鐐 鐶 鐫 鐵 鐡 鐺 鑁
7940～7949	鑒 鑄 鑛 鑠 鑢 鑞 鑪 鈩 鑰 鑵
7950～7959	鑷 鑽 鑚 鑼 鑾 钁 鑿 閂 閇 閊
7960～7969	閔 閖 閘 閙 閠 閨 閧 閭 閼 閻
7970～7979	閹 閾 闊 濶 闃 闍 闌 闕 闔 闖
7980～7989	關 闡 闥 闢 阡 阨 阮 阯 陂 陌
7990～7999	陏 陋 陷 陜 陞
8001～8009	陝 陟 陦 陲 陬 隍 隘 隕 隗
8010～8019	險 隧 隱 隲 隰 隴 隶 隸 隹 雎
8020～8029	雋 雉 雍 襍 雜 霍 雕 雹 霄 霆
8030～8039	霈 霓 霎 霑 霏 霖 霙 霤 霪 霰
8040～8049	霹 霽 霾 靄 靆 靈 靂 靉 靜 靠
8050～8059	靤 靦 靨 勒 靫 靱 靹 鞅 靼 鞁
8060～8069	靺 鞆 鞋 鞏 鞐 鞜 鞨 鞦 鞣 鞳
8070～8079	鞴 韃 韆 韈 韋 韜 韭 齏 韲 竟
8080～8089	韶 韵 頏 頌 頸 頤 頡 頷 頽 顆
8090～8099	顏 顋 顫 顯 顰
8101～8109	顱 顴 顳 颪 颯 颱 颶 飄 飃
8110～8119	飆 飩 飫 餃 餉 餒 餔 餘 餡 餝
8120～8129	餞 餤 餠 餬 餮 餽 餾 饂 饉 饅
8130～8139	饐 饋 饑 饒 饌 饕 馗 馘 馥 馭
8140～8149	馮 馼 駟 駛 駝 駘 駑 駭 駮 駱
8150～8159	駲 駻 駸 騁 騏 騅 駢 騙 騫 騷
8160～8169	驅 驂 驀 驃 騾 驕 驍 驛 驗 驟
8170～8179	驢 驥 驤 驩 驫 驪 骭 骰 骼 髀
8180～8189	髏 髑 髓 體 髞 髟 髢 髣 髦 髯
8190～8199	髫 髮 髴 髱 髷
8201～8209	髻 鬆 鬘 鬚 鬟 鬢 鬣 鬥 鬧
8210～8219	鬨 鬩 鬪 鬮 鬯 鬲 魄 魃 魏 魍
8220～8229	魎 魑 魘 魴 鮓 鮃 鮑 鮖 鮗 鮟
8230～8239	鮠 鮨 鮴 鯀 鯊 鮹 鯆 鯏 鯑 鯒
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
8240～8249	鯣 鯢 鯤 鯔 鯡 鰺 鯲 鯱 鯰 鰕
8250～8259	鰔 鰉 鰓 鰌 鰆 鰈 鰒 鰊 鰄 鰮
8260～8269	鰛 鰥 鰤 鰡 鰰 鱇 鰲 鱆 鰾 鱚
8270～8279	鱠 鱧 鱶 鱸 鳧 鳬 鳰 鴉 鴈 鳫
8280～8289	鴃 鴆 鴪 鴦 鶯 鴣 鴟 鵄 鴕 鴒
8290～8299	鵁 鴿 鴾 鵆 鵈
8301～8309	鵝 鵞 鵤 鵑 鵐 鵙 鵲 鶉 鶇
8310～8319	鶫 鵯 鵺 鶚 鶤 鶩 鶲 鷄 鷁 鶻
8320～8329	鶸 鶺 鷆 鷏 鷂 鷙 鷓 鷸 鷦 鷭
8330～8339	鷯 鷽 鸚 鸛 鸞 鹵 鹹 鹽 麁 麈
8340～8349	麋 麌 麒 麕 麑 麝 麥 麩 麸 麪
8350～8359	麭 靡 黌 黎 黏 黐 黔 黜 點 黝
8360～8369	黠 黥 黨 黯 黴 黶 黷 黹 黻 黼
8370～8379	黽 鼇 鼈 皷 鼕 鼡 鼬 鼾 齊 齒
8380～8389	齔 齣 齟 齠 齡 齦 齧 齬 齪 齷
8390～8399	齲 齶 龕 龜 龠
8401～8409	堯 槇 遙 瑤 凜 熙
8410～8419	
8420～8429	
8430～8439	
8440～8449	
8450～8459	
8460～8469	
8470～8479	
8480～8489	
8490～8499	
区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

その他

文字上の数字はコードの下2桁を表します。

	コード
85	01 鷗 02 葛 03 祇 04 麴 05 鯖 06 錆 07 繡 08 騨 09 琢 10 啄 11 樽 12 塚 13 摑 14 塡 15 潑 16 醱 17 﨑 18 栞 19 瀆 20 髙 21 𠮷 22 槗 23 曻 24 栁 25 榊 26 彅 27 捗 28 醬 29 麵

付

録

記号一覧表

!! 注意 !!
記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。

記述

、 。 ， ． ・ ： ；
「 」 ？ ！ ー ‐ ／
＼ ～ ＠ ￣ ＿ § †
‡ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝
々 〆 …‥ ※ ＊

省略

ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々
〆 …‥ ＃ № ＆ 〒
〠 © ® ㊙ ㊞ (済) ㊟
(控) (検) (問) (答) ㊗ ㊡ (祭)
㈹ (内) (直) (呼) ㈱ K.K. ㈲
㈶ ㈳ ㈵ ㈻ TEL FAX

カッコ

‘ ’ “ ” （ ） 〔
〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉
《 》 「 」 『 』 【
】

矢印

→ ← ↑ ↓ ↘ ↖ ↗
↙ ➡ ⬅ ⬆ ⬇ ↔ ↕

○△□☆

○ ● ◎ △ ▲ ▽ ▼
◇ ◆ □ ■ ☆ ★ ◇
♦ ♤ ♠ ♡ ♥ ♧ ♣

単位

% ‰ μm mm cm m km
ft mile cm² m² a ha km²
cm³ m³ mg g kg t cc
mℓ dℓ ℓ kℓ mol ¥ (円)
$ € £ Fr ¢ A V
Ω W kW Hz dB HP Å
@ ° ′ ″ ℃ ℉ ct

算数

＋ － ± × ÷ ＝ ≠
＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ≡
≒ √ ∽ ∧ ∫

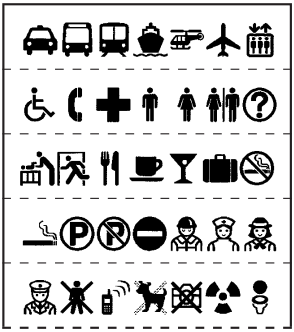
数字

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭
⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ○
一 二 三 四 五 六 七
八 九 Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ
Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ⅰ ⅱ
ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ
ⅹ $_{1}$ $_{2}$ $_{3}$ $_{4}$ $_{5}$ $_{6}$
$_{7}$ $_{8}$ $_{9}$ $_{0}$ ^{1} ^{2} ^{3}
^{4} ^{5} ^{6} ^{7} ^{8} ^{9} ^{0}
$^{+}$ $^{-}$ ½ ⅓ ⅔ ¼ ¾

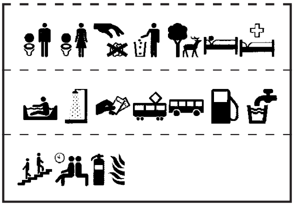
2桁数字

00～99

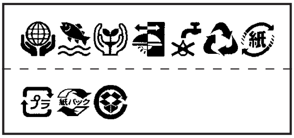
公共表示



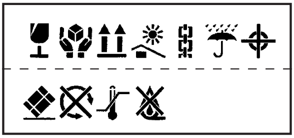
公共表示（続き）



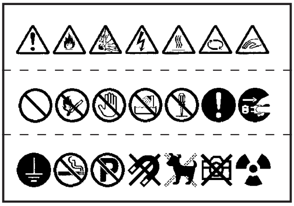
環境



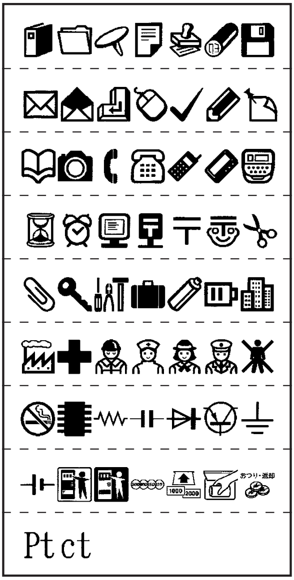
荷物



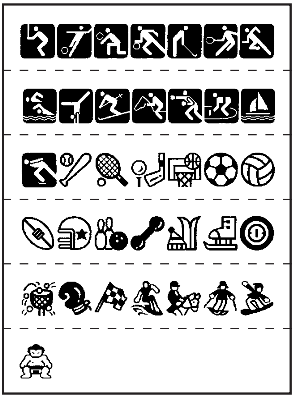
警告用



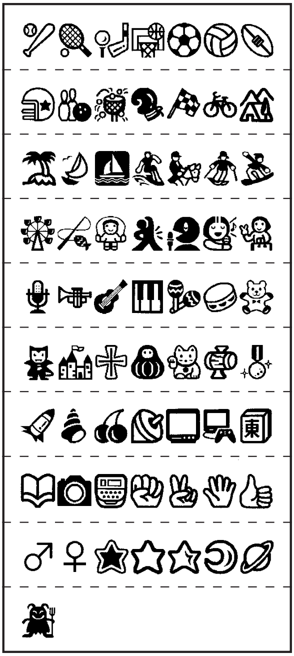
仕事



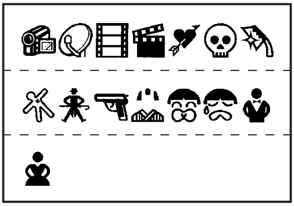
スポーツ



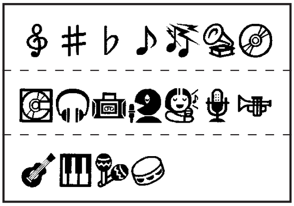
遊び



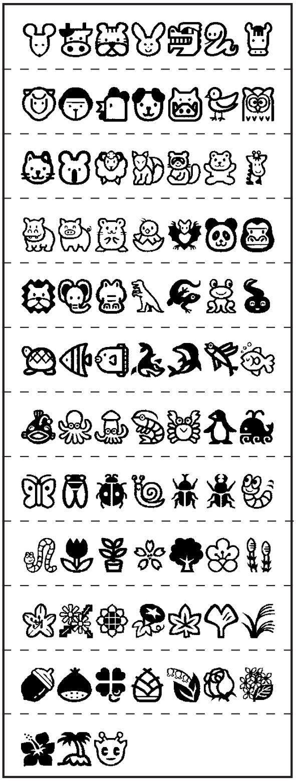
ビデオ



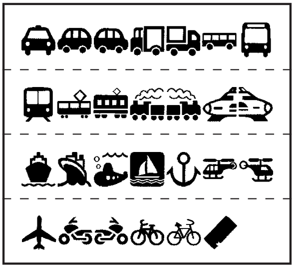
音楽



生き物

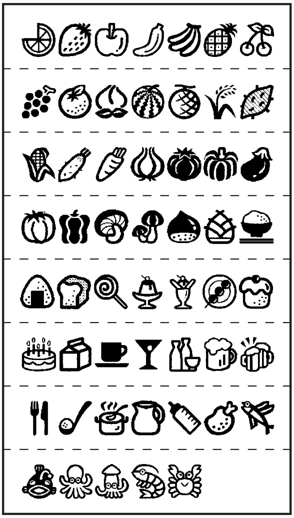


乗り物

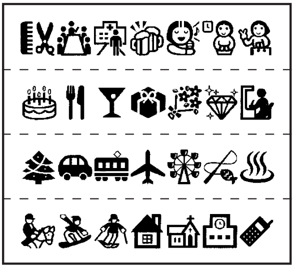


付録

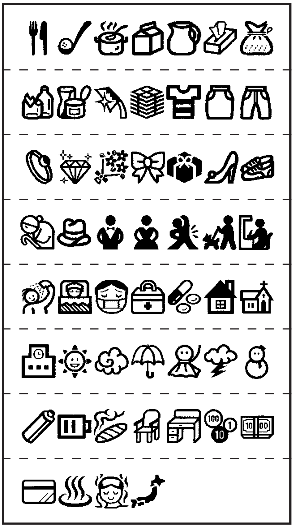
食べ物



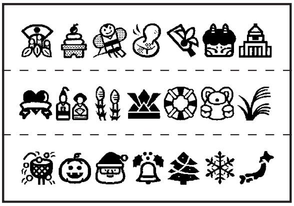
予定



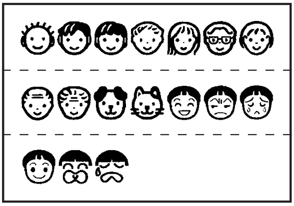
暮らし



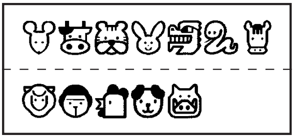
シーズン



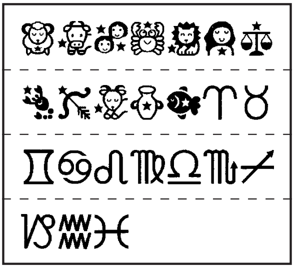
家族



干支



星座



ギリシャ

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η
Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ
Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ
Χ Ψ Ω α β γ δ
ε ζ η θ ι κ λ
μ ν ξ ο π ρ σ
τ υ φ χ ψ ω

ロシア

А Б В Г Д Е Ё
Ж З И Й К Л М
Н О П Р С Т У
Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ
Ы Ь Э Ю Я а б
в г д е ё ж з
и й к л м н о
п р с т у ф х
ц ч ш щ ъ ы ь
э ю я

欧州

ä ë ï ö ü Ä Ë
Ï Ö Ü á é í ó
ú Á É Í Ó Ú à
è ì ò ù À È Ì
Ò Ù â ê î ô û
Â Ê Î Ô Û ñ Ñ
ß Ç ç Œ œ ¿ ¡

編集

罫 ␣

合成

⃠○×□□

付録

ローマ字変換表

あ	あ A	い I YI	う U WU	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA		ゆ YU		よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA				を WO
ん	ん N+(Y以外の子音または、アポストロフィー「’」) (例) N+N→ん　N+P→んP　N+「’」→ん				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	きゃ KYA	きぃ KYI	きゅ KYU	きぇ KYE	きょ KYO
しゃ	しゃ SYA SHA	しぃ SYI	しゅ SYU SHU	しぇ SYE SHE	しょ SYO SHO
ちゃ	ちゃ TYA CHA CYA	ちぃ TYI CYI	ちゅ TYU CHU CYU	ちぇ TYE CHE CYE	ちょ TYO CHO CYO
てゃ	てゃ THA	てぃ THI	てゅ THU	てぇ THE	てょ THO
にゃ	にゃ NYA	にぃ NYI	にゅ NYU	にぇ NYE	にょ NYO
ひゃ	ひゃ HYA	ひぃ HYI	ひゅ HYU	ひぇ HYE	ひょ HYO
みゃ	みゃ MYA	みぃ MYI	みゅ MYU	みぇ MYE	みょ MYO

りゃ	りゃ RYA	りぃ RYI	りゅ RYU	りぇ RYE	りょ RYO
ぎゃ	ぎゃ GYA	ぎぃ GYI	ぎゅ GYU	ぎぇ GYE	ぎょ GYO
じゃ	じゃ ZYA JA JYA	じぃ ZYI JYI	じゅ ZYU JU JYU	じぇ ZYE JE JYE	じょ ZYO JO JYO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢぃ DYI	ぢゅ DYU	ぢぇ DYE	ぢょ DYO
びゃ	びゃ BYA	びぃ BYI	びゅ BYU	びぇ BYE	びょ BYO
ぴゃ	ぴゃ PYA	ぴぃ PYI	ぴゅ PYU	ぴぇ PYE	ぴょ PYO
つぁ	つぁ TSA	つぃ TSI		つぇ TSE	つぉ TSO
でゃ	でゃ DHA	でぃ DHI	でゅ DHU	でぇ DHE	でょ DHO
ふぁ	ふぁ FA	ふぃ FI FYI		ふぇ FE FYE	ふぉ FO
ふゃ	ふゃ FYA	ふぃ FYI FI	ふゅ FYU	ふぇ FYE FE	ふょ FYO
ゔぁ	ゔぁ VA	ゔぃ VI	ゔ VU	ゔぇ VE	ゔぉ VO
ぁ	ぁ LA XA	ぃ LI XI LYI XYI	ぅ LU XU	ぇ LE XE LYE XYE	ぉ LO XO
ゕ	ゕ LKA XKA			ゖ LKE XKE	
っ			っ LTU XTU 同一の子音＋子音＝っ＋子音 (N以外有効)		
ゃ	ゃ LYA XYA		ゅ LYU XYU		ょ LYO XYO

付録

おもな仕様

■入力

入力装置	JIS配列準拠キーボード式（70鍵） 文字ボタン48、機能ボタン22
入力状態	JIS配列準拠ローマ字入力 JIS配列準拠かな入力 JIS配列準拠ABC入力 小文字入力、小文字ロック（ABC入力時のみ）、記号入力、外字入力、コピー機能（30文字まで）、コード変換入力（区点コード･JISコード･シフトJISコード）
漢字変換方式	ATOK for テプラ（学習機能付き連文節変換） 搭載語句数 約88,000語（追加可能）

■表示

表示装置	ドットマトリクスFSTN液晶パネル（4階調）
文字表示	256dot×80dot（15chr×5line）
表示濃度	-5～0～+5（11段階）
インジケーター	48個
LED	3個

■記憶

文章メモリー	約500文字
内蔵ファイル	可変長データ式（あて名・名前と共用） 約10,000文字/最大100ファイル
辞書登録	最大50件
外字登録	ビットマップフルライン自動拡大登録 フルライン（16・24・32・40・48ドット）×10文字
地紋データ登録	文字地紋1件 創作地紋4件
あて名登録	最大100件
名前登録	最大40件
印刷履歴	最大5件
拡張機能	データ転送ソフト「DATAメモリーシステム」SDM9でパソコンにデータ転送（ファイル、あて名、名前、外字）が可能

付
録

■フォント

内蔵文字数	全7,643文字 漢字 JIS第1水準2,965文字 漢字 JIS第2水準3,390文字 漢字 その他29文字 ひらがな・カタカナ192文字 英数字・記号・その他
内蔵フォント	アウトラインフォント 明朝体：漢字書体・かな書体・英数書体 太型明朝体：漢字書体・かな書体・英数書体 ゴシック体：漢字書体・かな書体・英数書体 太型ゴシック体：漢字書体・かな書体・英数書体 丸ゴシック体：漢字書体・かな書体・英数書体 太型丸ゴシック体：漢字書体・かな書体・英数書体 行書体：漢字書体・かな書体・英数書体 太型行書体：漢字書体・かな書体・英数書体 ペン行書体：漢字書体・かな書体・英数書体 波ゴ体：漢字書体・かな書体・英数書体 えれん体：かな書体 太型えれん体：かな書体 ハッピ体：かな書体 太型ハッピ体：かな書体 サンセリフHV体：英数書体 太型サンセリフHV体：英数書体 スクリプトBR体：英数書体 太型スクリプトBR体：英数書体 サンセリフST体：英数書体 太型サンセリフST体：英数書体 スクリプトPL体：英数書体 太型スクリプトPL体：英数書体

■印刷

印刷方式	熱転写PRO印刷方式
印刷濃度	-3～0～+3（7段階）
ヘッド構成	薄膜サーマルヘッド（384dot、360dpi）
テープ幅検出	Pテープ規格検出孔対応（8種検出）
テープカートリッジ	Pテープ規格ワンタイム・テープカートリッジ、たるみ・逆転防止機構付、耐摩擦PRO印刷式、4・6・9・12・18・24・24＊・36mm幅
カッター	ハーフカット機能付きオートカッター　除電機構付
トリマー	センサーつき自動カド丸仕上げ（半径3mm）

■印刷機能

文字構成　**13段階69種（拡大印刷を含むと30段階162種）**

F字	24×24dot	（ 5ポイント相当）
P字	32×32dot	（ 6ポイント相当）
S'字	40×40dot	（ 8ポイント相当）
S字	48×48dot	（10ポイント相当）
M字	64×64dot	（13ポイント相当）
L'字	80×80dot	（16ポイント相当）

付録

L字	96×96dot	（ 19ポイント相当）
G字	128×128dot	（ 26ポイント相当）
U'字	160×160dot	（ 32ポイント相当）
U字	192×192dot	（ 38ポイント相当）
H字	256×256dot	（ 51ポイント相当）
K'字	320×320dot	（ 64ポイント相当）
K字	360×360dot	（ 72ポイント相当）

デザインフォーム	27種（テンプレート式）
特殊フォーム	5種
あて名印刷	約10,000文字（最大100件） カスタマバーコード印刷機能付
名前印刷	約1,120文字（最大40件）
特殊印刷	ぞく[2]、でか[2]、鏡文字
連番機能	加算一方向（繰り返し回数指定可）、2桁連番
バーコード	JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF、CODE39（7種）

■電源、その他

主電源	AC100V（同梱ACアダプタAS1527J使用のこと）
補助バッテリー	単3アルカリ乾電池×6
電源スイッチ	ボタン式
パワーオフ	操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする （外字作成･修正中、創作地紋作成･修正中、ACアダプタ使用時のPCリンク中をのぞく）
PC接続	USBケーブルにて接続
寸法・重量	約204W×220D×76.5H（mm） 約1,100g（電池、テープカートリッジを除く）
同梱品	試用PROテープカートリッジ（18mm幅） ヘッド・クリーニングテープ（SR36C） ACアダプタ（AS1527J） 取扱説明書 保証書 PCラベルソフト（SPC9C） PCラベルソフト取扱説明書
オプション	PROテープカートリッジ ヘッド・クリーニングキット（RC15） ヘッド・クリーニングテープ（SR36C） トリマー（RT36W） システムトランク（SR9BTN） システムバッグ（SR8B）

■使用条件

温度環境	動作時	5℃～35℃
	保存時	－10℃～55℃
湿度環境	動作時	30%～80%（非結露）
	保存時	5%～80%（非結露）

付録

●索引

記号

|||||（バーコードマーク） 135
␣␣（全角スペース） 41
␣（半角スペース） 41
☒ ⊠（印刷不可行頭マーク） .... 22、53
N（連番マーク） 132
罫（罫入力記号） 82
合（合成マーク） 43
◀（フルメモリーマーク） 22
▶（文字モード指定マーク） .... 22、69
← ↑ ↓ →（カーソルボタン） 21
?___?（記号外枠） 83
❶ ❷（実質行頭マーク） .... 22、53
① ②（空白行頭マーク） .... 22、53

英数字

2桁数字（記号） .... 65、151
2倍でか² .... 136、138
3倍でか³ .... 136、138
4倍でか⁴ .... 136、138
8mmビデオ（定長印刷） .... 74、84
8mmビデオ（フォーム） .... 92、94
A4ファイル（定長印刷） .... 74、84
A4ファイル（フォーム） .... 92、93
ABC入力 40
ACアダプタ .... 10、26
ACアダプタ差込み口 18
ATOK変換画面 34
B5ファイル（定長印刷） .... 74、84
B5ファイル（フォーム） .... 92、93
CDケース（定長印刷） .... 74、84
CDケース（フォーム） .... 92、94
CODE39（バーコード） .... 131、134
DAT（フォーム） .... 92、95
FD・MO（定長印刷） .... 74、84
FD・MO（フォーム） .... 92、94
ITF（バーコード） .... 131、134
JAN-13（バーコード） .... 131、134
JAN-8（バーコード） .... 131、134
MD（定長印刷） .... 74、84
MD（フォーム） .... 92、95
NW-7（バーコード） .... 131、134
ON/OFF（ボタン） 21
ON/OFFランプ 18
PCリンク（ボタン） 21
PCリンクランプ 18
UPC-A（バーコード） .... 131、134
UPC-E（バーコード） .... 131、134
USBインターフェイスコネクタ（パソコン接続用） 18
VHS（定長印刷） .... 74、84
VHS（縦）（フォーム） .... 92、94
VHS（横）（フォーム） .... 92、94

あ

アイロン転写テープ 153
アイロンラベル 153
あて名 .... 101、111
　印刷 115
　グループ名修正 116
　修正 113
　消去 114
　登録 112
　複写 113
後揃え（割付け） .... 73、81
網かけ（囲み・網） .... 71、76
網濃度（地紋印刷） .... 74、86
網濃度（囲み・網） .... 71、76
淡文字（飾り字） .... 70、75
イメージ表示 23
印刷（ボタン） 20
印刷 45
印刷イメージ 22
印刷情報 22
印刷設定 .... 20、58、60
　～メニュー一覧 150
印刷濃度 .... 60、150
印刷履歴 .... 101、109
　消去 109
　呼出 109
インジケーター 22
インデックスラベル 100
上カバー 18
上カバーボタン 18
上書き呼出（ファイル） 104
英数字 39
英数書体（書体） .... 70、75
エラーメッセージ 154
お祝い（フォーム） .... 92、97
大柄（創作地紋） .... 74、88
送りカット（テープ送り） .... 31、152

付録

オートトリマー .... 18、61
　～のお手入れ 62
オート・パワーオフ 30
多め（余白） .... 74、89
おまかせフォーマット（文字サイズ） .... 72、80
終わり？（編集） .... 68、71、73、74
音楽テープ（定長印刷） .... 74、84
音楽テープ（フォーム） .... 92、95

か

カーソル .... 22、50
　～の位置（編集） 67
カーソルボタン［←］［↑］［↓］［→］ 21
カーニング（文字間） 77
改行 53
外字 .... 101、125
　参照作成 130
　修正 128
　消去 129
　新規作成 127
　複写 129
　呼出 128
外字呼出（記号） .... 128、151
改段落 .... 21、55
ガイド表示 23
回覧の捺印（フォーム） .... 92、93
鏡文字印刷 .... 136、140
角囲み（囲み・網） .... 71、76
角囲み網（囲み・網） .... 71、76
拡大印刷 .... 136、138
確定文字 22
影文字（飾り字） .... 70、75
囲み・網（文字モード） .... 67、71、76、144
飾り字（文字モード） .... 67、70、75、144
カスタマバーコード（あて名） 117
下線（囲み・網） .... 71、76
カタカナ 35
学校持ち物（フォーム） .... 92、97
カッター 58
カド丸 61
カド丸トレー 19
かな書体（書体） .... 70、75
かな入力 35
画面設定 25
仮確定文字 .... 22、34
漢字 35
漢字書体（書体） .... 70、75
漢字変換表 163
（記号） 20
記号 .... 36、42
　～一覧表 171
　～メニュー一覧 151
記号外枠（外枠・表組み） 83
行 53
強制終了ボタン .... 19、146
鏡像 140
強調（斜体・強調） .... 70、75
行頭マーク（❶❷…☒、①②…☒） .... 22、53
極少（余白） .... 74、89
禁止！（フォーム） .... 92、96
均等（文字サイズ） .... 66、72、79
空白 41
空白行頭マーク（①②） .... 22、53
区点コード .... 141、163
クリーニングテープ 161
繰り返し回数（連続番号） .... 131、132
グループ 102
グループ名修正 107
黒塗り（外字） 126
罫入力記号（罫） 82
ケーブル表示ラベル .... 100、153
ケーブル（太）（フォーム） .... 92、95
ケーブル（細）（フォーム） .... 92、95
ケーブル用（特殊フォーム） .... 92、99
合成（記号） .... 43、151
合成記号 43
合成マーク（合） 43
コード入力 141
小柄（創作地紋） .... 74、88
固定フック 18
（コピー） 21
コピー 52
細かく（伸・縮） .... 71、76
小文字ロック .... 21、40

さ

サイズ（文字サイズ） .... 67、72、79、144
（削除） 21
削除 51
辞書 .... 101、122
　修正 123
　消去 124
　登録 122
システムトランク 11
システムバッグ 11
下並び（伸・縮） .... 71、76
実質行頭マーク（❶❷） .... 22、53
指定範囲（編集） 67
自動（英数書体） 70
自動（かな書体） 70

自動（文字サイズ）……72、79
自動多め（余白）……74、89
自動カット……58、150
自動少なめ（余白）……74、89
[シフト]……21
地紋印刷（文章書式）……67、74、86、144
斜強調（斜体・強調）……70、75
斜体（斜体・強調）……70、75
斜体・強調（文字モード）……67、70、75、144
住所＆氏名（フォーム）……92、96
自由のび²（文字サイズ）……72、81
仕様……175
消去……21、52、57
　～メニュー一覧……152
上質紙ラベル……153
初期化……145
初期設定値……142
初期値（連続番号）……131、132
書体（文字モード）……67、70、75、144
白抜影（飾り字）……70、75
白塗り（外字）……126
白文字（飾り字）……70、75
伸・縮（文字モード）……67、71、76、144
伸縮ラベル……153
少なめ（余白）……74、89
スペース……41
正体（斜体・強調）……70、75
狭い（文字間）……71、77
全角スペース（␣）……41
全体の幅（バーコード）……131、134
[選択]……21
全文消去（消去）……52、152
創作地紋（地紋印刷）……74、86、88
操作パネル……20
[ぞく²/でか²]……20
ぞく²……136、137
促音……36
外枠（外枠・表組み）……73、82
外枠・表組み（段落スタイル）……67、73、82、144

た

濁音……36
たて書き（縦・横）……64、72、78
縦型よこ書き（縦・横）……72、78
縦型よこ書き（特殊フォーム）……92、99
[縦・横]……20
縦・横（段落スタイル）……64、67、72、78、144
誕生祝い（フォーム）……92、96
段落……55
段落消去（消去）……57、152
段落スタイル……67
　～メニュー一覧……72
小さく（伸・縮）……71、76
チェックデジット（バーコード）……131、134
縮める（伸・縮）……71、76
注意!（フォーム）……92、96
つめ²……85
ディスプレイ……18、22
ディスプレイ濃度……25
訂正線（囲み・網）……71、76
定長印刷（文章書式）……67、74、84、144
テープ送り……20、31、152
　～メニュー一覧……152
テープカートリッジ
　～をセットする……28
　～を使いわける……153
テープカートリッジケース……18
テープ確認窓……18
テープ通路……18
テープ出口……18
テープ幅……53、80
でか²……136、138
テキスト画面……22
デザインフォーム……90
　～見本……93
　～メニュー一覧……92
デモ印刷……147
電源
　～を入れる……30
　～を切る……47
転写テープ……153
電池……26
電池カバー……19
電池ケース……19
点描画（外字）……126
同梱品……10
透明つや消しラベル……153
特殊印刷……20、136
　～メニュー一覧……136
特殊フォーム……20、90
　～見本……98
　～メニュー一覧……92
トリマー……11、61
トリマーガイド……18
トリマー差込み口……18
トリマーテーブル……18

付録

な

中揃え（割付け）……73、81
中並び（伸・縮）……71、76
なし（囲み・網）……71、76
名前……101、119
　印刷……120
　グループ名修正……120
　修正……120
　消去……120
　登録……119
なまえ（縦）（フォーム）……92、97
なまえ（横）（フォーム）……92、97
入力切換……21
入力文字一覧表……162
熱収縮チューブ……153
値札（フォーム）……92、93
伸ばす（伸・縮）……71、76

は

バーコード……20、131、134
バーコードマーク（123）……135
ハーフカット……58、150
ハーフカットランプ……18、58
貼付け……21、52
半角スペース（␣）……41
反射ラベル……153
半濁音……36
ピッチ固定（文字間）……71、77
ピッチ自動（文字間）……71、77
備品管理票（フォーム）……92、93
描画エリア（外字）……126
表組み（外枠・表組み）……73、82
表示濃度……25、144
表示の切り換え……24
ひらがな……35
広い（文字間）……71、77
ファイル……20
ファイル……101、102
　～メニュー一覧……101
　印刷……108
　グループ名修正……107
　消去……105
　登録……103
　複写……106
　呼出……104
フォーム……20、90
　～見本……93
　～メニュー一覧……92
フォルダー山（フォーム）……92、93
ふせん紙ラベル……153
ふつう（飾り字）……70、75
ふつう（伸・縮）……71、76
ふつう（文字間）……71、77
ふつう（余白）……74、89
復活……21
復活……51
ふりがな（名前）……121
フルメモリーマーク（◀）……22
プレビュー……20、44
文章
　～を消去する……52
　～をファイルする……103
文章書式……67
　～メニュー一覧……74
平滑化（外字）……128、151
ヘッド・クリーニングキット……11、160
ヘッド・クリーニングテープ……11、161
別売品……11
変換 スペース……21
変換……35
変換候補一覧（ATOK変換画面）……34
変換候補数（ATOK変換画面）……34
変換候補番号（ATOK変換画面）……34
変換対象（ATOK変換画面）……34
編集……21
編集……67
編集（記号）……41、82、151
編集設定……21、142
　～メニュー一覧……144
編集続行？（編集）……69、71、73、74
細・太の比率（バーコード）……131、134
保存値……142
ボタンナビ……23

ま

前揃え（割付け）……73、81
マグネットテープ……153
丸囲み（囲み・網）……71、76
丸囲み網（囲み・網）……71、76
みえ²……20
みえ²……24
見出し（縦）（特殊フォーム）……92、98
見出し（横）（特殊フォーム）……92、98
密着（文字間）……71、77
ミニDV（定長印刷）……74、84
ミニDV（フォーム）……92、95
無変換……21
無変換……35

付録

銘板（フォーム） 92、97
メッセージ（フォーム） 92、96
メニュー 23
メニュー一覧 150
　印刷設定 150
　記号 151
　消去 152
　段落スタイル 72
　テープ送り 152
　特殊印刷 136
　ファイル 101
　フォーム・特殊フォーム 92
　文章書式 74
　編集 70
　編集設定 144
　文字モード 70
　連番・バーコード 131
メニュー階層 23
メニュー画面 23
文字
　～をコピーする 52
　～を削除する 51
　～を挿入する 51
　～を入力する 35
　～を貼り付ける 52
　～をもとに戻す（復活） 51
文字間（文字モード） 67、71、77、144
文字サイズ（段落スタイル） 67、72、79、144
文字地紋（地紋印刷） 74、86、87
文字変換/コード変換 21、35、141
文字ボタン 21
文字モード 67
　～メニュー一覧 70
文字モード指定マーク（▶） 22、69

や

夜光ラベル 153
有効範囲は？（編集） 69、71、73
拗音 36
よこ書き（縦・横） 64、72、78
横型たて書き（特殊フォーム） 92、99
余白（文章書式） 67、74、89、144

ら

らく^2 ◯ 20
らく^2（文字サイズ） 66、72、79
リセット（印刷設定） 60、150
リセット（編集設定） 143、144
連結呼出（ファイル） 104
連続印刷 136、137
連続番号 131、132
連番 20、131、132
連番・バーコード 131
　～メニュー一覧 131
連番マーク（N） 132
ローマ字入力 35
ローマ字変換表 174
ロングテープ 153

わ

割付け（段落スタイル） 67、73、81、144
割付け（割付け） 73、81

付録

アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書を**お買い上げ販売店**、または**「テプラ」取扱店**までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品を**お買い上げ販売店**、または**「テプラ」取扱店**までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・外字・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、**お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店**または**当社お客様相談室**にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）　ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107

携帯電話・PHSをご使用の場合は、以下をご利用ください。

お客様相談室

東京	TEL 03-3864-1234	名古屋	TEL 052-935-4038
大阪	TEL 06-6263-1654	福　岡	TEL 092-413-3977

受付時間：平日（月曜日～金曜日）　午前９時～午後5時30分

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス　http://www.kingjim.co.jp/

■別売品のお求めでお困りのときは

取扱説明書、カートリッジなど別売品のご購入に際し、どこで、どの様にして購入したら良いかお困りのときは、**お買い上げ販売店**、または**「テプラ」取扱店**、または下記へお問い合わせください。

株式会社キングジム　〒101-0031　東京都千代田区東神田2丁目10番18号

札幌	TEL 011-811-0593	名古屋	TEL 052-935-4038
仙台	TEL 022-236-4110	大阪	TEL 06-6263-1654
さいたま	TEL 048-651-0198	広島	TEL 082-291-8458
本社	TEL 03-3864-1234	福岡	TEL 092-413-3977
横浜	TEL 045-212-3280		

株式会社キングビジネスサポート

TEL 03-3864-5646
FAX 03-3864-5647

「テプラ」PRO SR920 取扱説明書

2005年　9月　第5版

株式会社キングジム

〒101-0031　東京都千代田区東神田2丁目10番18号

SR920
取扱説明書

KING JIM

・お問い合わせ

フリーダイヤル（全国共通）　ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107

受付時間：平日（月曜日～金曜日）午前9時～午後5時30分

ホームページアドレス http://www.kingjim.co.jp/

©2004 Printed in China PAT.17-⑤